EPSON

VP-1850

取扱説明書

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

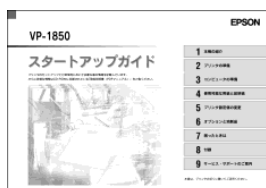
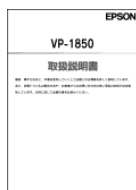
NPD1863-00

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社　2005

取扱説明書の種類と使い方

スタートアップガイド
セットアップの方法および本機を使用する上で必要となる主な情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

取扱説明書（PDF マニュアル：本書）
本機を使用する上で必要となるすべての情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい操作を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *　　用語の説明を記載していることを示しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® Windows®2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows NT3.51、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/NT4.0」のようにWindows の表記を省略することがあります。

PC-98 系の表記について

本書中では、EPSON PC シリーズ、PC-9801 シリーズ /PC-9821 シリーズを総称して「PC-98 系」と表記します。

画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

給紙方法の呼称について

プリンタの操作パネルの表記とソフトウェア上の表記は以下のようになります。

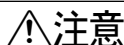
給紙方法	操作パネル	ソフトウェアの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	単票 /CSF1 または単票 /CSF2	手差し (単票)
単票紙をカットシートフィーダ 1 から給紙する	単票 /CSF1	カットシートフィーダファーストビン (CSF1)
単票紙をカットシートフィーダ 2 から給紙する	単票 /CSF2	カットシートフィーダセカンドビン (CSF2)
連続紙をリアプッシュトラクタから給紙する	連続紙	プッシュ / プルトラクタ (連続紙リア)

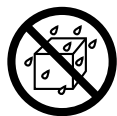
操作パネルの表記は“CSF”は、カットシートフィーダ(Cut Sheet Feeder)の略称です。ソフトウェアの表記“カットシートフィーダ”は本機に標準添付されているソフトウェアの表記です。、他のソフトウェアでは、類似の表記を行っていることがあります。
()表記は、EPSON プリンタウィンドウ !2 の表記です。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触ることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全上のご注意

⚠警告	
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに［電源］スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜いて、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。 お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに［電源］スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜き、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	通風口など開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。
	取扱説明書で指示されている以外の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。
	電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま使用しない • 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない • 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V 以外のコンセントには差し込まないでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります（本機の定格電流は 100V/1.0A です）。定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。

表示されている電源（AC100V、15A）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
（本機の定格電流は 100V/1.0A です）

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。

⚠注意

	他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。
	本機の上に乗ったり、重い物を置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをする危険があります。
	本機の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 次のような場所には設置しないでください。 • 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ • じゅうたんや布団の上 • 毛布やテーブルクロスのような布をかけない 壁際に設置する場合は、壁から 10cm 以上のすき間をあけてください。
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。
	本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	本機を移動する場合は、[電源] スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
	インターフェイスケーブルやオプション製品を装着するときは、必ず本機の [電源] スイッチをオフにして、電源ケーブルを抜いてから行ってください。 感電の原因となることがあります。
	印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをすることがあります。
	使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

もくじ

本機の紹介

プリンタの準備

Windows からの印刷

使用可能な用紙と給排紙

プリンタ設定値の変更

オプションと消耗品

困ったときは

付録

サービス・サポートのご案内

本機の紹介

本機の特長

本機は、双方向通信機能を備えた 24 ピン漢字プリンタです。オプションのインターフェイスカードを装着することにより、さまざまなネットワーク環境で使用できます。主な特長は以下の通りです。

●各種用紙に対応

連続紙や単票紙をはじめ、複写紙、ハガキ、ラベルなどさまざまな用紙が使用できます。カットシートフィーダ（オプション）を取り付けると、単票紙の連続印刷ができます。

●コピー能力の強化

オリジナル＋5 枚コピーの複写ができます。

●スーパーマルチウェイローディング機構

連続紙をセットしたままの状態で単票紙が使用できます。2 種類の連続紙をセットして使用することもできます。

●便利な給紙機構

連続紙をプリンタの手前側と後ろ側の両方から給紙できます。

●各種ネットワークに対応

オプションのインターフェイスカードを装着することにより、各種プロトコルに対応したネットワークプリンタとしてお使いいただけます。

●インターフェイス自動選択機能

インターフェイス自動選択機能により、オプションのインターフェイスカードを装着したときに、標準のインターフェイスと同時に接続することができます。データを受信したインターフェイスをプリンタが自動的に判断して使用するインターフェイスを切り替えます。

● ESC/P スーパー機能

ESC/P スーパー機能により、エプソン 24 ドット漢字プリンタ用アプリケーションソフトに加えて、NEC プリンタ PC-PR シリーズ用のアプリケーションソフトも使用できます。

●便利なユーティリティソフト

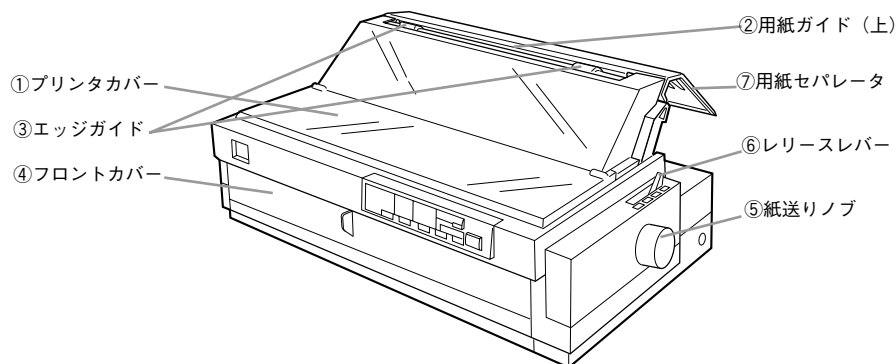
◇ EPSON プリンタウィンドウ !2
  Windows 環境においてプリンタの状態をモニタすることができます。

◇パネル設定ユーティリティソフト EPSON Remote!
  DOS 環境、および NetWare 環境においてコンピュータからプリンタの各種設定を変更することができます。

●各種コンピュータに対応

98 系、DOS/V 系コンピュータに接続、対応します。また、アップルコンピュータ社の Macintosh シリーズに接続するためのオプションも用意しています。

各部の名称と働き

正面

①プリンタカバー
リボンカートリッジの取り付けや交換をするとき、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。

②用紙ガイド（上）
単票紙を上から給紙するときに使用します。

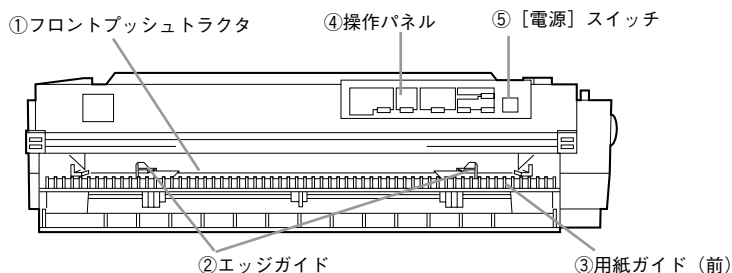
③エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。

④フロントカバー
単票紙を前から給紙する場合や連続紙をフロントプッシュトラクタにセットするときに開けます。

⑤紙送りノブ
用紙がプリンタ内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出す場合に使用します。通常は使用しません。

⑥ レリースレバー
給紙経路（用紙ガイドから単票紙を給紙するか、プッシュトラクタから連続紙を給紙するか）を切り替えるレバーです。

⑦用紙セパレータ
印刷した連続紙がプリンタに巻込まれるのを防ぎます。

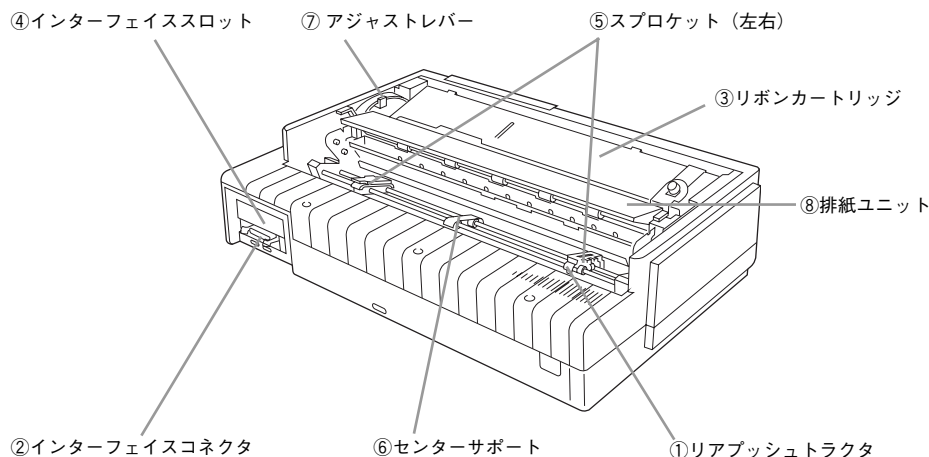
前面

①フロントプッシュトラクタ
前から連続紙を給紙するときに使用します。
用紙ガイド（前）の下、プリンタ内部にあります。取り外して、プリンタ上部に取り付けることもできます。

②エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。

③用紙ガイド（前）
単票紙を前から給紙するときに使用します。

④操作パネル
スイッチを操作することにより、プリンタのいろいろな機能を設定したり、実行させることができます。各種のランプによって、プリンタの状態も表示されます。
排紙される用紙を保護します。

⑤［電源］スイッチ
プリンタの電源をオン / オフします。

内部および背面

①リアプッシュトラクタ

連続紙を給紙するときに使用します。

②インターフェイスコネクタ

コンピュータからのインターフェイスケーブルを接続します。

③リボンカートリッジ

印字するためのインクリボンを収めた物です。
印字が薄くなったら、リボンカートリッジまたはインクリボンを交換してください。

④インターフェイススロット

オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

⑤スプロケット（左右）

使用する連続紙の幅に合わせて、連続紙を固定します。

⑥センターサポート

使用する連続紙の幅に合わせて、位置を調整します。

⑦ アジャストレバー

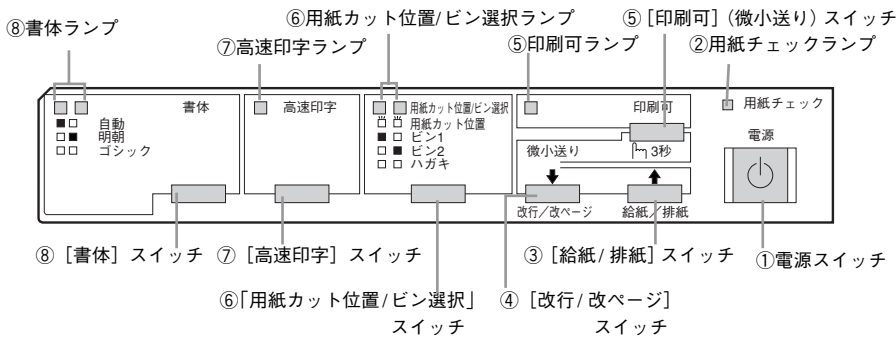
用紙の厚さや枚数に合わせて用紙面と印字ヘッドの間隔を調整します。用紙ごとの設定値については、以下のページを参照してください。

本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

⑧排紙ユニット

印刷中の用紙を押さえます。プルトラクタ使用時を除き必ず付けておいてください。

操作パネル

操作パネル上のランプにより、プリンタの状態を知ることができます。また、スイッチ操作により各種機能の設定や実行ができます。

①［電源］スイッチ

プリンタの電源をオン（入る）・オフ（切る）します。

［電源］スイッチをオンにした直後は、操作パネル上のランプが点滅します。

- プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低5秒待ってからオンにしてください。オン / オフの間隔が短すぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で［電源］スイッチをオフにしないでください。

②用紙チェックランプ

点灯	用紙がありません。
点滅	用紙が詰まった、またはレリースレバーの設定に問題があります。

③［給紙 / 排紙］スイッチ

連続紙のとき	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、給紙します。 印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、フロントまたはリアプッシュトラクタの位置まで逆送りします。
単票紙のとき	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、給紙します。 印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、排紙します。
微小送り時には⬆スイッチとして働きます。	

レリースレバーがプルトラクタ位置の場合、[給紙 / 排紙] スイッチは使用できません。

- 連続紙をトラクタ位置に逆送りする前に、出力済みのページを必ず切り離してください。1ページを超える連続紙を逆送りすると、用紙が途中で詰まることがあります。
- ラベル紙は逆送りしないでください。ラベルが台紙からはがれて、プリンタ内部に貼り付くことがあります。[改行 / 改ページ］スイッチで紙送りしてください。

- 使用する用紙と給紙方法に合わせて、レリースレバーを正しく設定してください。
- 用紙がセットされていると、[給紙 / 排紙］スイッチを操作しなくても自動給紙し、印刷を開始します。

④［改行 / 改ページ］スイッチ

連続紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると改ページします。
単票紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると排紙します。
微小送り時には⬇スイッチとして働きます。	

⑤ ［印刷可］スイッチとランプ

スイッチを短い時間 (3 秒未満) 押すと印刷可状態と印刷不可状態を切り替えます。印刷可状態のときにランプが点灯します。
3 秒以上押すと、用紙の位置を微調整するための［微小送りモード］になります。

[微小送りモード]：

［印刷可］スイッチを3秒以上押します。

「ピッ」というブザーが鳴ったらスイッチを離してください。ランプが点滅し、微小送りができます。

- ⬇スイッチを押すと、用紙は後ろへ戻ります。
- ⬆スイッチを押すと、用紙は前へ進みます。

微小送りモードを終了させるには、[印刷可］スイッチを短く押します。

☞ 本書139 ページ「用紙位置の微調整」

⑥［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチとランプ

レリースレバーがプルトラクタ位置の場合、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチは使用できません。

ランプの表記	点滅　■ 消灯　□点灯
用紙カット位置	連続紙を使用している場合に［用紙カット位置］スイッチとして機能します。スイッチを押すと連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り、両方のランプが点滅します。
■□ビン 1	オプションのカットシートフィーダを装着している場合に［ビン選択］スイッチとして機能します。スイッチを押してカットシートフィーダの給紙ビン（1 または2）を選択します。ビン選択については、以下のページを参照してください。 本書 167 ページ「カットシートフィーダ」
□■ビン 2	
□□ハガキ	ハガキに印刷する場合に［ハガキモード］スイッチとして機能します。ハガキに印刷する場合にアジャストレバーを「2」に設定してから、スイッチを押して両方のランプを点灯させます。ハガキ以外の用紙に印刷するときは、スイッチを押して両方のランプを消灯させます。

アジャストレバー位置が「2」に設定されていないと、スイッチを押してもハガキモードになりません。

⑦［高速印字］スイッチとランプ

文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します（DOS環境下で有効）。高速印字モードのときにランプが点灯します。

試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。ただし、印字品質は低下します。

- 設定は［電源］スイッチをオフにしてもメモリに記憶されます。
- プリンタドライバを経由して印刷する場合、［高速印字］スイッチを押し、高速印字ランプが点灯していることを確認し、プリンタドライバ上で印刷条件の設定の［印刷品質］を［ドラフト］に設定してください。
  本書 57 ページ「プリンタドライバの設定項目」

⑧［書体］スイッチと書体ランプ

■□自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェア上で書体の設定がない場合、漢字は明朝体、英数カナ文字はロー マンで印刷します。
□■明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はローマンで印刷します。ただしソフトウェア上でTrue Type フォントなどを設定した場合は、ソフトウェアで設定した書体で印刷されることがあります。
□□ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はサンセリフで印刷します。ただしソフトウェア上で True Type フォントなどを設定した場合は、ソフトウェアで設定した書体で印刷されることがあります。

- 本設定はプリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアソフトウェアで書体（TrueType フォントなど）を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウエアの設定が優先されます。
- 設定はメモリに記憶されますので、［電源］スイッチをオフにしても消えません。

書体例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン（英数カナ文字）

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ（英数カナ文字）

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

プリンタの準備

プリンタの設置

設置上のご注意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所

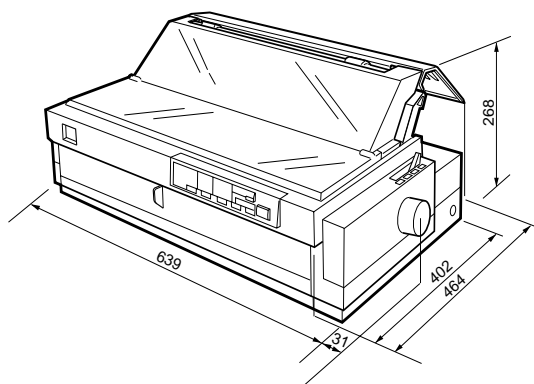
本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所	温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
火気のある場所	水に濡れやすい場所	揮発性物質のある場所	冷暖房機具に近い場所
震動のある場所	加湿器に近い場所		

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

設置スペースに関するご注意

- 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ底面より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。

本機の外形寸法（単位 mm）は次の通りです。

取り扱い上のご注意

本機は以下の点に注意して取り扱ってください。正しい取り扱いをしないと、動作不良や印字不良、プリンタの故障の原因となります。

プリンタ本体について

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に［電源］スイッチをオフにしないでください。
- プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。
- アジャストレバーを設定した場合、用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直してください。

リボンカートリッジについて

- リボンカートリッジは、ていねいに扱ってください。
- リボンカートリッジの取り付けや交換の際は、プリンタの電源をオフにしてください。
- インクリボンがたるんだ状態で印刷しないでください。
- インクリボンがたるんでいる場合は、リボンカートリッジのツマミを回してたるみを取ってください。

用紙について

- 連続紙（連続複写紙）は、用紙の表面に、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない用紙を使用してください。
- 連続紙は、印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 連続複写紙は、［両側点のり綴じ（千鳥綴じ）］、［両側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）］、［片側点のり綴じ（千鳥綴じ）+ 片側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）］の用紙を使用してください。［棒のり綴じ］、［金属ホチキス綴じ］の複写紙は使用しないでください。
- 単票複写紙は、天のり綴じまたは横のり綴じの用紙を使用してください。
- 単票複写紙の綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- 単票複写紙ののり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。
- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印字領域に注意してください。ソフトウェアで印字領域を設定する際は、必ず印字可能領域内で印刷するように設定してください。

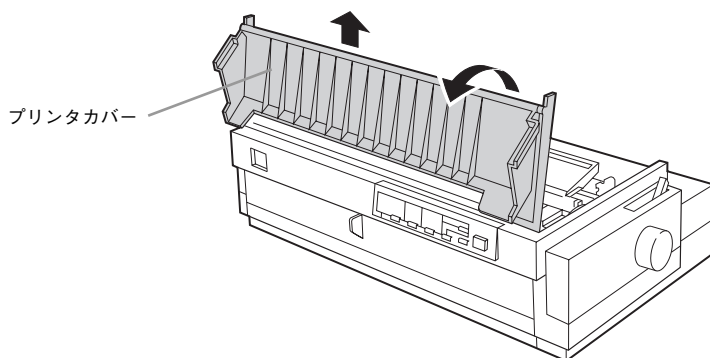
付属品の取り付け

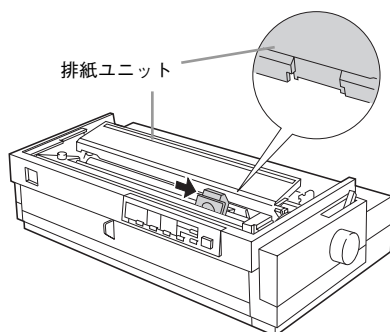
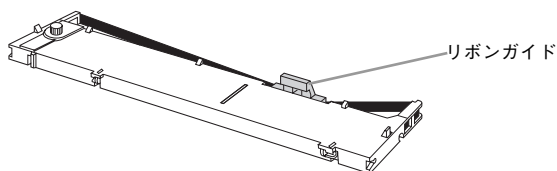
付属品などを取り付けてプリンタをセットアップします。付属品の取り付けは、プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから行ってください。

リボンカートリッジの取り付け

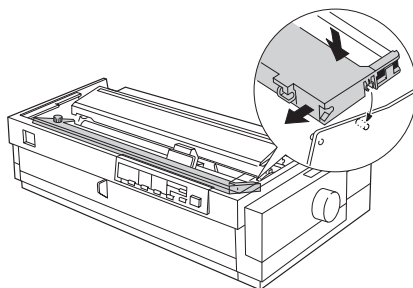
- リボンカートリッジを取りつける際にインクが手に付着する場合があります。手を汚さないように、リボンカートリッジ付属の手袋をしてください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンの状態で作業を行うと故障の原因になります。必ず［電源］スイッチをオフにして行ってください。

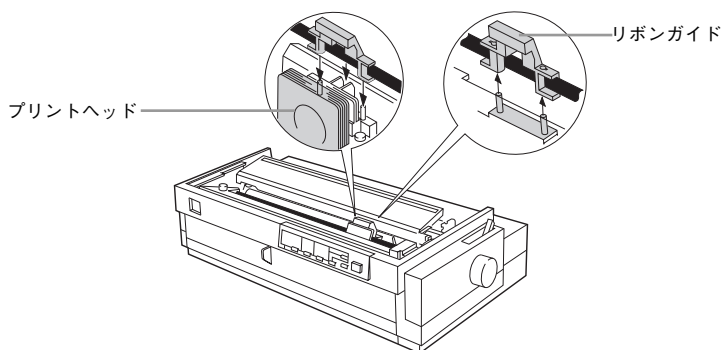
1. **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**
   ［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

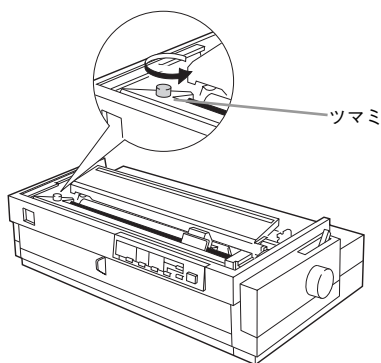
2. **プリンタカバーを開けます。**
   プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてからゆっくり持ち上げ取り外します。

3 **プリントヘッドをリボン取り付け位置へ移動します。**

リボン取り付け位置は排紙ユニット右側の少しへこんだ部分です。

4 **リボンガイドをリボンカートリッジのピンに差します。**

5 **リボンカートリッジを取り付けます。**

ツマミが上向きになるようにリボンカートリッジを持ちます。リボンカートリッジ前面両端のくぼみをプリンタ内部にある左右手前側のピンにはめ込み、カートリッジ両側のくぼみとピンがはまるように押し込みます。

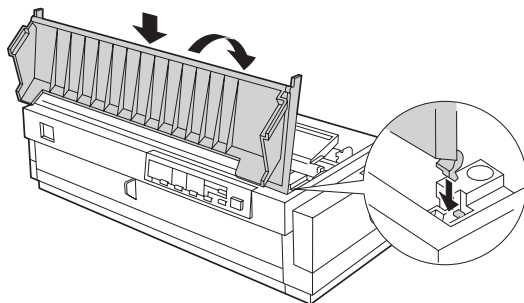
リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

6 **リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。**

リボンガイドをリボンカートリッジから外して、プリントヘッド両側のピンにカチッと音がするまで差し込みます。

7 **リボンのたるみを取ります。**

リボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取り、ねじれや折れ曲がりがないことを確認します。

リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。たるんだリボンがプリントヘッドに絡み、リボンが切れたりプリントヘッドが損傷することがあります。

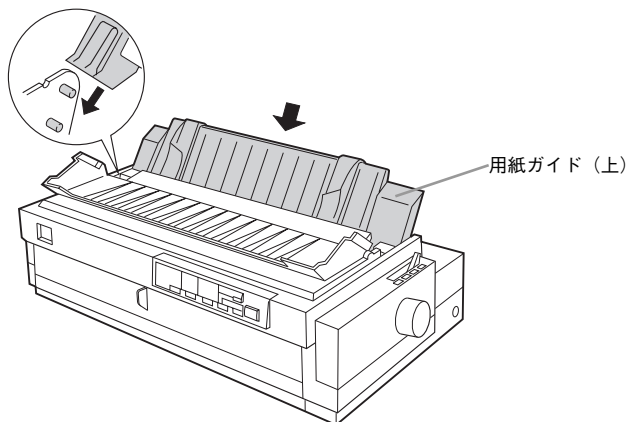
8 **プリントヘッドを左右に動かし、リボンが引っかからないことを確認します。**

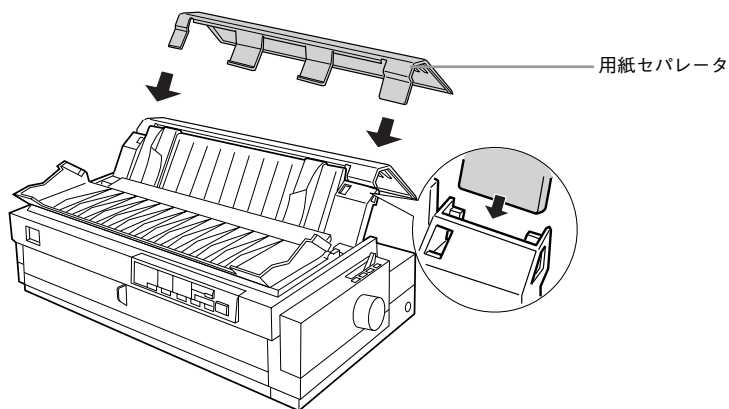
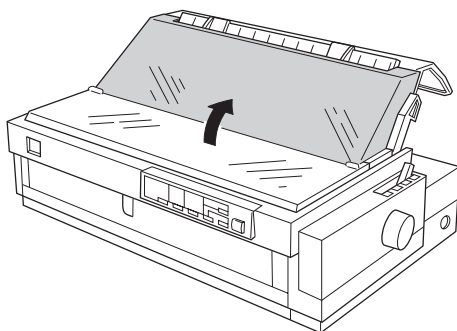
9 **プリンタカバーを閉じます。**

プリンタカバー両端をプリンタ左右の穴に差し込んで、ゆっくりと倒します。

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

用紙ガイドの取り付け

1 **用紙ガイド（上）を取り付けます。**

用紙ガイドの左右外側の溝をプリンタ内部後方にあるピンに沿って差し込みます。

2 **用紙セパレータを用紙ガイド（上）に取り付けます。**

用紙セパレータは、印刷した連続紙がプリンタ内に巻きこまれることを防ぎます。

3 **プリンタカバー（上）を閉じます。**

電源との接続

> ⚠警告　AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。感電、火災、故障の原因となります。

> ⚠注意　以下のページを参照して、正しくお取り扱いください。
> ☞本書 5 ページ「安全にお使いいただくために」

1. **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

   ［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

2. **インターフェイスケーブルが接続されていないことを確認します。**

3. **AC100V のコンセントに電源ケーブルのプラグを正しく差し込みます。**

- 電源プラグをコンピュータ背面のコンセントに接続しないでください。
- プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オフ / オンの間隔が短すぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷中に［電源］スイッチをオフにしないでください。

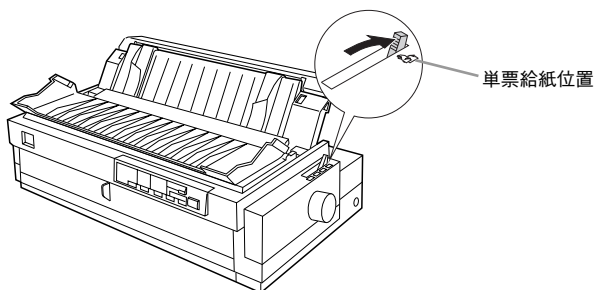
次に、プリンタに異常がないか、動作の確認をします。

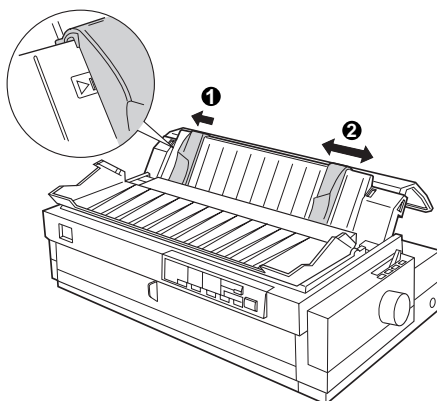
動作の確認

付属品の取り付けが終わったら、B4 横長サイズ以上の単票紙を使用してプリンタの動作や印刷の状態を確認します。本機は、プリンタが正常に動作するかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。以下の手順で印字パターンの印刷ができれば、本機は正常に機能しています。動作の確認は、コンピュータと接続しない状態で行います。

1. ［電源］スイッチをオフにします。

プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オン / オフの間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障する恐れがあります。

2. プリンタカバー（上）を手前に開け、レリースレバーを単票給紙位置に設定します。

3. エッジガイドを調整します。

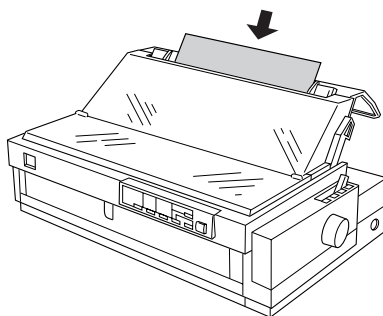
エッジガイド（左）を用紙のガイドの▷|マークに合わせて、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。

B4 横置きまたは 360 mm {14 インチ} 以上の幅の用紙を使用してください。紙幅が狭いと、用紙をはみ出して印刷します。

❹ プリンタカバー（上）を閉じます。

❺［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。

［改行 / 改ページ］：英数カナ文字モードになります。
［給紙 / 排紙］：漢字モードになります。
用紙チェックランプが点灯します。

❻ 用紙を用紙ガイド（上）にセットします。

エッジガイドに沿って、単票紙の先端が突き当たるまで差し込みます。
自動的に給紙して印刷を実行します。

印刷結果の例は次のようになります（一部抜粋してあります）。

（漢字モード）

（英数カナ文字モード）

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

印刷中はプリンタカバーを開けないでください。カバー を開けると印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押します。

ポイント

- 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
- 単票紙の場合で 1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

7 印刷を終了します。

この印刷は［印刷可］スイッチを押すまで繰り返し印字を行います。
［印刷可］スイッチを押して印刷を中止し、［電源］スイッチをオフにします。

ポイント

プリンタ内に用紙が残っているときは、［電源］スイッチをオフにする前に、必ず［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してください。

8 印刷の状態を確認します。

6 の印刷結果のように印刷されていれば、プリンタは正常に機能しています。

次に、コンピュータと接続します。

ポイント

- 印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、この動作確認を行いプリンタの状態を確認してください。
  プリンタが正常に機能している場合は、インターフェイスケーブルやコンピュータの状態を確認してください。
- 手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。修理に関するお問い合わせ先は以下のページをご覧ください。
  本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

コンピュータとの接続

本機は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続することができます。
接続ケーブルは、お使いのコンピュータや接続環境によって異なるため、本機には同梱されていません。以下の説明を参照してご利用の環境に合ったケーブルをお買い求めください。

推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。

- プリンタにオプションのインターフェイスカードを取り付けてコンピュータを接続するときは、以下のページを参照してください。
  本書 165 ページ「インターフェイスカードの取り付け」
- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  本書 152 ページ「操作パネルからの設定」

（2003 年 3 月現在）

ケーブル	機種	メーカー	シリーズ	ケーブル名	備考
パラレルインターフェイスケーブル	DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
		NEC	PC-98NX シリーズ		
	PC-98 系	EPSON	EPSON PC シリーズ デスクトップ	#8238	[*1]
			EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	[*1]
		NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	
			PC-9801 シリーズ デスクトップ（14 ピン）	#8238	[*1][*2]
			PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	[*1][*2]

[*1] Windows95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ！2 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

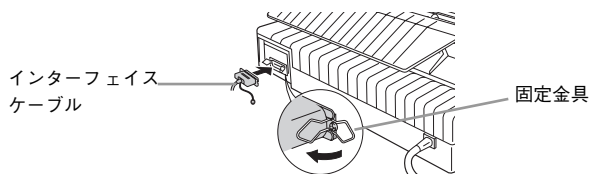
[*2] ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。ただし、NEC PC-H98 では対応できません。

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

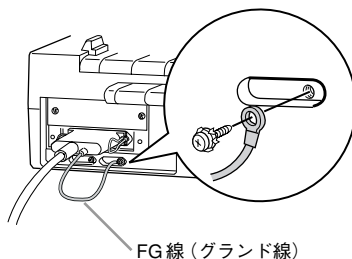
1 **［電源］スイッチをオフにします。**

プリンタの［電源］スイッチとコンピュータの［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。

2 **インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。**

インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に起こして固定します。

3 **FG 線を接続します。**

インターフェイスケーブルに FG 線＊（グランド線）が付いているときは、コネクタの横にある FG 線取り付けネジを使って接続します。

*FG 線：ノイズによる誤動作を防止するための接続線

4 **もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。**

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

次に、ご利用の環境に応じてコンピュータの準備をします。

環境ごとのセットアップ方法

プリンタをコンピュータに接続しただけではプリンタを正しく使用することはできません。コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションソフト側で使用するプリンタを設定し、プリンタをコンピュータに認識させる必要があります。

Windows 環境

Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 で使用する場合は、本機に同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM から Windows 用プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法については、以下のページを参照してください。
本書 44 ページ「Windows でのセットアップ」
前述以外の Windows をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてお使いください。
印刷の条件は、お使いのアプリケーションソフトあるいはプリンタドライバで設定します。
本書 52 ページ「印刷手順」

Windows での使用方法について詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 43 ページ「Windows からの印刷」

Macintosh 環境

本機を Macintosh に接続して使用するには、Macintosh 接続用オプションが必要です。オプションには、エプソン製プリンタ用のプリンタドライバが付属しています。

オプション名	使用するドライバまたはプリンタ
ELINK3	EX-24ESC/P
PRIFNW3S	AT-24ESC/P

詳しくは以下のページを参照してください。
本書 162 ページ「Macintosh 接続用オプション」

DOS 環境

DOS 環境でお使いの場合、プリンタドライバなどのソフトウェアを別途インストールする必要はありません。お使いの DOS アプリケーションソフト上でプリンタ名を選択して印刷を実行します。印刷の条件は、アプリケーションソフト上、またはパネル設定から設定します。

本書 150 ページ「プリンタ設定値の変更」

国内ソフトウェアでの設定

次の表の中の複数のプリンタが設定画面に表示されるときは、優先順位の高いプリンタを選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	VP-1850
2	VP-1800
3	VP-1100
4	VP-1700
5	ESC/P24-J84
6	VP-1000

表中のプリンタ名を選択しても正しく印刷できないときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー］を［OFF］に設定してください。

本書 154 ページ「設定値を変更する」

ソフトウェア上に前ページの表のプリンタ名がないときには、次の表から選択します。

優先順位	プリンタ名
1	VP-135K （PC）
2	VP-130K （PC II）
3	VP-130K （PC）
4	PC-PR201H

- 表中の 4 機種の中からプリンタを選択したときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー］を［ON］に設定してください。
  本書 154 ページ「設定値を変更する」
- 用紙の給紙位置はソフトウェアで選択したプリンタによって異なります。

海外ソフトウェアでの設定

次の優先順位に従ってプリンタ名を選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	LQ-2180/2080
2	LQ-2170/2070
3	LQ-1170
4	LQ-1070
5	LQ-1050
6	LQ-1010

- エプソンの 9 ピンプリンタ（EX、FX、RX、MX、LX、DFX シリーズなど）は選択しないでください。
- プリンタ設定値の［ESC/P スーパー］は［OFF］になっていることを確認し、［文字コード表］を［拡張グラフィックス］（コード表）に設定してください。
本書 154 ページ「設定値を変更する」

Windows からの印刷

Windows でのセットアップ

ここでは本機に添付の EPSON プリンタドライバ･ユーティリティ CD-ROM に収録されているプリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ !2（プリンタ監視ユーティリティ）のインストール手順について説明します。

本機のプリンタドライバは CD-ROM で提供しています。フロッピーディスクからインストールする場合は、以下のページを参照してください。

本書 263 ページ「フロッピーディスクについて」

システム条件の確認

プリンタドライバの動作条件

対象 OS および空きハードディスクの最低条件は以下の通りです。

対象 OS*	Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP
空きハードディスク	Windows 3.1：10MB 以上 Windows NT3.51：20MB 以上 Windows 95/98/Me/NT4.0：50MB 以上 Windows 2000/XP は OS で指定する空きハードディスク

* 各 OS の必要条件を満たしていること。
Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 でお使いの場合は、同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください。前述以外の Windows をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。

本機は ECP モード、EPP モードには対応しておりません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS の設定をノーマルモードまたはスタンダードモードに変更してください。変更方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

EPSON プリンタウィンドウ !2 の動作条件

EPSON プリンタウィンドウ !2 はプリンタの状態を監視するユーティリティです。EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM からインストールすることができます。

対象 OS	Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP*
監視可能なプリンタの接続形態	パラレル接続でのローカルプリンタ /Windows 共有プリンタ

* Windows XP 対応の EPSON プリンタウィンドウ !2 は、エプソン販売株式会社のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）から入手することができます。

ポイント

- お使いのコンピュータが双方向通信機能をサポートしていない場合、EPSON プリンタウィンドウ !2 は使用できません。
- Windows NT3.51 用の EPSON プリンタウィンドウ!2 は、ローカルプリンタの監視はできません。
- NEC の PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0/2000 でのローカルプリンタの監視はできません。
- PRIF13をお使いの場合は、EPSON プリンタウィンドウ!2 は使用できません。

プリンタソフトウェアのインストール

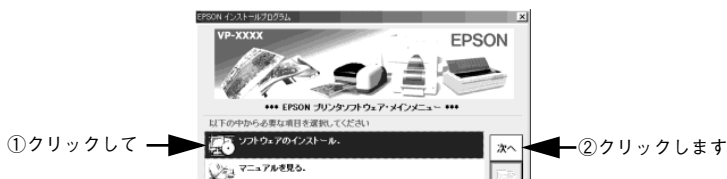
本機を使用するために必要な次のソフトウェアをインストールします。

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !2（Windows 3.1/XP を除く）

- Windows NT3.51/NT4.0/2000/XP 環境でソフトウェアをインストールする場合は、コンピュータの管理者アカウント（Administrators グループ）のユーザーでログオンする必要があります。
- Windows 2000 環境でお使いの場合は、OS 標準搭載のプリンタドライバをプラグアンドプレイ機能またはプリンタの追加からインストールします。
- Windows XP 環境でお使いの場合は、OS 標準搭載のプリンタドライバをプラグアンドプレイ機能を使ってインストールしますので、プリンタソフトウェアのインストールの必要はありません。プリンタドライバのインストール方法については、以下のページを参照してください。
  本書 51 ページ「Windows XP のプラグアンドプレイ機能でのインストール」

1. コンピュータの電源をオンにして、Windows を起動します。

2. EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

3. 以下の画面が表示されたら、［ソフトウェアのインストール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

- ③ の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。
- Windows 3.1/NT3.51 をお使いの場合は、［プログラムマネージャ］の［アイコン］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択し、表示されたダイアログに CD-ROM をセットしたドライブ名と実行コマンド［Epsetup.exe］を半角文字で入力し、［OK］ボタンをクリックします。

4 インストールするソフトウェアを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

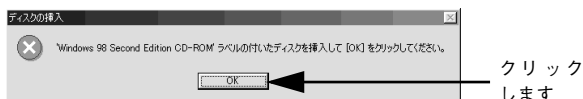
ソフトウェアのインストールが始まります。

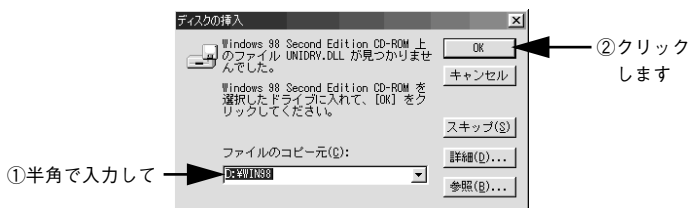
- インストールするソフトウェアを個別に指定する場合は、［ソフトウェア選択］ボタンをクリックしてください。以下の画面が表示されたら、必要なソフトウェアのみにチェックを付けて、［OK］ボタンをクリックします。

- Windows 2000 環境でお使いの場合は、［ソフトウェア選択］ボタンをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !2］のみにチェックを付けてください。EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールするためには、先にプリンタドライバがインストールされていることが条件となります。

Windows Me/2000 をお使いの場合は、8 へお進みください。

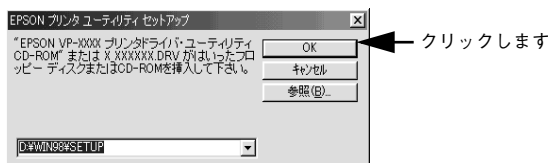
5 Windows 3.1/95/98/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（またはフロッピーディスク）をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックします。

<例> Windows 98 Second Edition の場合

6 以下の画面が表示されたら、セットした CD-ROM（またはフロッピーディスク）のドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

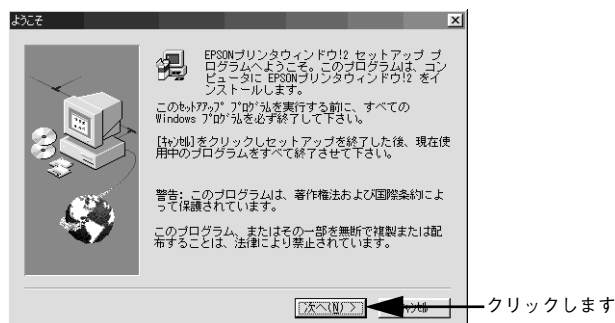
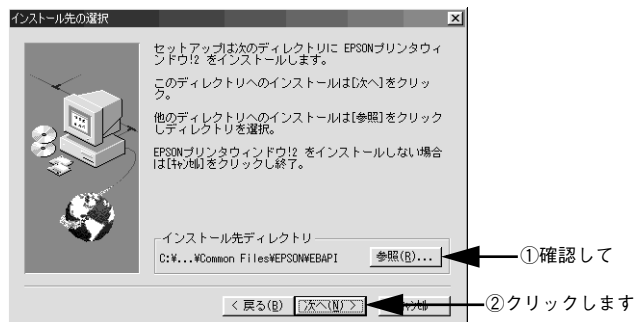
<例> Windows 98 Second Edition の場合

<入力例> CD-ROM が D ドライブの場合

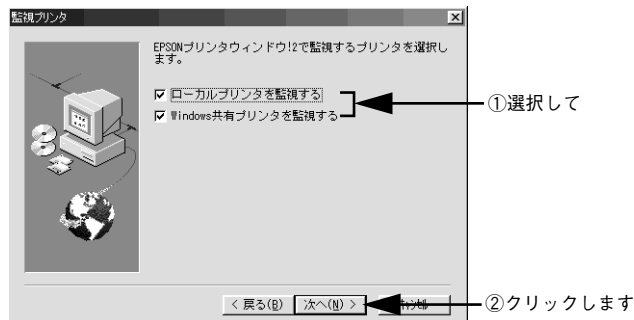
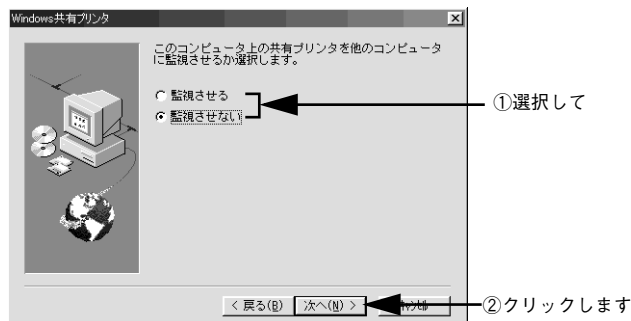
OS	入力例
Windows 95	D:¥WIN95
Windows 98	D:¥WIN98
Windows NT3.51/NT4.0	D:¥I386

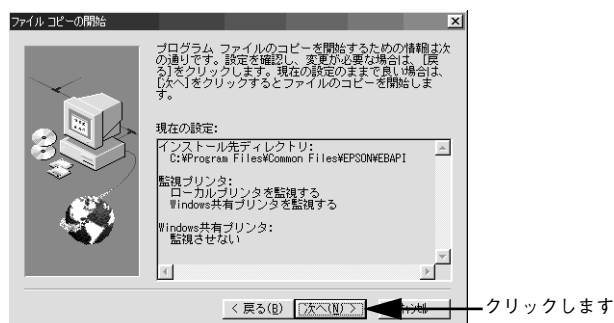
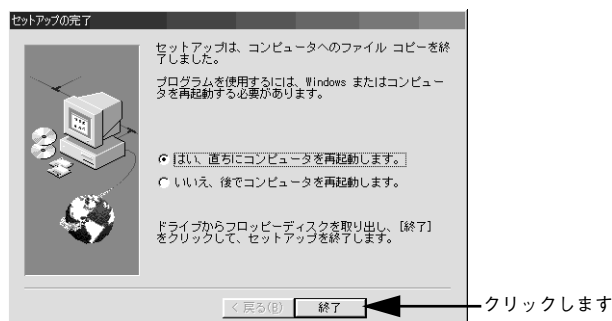
※ Windows 3.1 をお使いの場合は、［セットアップディスク］をセットしたドライブ名を入力します。

7 以下の画面が表示されたら、オペレーティングシステムの CD-ROM を取り出し、再び EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をセットして、［OK］ボタンをクリックします。

Windows 3.1 をお使いの場合は、画面の指示に従ってインストールを進めて、プリンタドライバのインストールを終了してください。

8 **EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールします。**

以下の画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

9 **以下の画面が表示されたら、インストール場所を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。**

10 **監視するプリンタを選択します。**

監視するプリンタのタイプを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

⑪ 共有プリンタを他のコンピュータに監視させるかどうかを選択します。

⑫ インストールする情報を確認します。

すべてのインストール情報が正しいことを確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

⑬ ［再起動］ボタンをクリックして、コンピューターを再起動します。

以上でプリンタソフトウェアのインストールは終了です。
Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 52 ページ「印刷手順」

Windows XP のプラグアンドプレイ機能でのインストール

Windows XP に標準搭載のプリンタドライバが自動的にインストールされます。

プリンタとコンピュータの電源をオンにする手順を間違うと、正常にインストールできないおそれがあります。

コンピュータの管理者アカウント（Administrators グループ）のユーザーでログオンする必要があります。

1 **コンピュータとプリンタをケーブルで接続します。**

2 **プリンタの電源をオンにします。**

3 **コンピュータの電源をオンにして、Windowsを起動します。**

プリンタが新しいハードウェアとして認識され、Windows XP に標準添付のプリンタドライバが自動的にインストールされます。

上記の手順でインストールできなかった場合は次の手順で Wlindows 標準添付のプリンタドライバをインストールしてください。

1. ［スタート］メニューの［コントロールパネル］で［プリンタとその他のハードウェア］を選択します。
2. ［プリンタを追加する］をダブルクリックし、画面の指示に従って進みます。
3. プリンタ選択画面でお使いの機種を選択します。
   以降は、表示される画面の指示に従って進め、［完了］ボタンをクリックしてインストールを終了します。

以上で Windows XP 環境でのプリンタドライバのインストールは終了です。

Windows XP 用のEPSON プリンタウィンドウ!2（プリンタの状態を監視するユーティリティ）をインストールする場合は、エプソン販売株式会社のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）から入手してください。

Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 52 ページ「印刷手順」

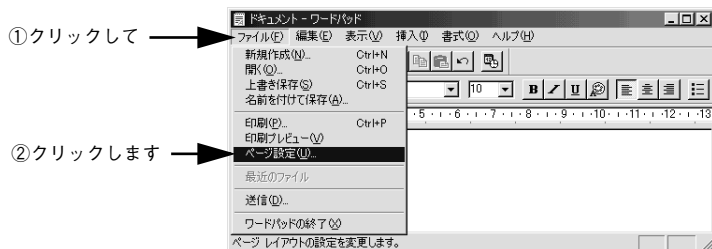
印刷手順

ここでは、Windows（3.1/NT3.51除く）に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

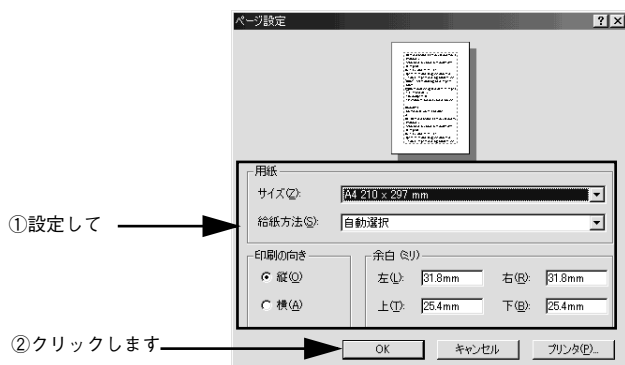
1 ワードパッドを起動します。

- Windowsの［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトを起動し、5に進みます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

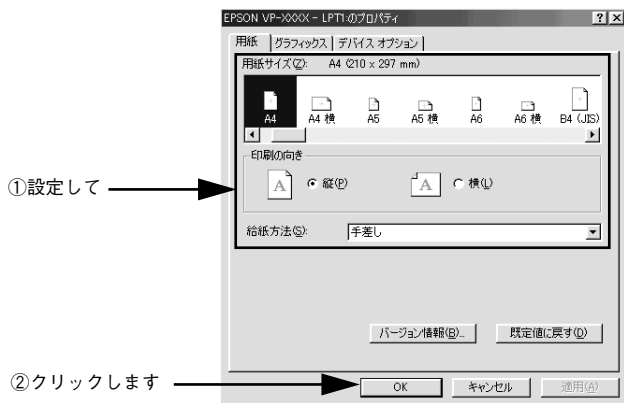
このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。

4 印刷するデータを作成します。

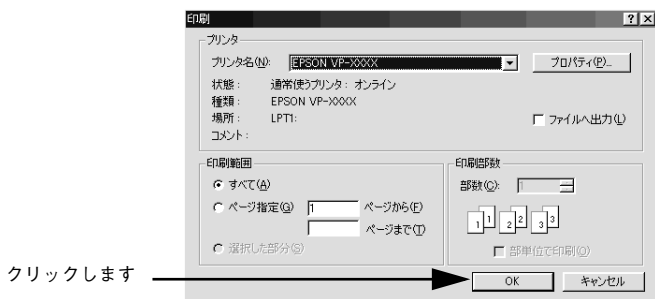
5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 お使いの機種が選択されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

7 **各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。**

通常は、［用紙］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

本書 57 ページ「プリンタドライバの設定項目」

［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

8 **［OK］ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

プリンタドライバの設定

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

プリンタドライバの設定方法

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

＜例＞ Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows 98 で［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。プリンタドライバを開く方法は、アプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。基本的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダでのプリンタドライバの設定値は、アプリケーションソフトからプリンタドライバを開いた際の初期値になります。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2. **お使いの機種のアイコンを右クリックしてから、Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］または［プロパティ］と表示されるダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックします。**

- Windows 95/98/Me/NT4.0 のプリンタドライバ設定項目の詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 57 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- Windows 3.1/NT3.51/2000/XPのプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュ / プルトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。

プリンタドライバの設定項目

印刷を実行する前に、給紙方法、用紙サイズなどプリンタ固有の機能をプリンタドライバで設定します。

Windows 3.1/NT3.51/2000/XP のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

用紙サイズ、給紙方法の設定

用紙サイズや給紙方法の設定は、以下の画面で行います。

Windows 95/98/Me

［用紙］ダイアログ

Windows NT4.0

［ページ設定］ダイアログ

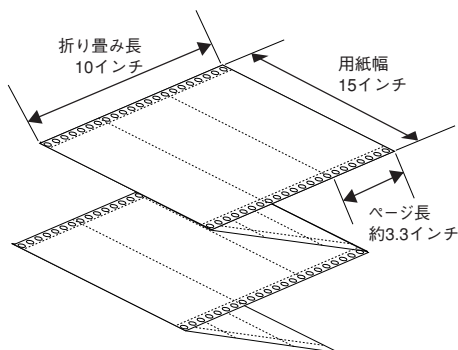
① 用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。

用紙サイズの詳細を表しています。

用紙サイズ一覧にないサイズは、ユーザー定義サイズとして登録することができます。

☞ 本書 62 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

- 「連続紙 15 × 10inch （3 等分）」とは、以下の状態のことを指します。

- 上記の選択肢は「ページ長が約 3.3 インチ」であることを示しますので、用紙の折り畳み長や、折り畳み枚数の単位が異なっても設定できます。
- 「連続紙 15 × 3 2/3inch」などの帯分数は、「3 ＋ 2/3 インチ」のページ長であることを示します。
- 印刷したい連続紙の用紙サイズ（用紙幅）が登録されていない場合は、用紙長が同じものを選択してください。同じものがない場合は、ユーザー定義サイズで登録してください。
  本書 62 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」
- 4 インチ未満で折り畳まれた連続紙を使用すると紙送り精度に影響します。連続紙のページ長が 4 インチ未満の場合は、複数ページ毎に折り畳まれ、折り畳み長が 4 インチ以上の連続紙を使用してください。

② 印刷の向き

印刷する方向を縦・横のどちらかをクリックして選択します。
使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

③ 給紙方法

用紙の給紙方法（装置）を選択します。給紙方法一覧から、選択する給紙方法をクリックします。

手差し	単票紙をプリンタの用紙ガイドから手差し給紙する場合に選択します。
プッシュ / プルトラクタ	プッシュトラクタを使用して連続紙を給紙する場合に選択します。
カットシートフィーダファーストビン カットシートフィーダセカンドビン	単票紙をオプションのカットシートフィーダビン1またはカットシートフィーダビン 2 から給紙する場合に選択します。
自動選択 （Windows NT4.0 のみ）	［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバで設定されている給紙方法に従います。

Windows NT4.0 の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。
OS 標準搭載の Windows 2000/XP のプリンタドライバも同じです。

④余白の編集

用紙の余白設定を行えます。ただし、本機では変更せずそのままの設定で使用してください。

グラフィックス、印刷品質の設定

グラフィックイメージの印刷に関する設定は、以下の画面で行います。

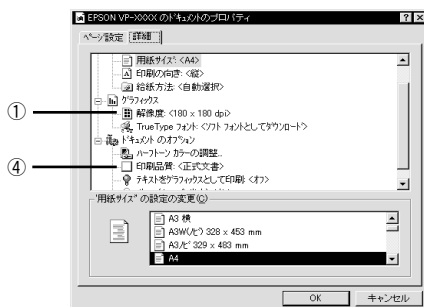
Windows 95/98/Me

［グラフィックス］ダイアログ

［デバイスオプション］ダイアログ

Windows NT4.0

［ページ設定］ダイアログ

［詳細］ダイアログ

① 解像度または印刷品質

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。

解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。

一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

* dpi（Dots Per Inch）：1 インチ当たりのドット数

② ディザリング（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックイメージの細かさを設定します。ディザリング処理をすることで、グレースケールや中間色を疑似的に表現できます。
ここでの設定は、白黒印刷の場合のみ反映されます。

なし	ディザリング処理をしません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。
粗く	粗いディザパターンイメージを用いて処理します。粗くして印刷した紙をコピーすると、中間色がつぶれて真っ黒になってしまいますので、コピーを取る場合はディザリングは［粗く］にしないことをお勧めします。
細かく	細かいディザパターンイメージを用いて処理します。
ラインアート	黒、白、グレー階調の間にくっきりとした境目があるグラフィックスを印刷するときに適しています。
誤差拡散法	写真のような無段階に階調（色調）が変化する画像に適した処理です。細かい微妙な部分まで表現できるようになります。

③ 濃度（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックスの明暗を増減するときに使用します。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へスクロールバーのツマミをドラックするか、ツマミの左右をクリックします。

④ 印刷品質

［正式文書］または［ドラフト］のどちらかを選択します。
［ドラフト］よりも［正式文書］の方が表現力のある高品質な印刷結果になりますが、印刷時間は長くなります。

用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

Windows 95/98/Me の場合

1 プリンタドライバの［用紙］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

2 登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［OK］ボタンをクリックします。

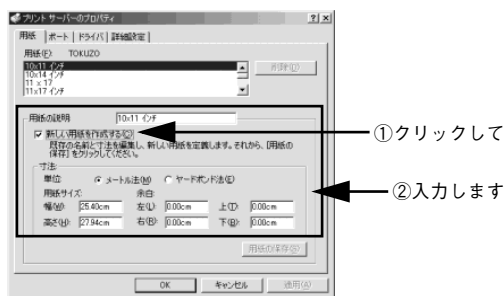
数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

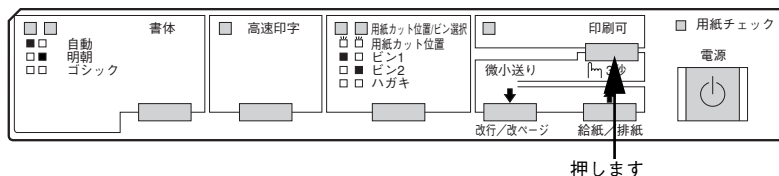
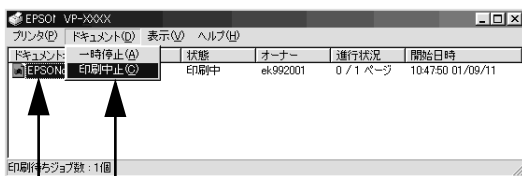
1. ［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダ内の本機のアイコンをクリックしてから［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］を選択します。

2. ［新しい用紙を作成する］チェックボックスをチェックしてから、以下の項目を設定します。

用紙の説明：テキストボックスに登録する用紙の名称を入力します。ここで入力した名称がユーザー定義の用紙サイズの名称になり、プリンタドライバの［用紙サイズ］一覧に表示されます。

寸法：　単位と用紙サイズを設定します。

3. 入力が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

1. **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

2. **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**
   削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !2 の動作環境

対応機種

- DOS/V（IBM PC-AT 互換機）（双方向通信機能*1 のある機種）
- NEC PC-9821 シリーズ（双方向通信機能 *1 のある機種）*2

*1： お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているか否かは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。
*2： ケーブルは「PRCB5N」をご使用ください。

EPSON プリンタウィンドウ！2 は、コンピュータに標準装備されているパラレルインターフェイスの双方向通信機能をサポートし、下記の対象 OS が動作する DOS/V（IBM PC-AT 互換機）、NEC PC-9821 シリーズであれば使用できます。お使いのコンピュータの機種によりプリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキーなど）を、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。
- PRIF13をお使いの場合は、EPSON プリンタウィンドウ!2 は使用できません。
- EPSON プリンタウィンドウ !2 に関する最新情報が EPSON フォルダの「EPSON プリンタウィンドウ !2 Readme」に記載されています。クリックして開き、必ず内容を確認してください。
- Windows NT3.51 用の EPSON プリンタウィンドウ !2 は、ローカルプリンタの監視はできません。
- NEC の PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0/2000 でのローカルプリンタは監視できません。

対象 OS

Windows 95/98/Me/NT3.51*1/NT4.0/2000/XP*2

*1 ローカルプリンタは監視できません。
*2 Windows XP 対応の EPSON プリンタウィンドウ !2 は、エプソン販売株式会社のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）から入手することができます。

プリンタポート

コンピュータに直接プリンタを接続する場合、プリンタの接続ポートは、「LPT1」を使用してください。

初期設定を変更する場合

インストール時に設定した情報を変更する場合は以下の手順にしたがってください。

1. 「ファイル名を指定して実行」画面を開き、EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしたドライブ名およびディレクトリ名と実行コマンドを半角文字で入力し、［OK］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !2 を C ドライブにインストールした場合
→ C:¥EPW2¥SETUP

「EPW2」以外のディレクトリに EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールした場合は、「EPW2」の代わりにインストールしたディレクトリ名を入力してください。
C ドライブにインストールした場合
C:¥ インストールしたディレクトリ名 ¥SETUP

2. この後は画面の指示にしたがって、設定を変更します。

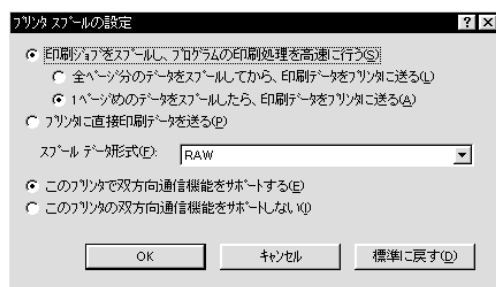
EPSON プリンタウィンドウ !2 をお使いになる前に（Windows95/98/Me）

Windows95/98/Me をご使用の場合、EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用する前に Windows95/98/Me の設定を確認する必要があります。

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にマウスカーソルをあわせ、［プリンタ］をクリックします。**
「プリンタ」フォルダが表示されます。

2. **設定するプリンタのアイコンをクリックし、［ファイル］メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**
「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

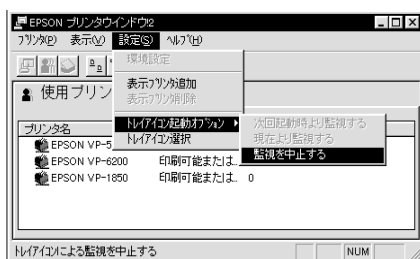
3. **［詳細］タブをクリックし、［スプールの設定］ボタンをクリックします。**
「プリンタスプールの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4. **「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。**
「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていない場合は、クリックして選択します。これで Windows95/98/Me の設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには

EPSON プリンタウィンドウ !2 は、監視アイコンによって監視設定したプリンタに対して常時監視を行います。プリンタの監視を停止するには以下の手順にしたがってください。

1 タスクバーの右端にあるプリンタの形をした「監視」アイコンをダブルクリックします。

監視アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックし「監視を中止する」をクリックすると、監視アイコンを停止します。

2 ［設定］メニューをクリックし、「監視アイコン起動オプション」をポイントし、「監視を中止する」をクリックします。

3 ［プリンタ］メニューをクリックし「閉じる」をクリックします。

監視を中止した後で、再度監視を行う場合は「次回起動時より監視する」または「現在より監視する」をクリックします。監視を停止するとタスクバーの監視アイコンが消去されますので、再起動する場合は「操作手順」の手順にしたがってスタートメニューから起動してください。

操作手順

ここでは「EPSON プリンタウィンドウ !2」の基本的な操作の手順を説明しています。

ポイント

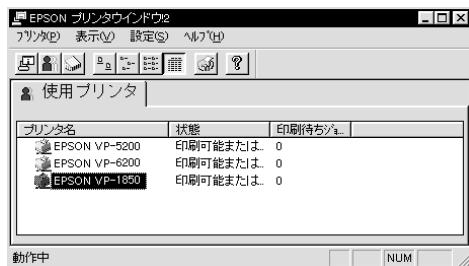
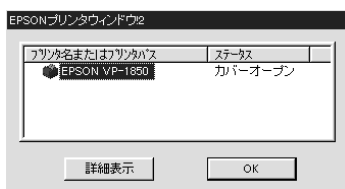
プリンタドライバのプロパティシートにおいてプリンタの印刷先を変更した場合は「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順にしたがって停止させた後、再起動してください。

1 **プリンタの電源スイッチをオンにし、タスクバーの右端にある［監視アイコン］をダブルクリックします。**

ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !2 はスタートメニューからも起動できます。［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］-［EPSON］にカーソルを合わせます。［EPSON プリンタウィンドウ !2］をクリックします。

2 **目的のプリンタをクリックし選択します。**

表示された画面は「プリンター覧」ウィンドウです。ここでは設定されたプリンタの状態が表示されます。

ポイント

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、設定した条件時に「簡易表示」が表示されるようになります。この「簡易表示」からプリンタの詳細を確認することができます。

☞本書 74 ページ「環境を設定するには」

プリンター覧ウィンドウ

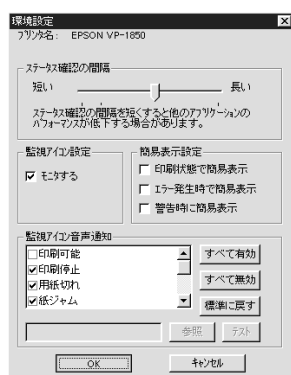
設定されたプリンタの状態を表示しています。カラーアイコンを使用していますので、色の変化によりプリンタの状態が一目で分かります。

①メニューバー

プリンタ（P）：	「プリンター覧」ウィンドウの中から選択したプリンタの「プリンタ詳細」、「ジョブ管理」、「用紙選択」のウィンドウを開きます。
表示（V）：	「プリンター覧ウィンドウ」の表示方法を設定します。「最新の情報に更新」をクリックすると、プリンタの最新の状態をチェックし、表示します。
設定（S）：	「環境設定」「表示プリンタの追加」「表示プリンタの削除」など動作環境の設定をします。また、監視アイコンの登録等もここで設定します。
ヘルプ：	EPSON プリンタウィンドウ!2 に関する説明を表示します。

②ツールバー

アイコンをクリックすることで各機能が実行されます。アイコンの上にポインタを移動させると、そのアイコン機能が表示されます。

プリンタの詳細をみるには	環境を設定するには
「プリンタ詳細」アイコン　をクリックします	「環境設定」アイコン　をクリックします。
 クリックします	 クリックします
プリンタの詳細な状態を確認後［OK］ボタンをクリックします。	環境設定後［OK］ボタンをクリックします。
ステータス詳細：72 ページ参照 プリンタ情報：73 ページ参照 	ステータス詳細：74 ページ参照

ポイント

コンピュータに負担をかけるため、必要のない時は画面を閉じてください。プリンタドライバのプロパティシートにおいてプリンタの印刷先を変更した場合は EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止させたあと、再起動してください。

本書 68 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」

③プリンタ情報

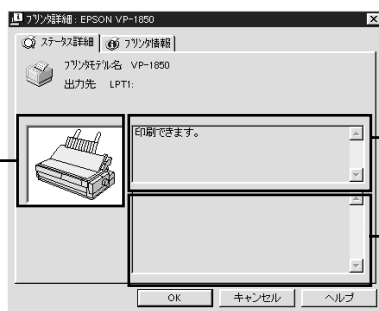
登録されているプリンタ名、状態、印刷待ちの件数を表示します。監視するプリンタが複数ある場合は、各ボタンをクリックするとプリンタの表示順が変わります。

プリンタ名：	コンピュータにインストールされているプリンタの一覧を表示します。
状態：	コンピュータにインストールされているプリンタの状態を表示します。
印刷待ちジョブ数：	プリンタの印刷待ちの件数を表示します。
プリンタアイコン：	プリンタの状態を色で表示します。 緑：印刷可能です。 黄：印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。 赤：印刷不可能です。プリンタに異常があります。 灰：プリンタが監視できない状態です。

通常接続しないプリンタは不必要にコンピュータに負担をかけるため、[設定]メニューの「表示プリンタ削除」で削除してください。このとき、プリンタドライバは削除されません。

プリンタの詳細をみるには

ステータス詳細シート

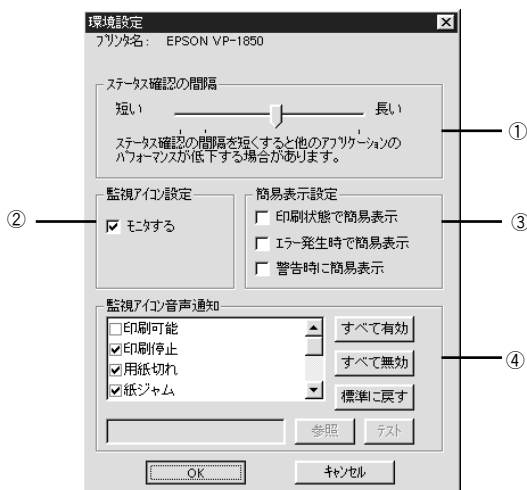
「ステータス詳細」シートでは、選択したプリンタの状態をチェックすることができます。またプリンタに問題のある時はその対処方法も表示されます。

プリンタ情報シート

「プリンタ情報」シートでは、選択したプリンタの機能やオプション情報を表示します。

ポイント

ローカル接続の場合、画面が変わるのに少し時間がかかる場合があります。

環境を設定するには

ここではEPSON プリンタウィンドウ !2 上における各プリンタの動作環境を設定します。

①ステータス確認の間隔：　コンピュータがプリンタの状態をチェックする間隔を設定します。(最短設定2秒:初期10秒:最長設定60秒)

②監視アイコン設定：　「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視がはじまります。監視アイコンを停止している場合は選択できませんのでご注意ください。

③簡易表示設定：　監視アイコンから簡易表示を表示する場合の条件を設定します。簡易表示については以下のページをご覧ください。
☞本書 75 ページ「監視アイコンと簡易表示について」

④監視アイコン音声通知：　プリンタの状態の□チェックボックスをクリックしてチェック印をつけると「簡易表示」が表示される時に音声で通知する機能が有効になります。

ポイント

- お使いのコンピュータに 75 ページ「監視アイコンと簡易表示について」ウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。
- プリンタの監視を停止している場合には、監視アイコン・簡易表示の設定はできません。「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順を参照して、［設定］メニューをクリックし、「監視アイコン起動オプション」で「現在より監視する」をクリックします。
☞本書 68 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」

監視アイコンと簡易表示について

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視が開始されます。監視が開始されるとタスクバー上の監視アイコンの色が選択したプリンタの状況に応じて変化し、「簡易表示」が表示されます。

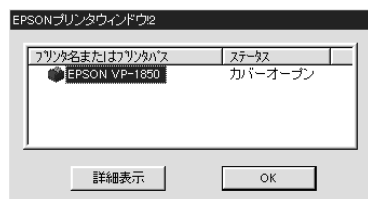
監視アイコン

選択したプリンタの状況に応じてアイコンの色が変化します。

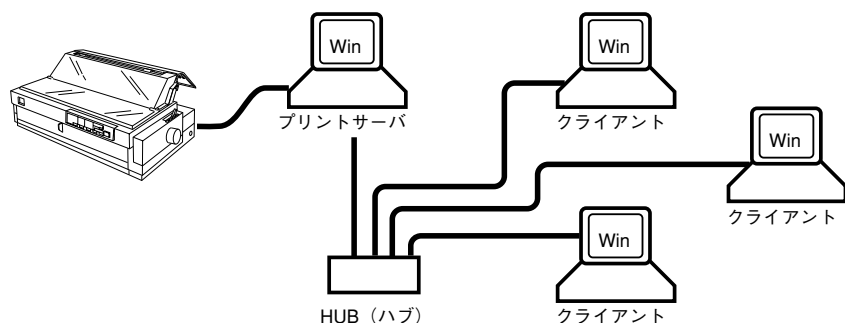
緑ー　印刷可能です。
黄ー　印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
赤ー　印刷不可能です。

- 監視アイコンを停止している場合は、監視アイコンと簡易表示機能はご利用になれません。「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」の手順で［現在より監視する］を選択し、環境設定の「監視アイコン設定」で「モニタする」をチェックしてください。
- 監視アイコンをポイントしてマウスの右ボタンをクリックすると、監視アイコンの設定ができます。
  「手前に表示する」:「簡易表示」を開いているウィンドウの一番手前に表示します。
  「監視を停止する」: 監視アイコンの監視を中止します。

簡易表示

環境設定で設定した条件時のみ「簡易表示」がトレイアイコン上部に表示されます。プリンタ名をクリックし、詳細表示 ボタンをクリックすると、「ステータス詳細シート」が開きます。

プリンタを共有するには

Windows（Windows 3.1/NT3.51 を除く）の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

本書 77 ページ「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
本書 80 ページ「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP）」

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「クライアントの設定」

ポイント

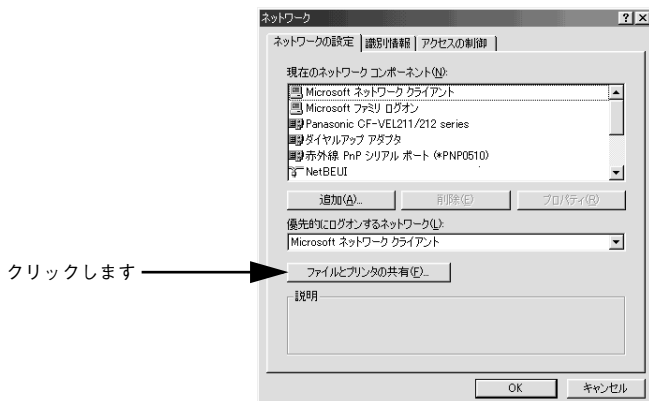
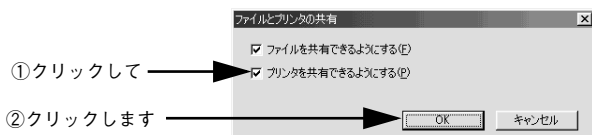
- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）

Windows 95/98/Me でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

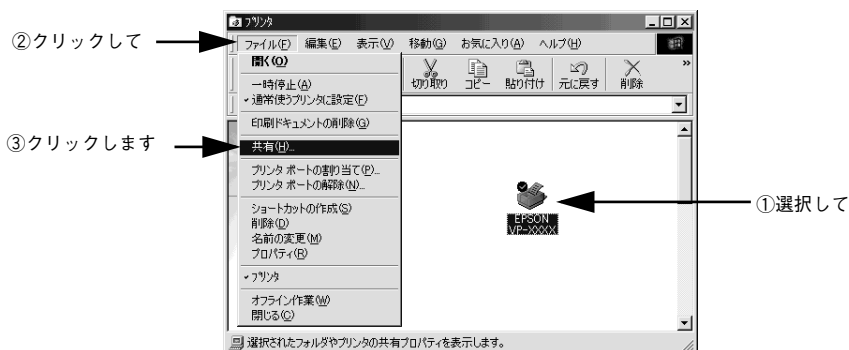
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、**1** でコントロールパネルを開いて **6** から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 お使いのプリンタのアイコンをクリックして、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。

本書 81 ページ「クライアントの設定」

プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP）

Windows NT4.0/2000/XP のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

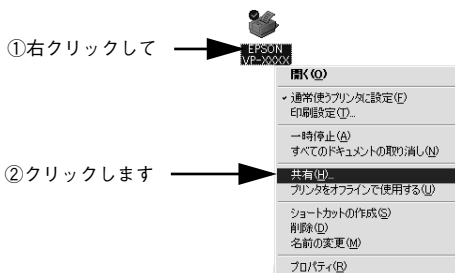
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

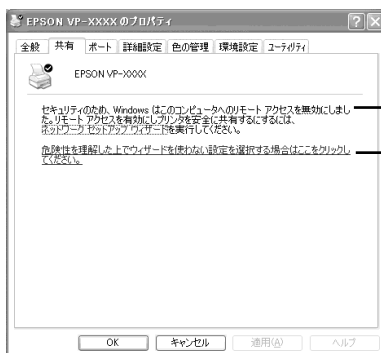
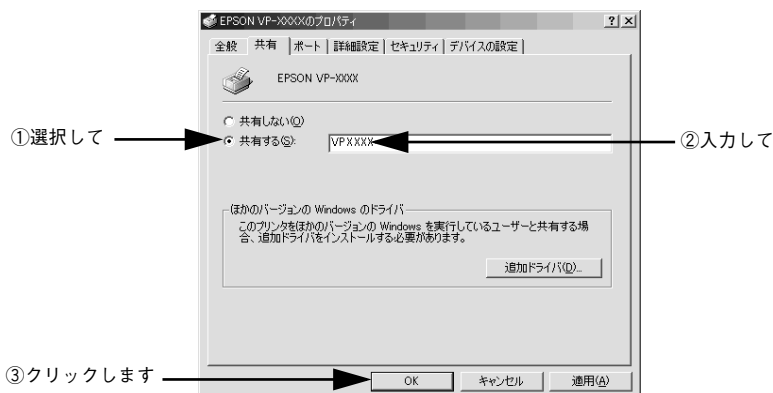
- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 お使いの機種のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

ポイント

Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

ポイント

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- ［代替ドライバ］/［ほかのバージョンのWindows のドライバ］は選択しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。
本書 81 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

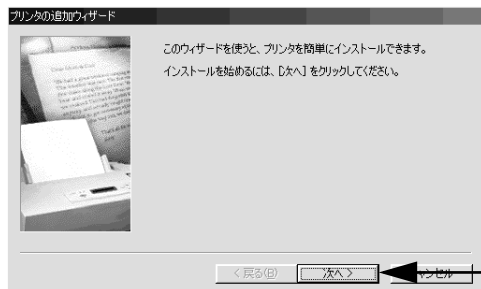
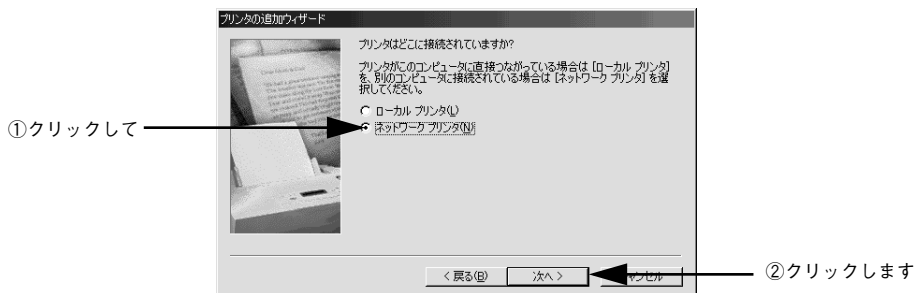
ポイント

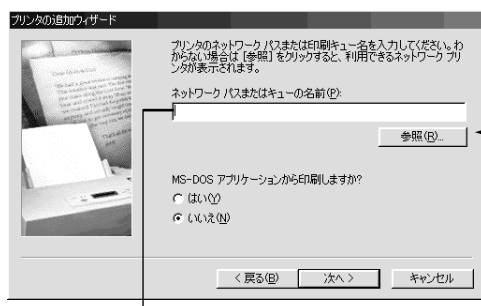
Windows NT4.0/ 2000/XP の場合、管理者権限のあるユーザー（Administrators）でログオンする必要があります。

Windows 95/98/Me クライアントでの設定

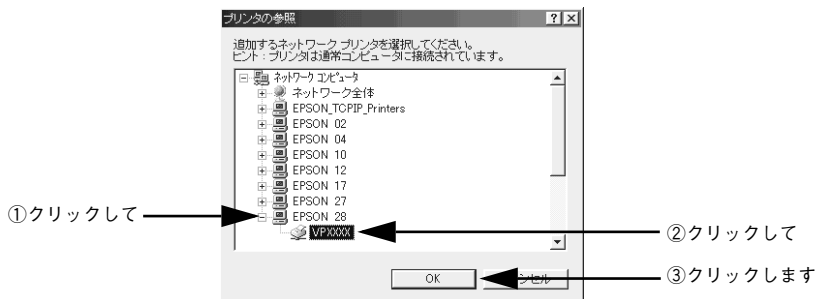
Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

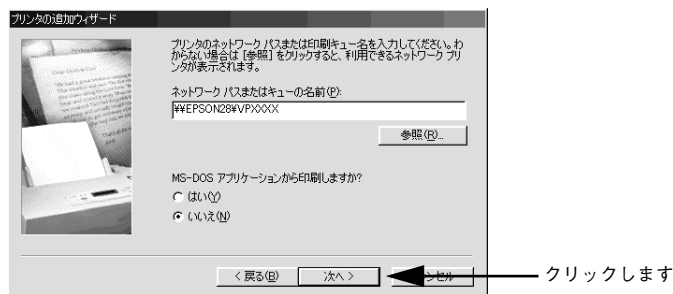
2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

ポイント

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

この後は、90 ページの 5 に進みます。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

この後は、90 ページの ❺ に進みます。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

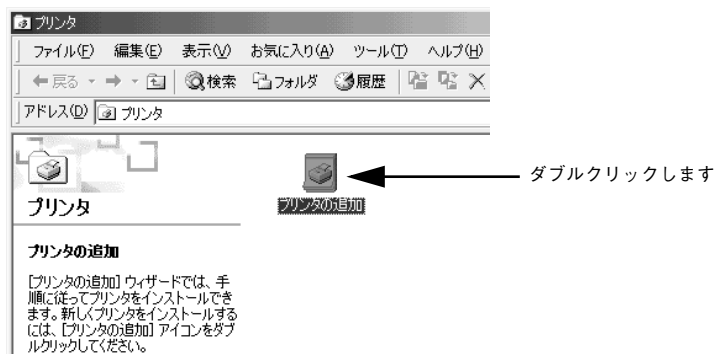
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

ポイント

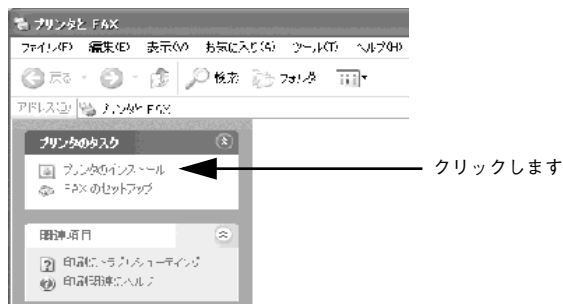
Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

❷ プリンタの追加ウィザードを起動します。

- **Windows 2000 の場合**

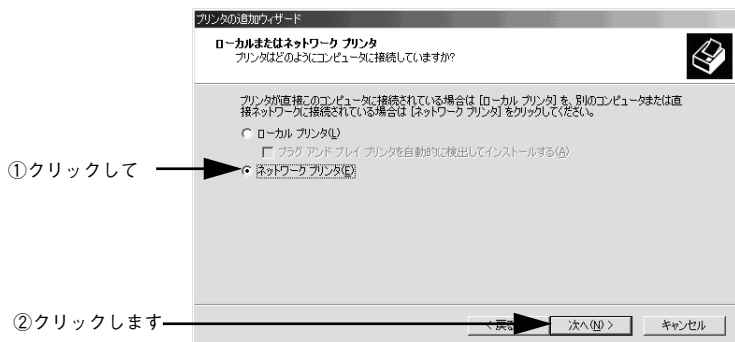
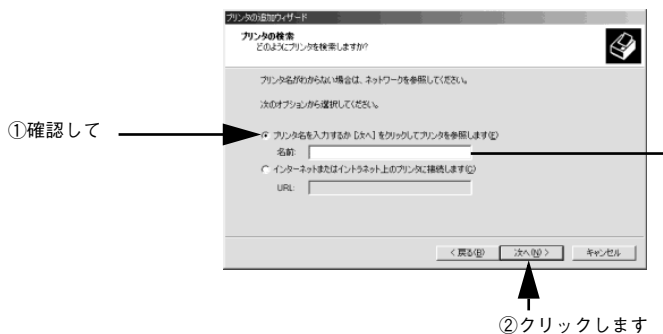
①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

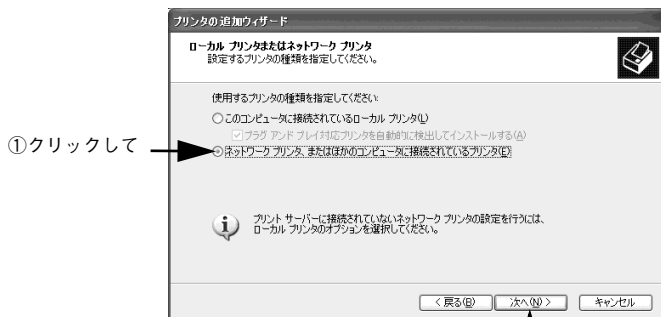
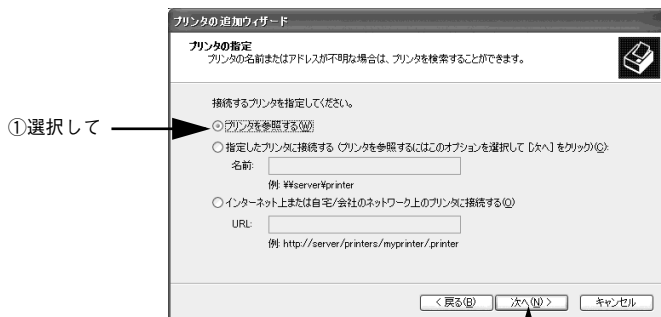
3 **使用する共有プリンタを探します。**

- **Windows 2000 の場合**

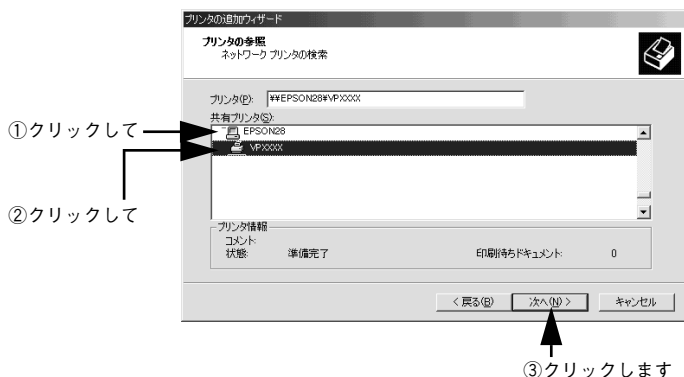
①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

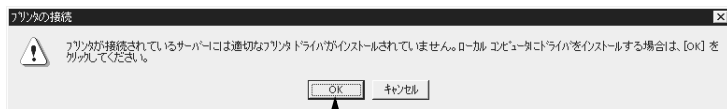
ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

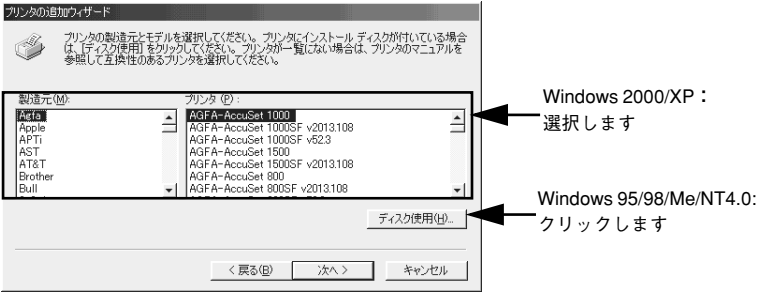
① ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

② ［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は、［指定したプリンタに接続する］をクリックして［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

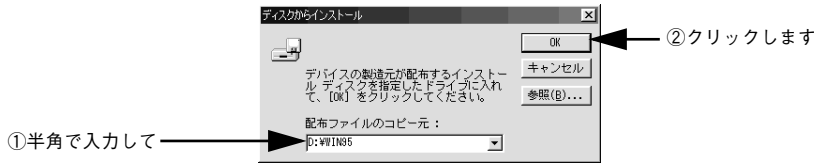
4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

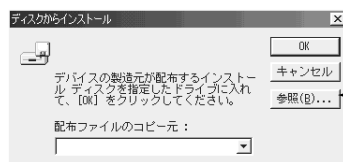
5 ［OK］ボタンをクリックします。

プリンタを直接接続しているコンピュータにプリンタドライバがインストールされていて、そのコンピュータとお使いのコンピュータの OS が同じ場合、プリンタドライバは自動的にインストールされ、上の画面は表示されません。また、以降の手順も必要ありません。

6 お使いのプリンタを選択します。

Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合は、[ディスク使用] ボタンをクリックし、EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。
Windows 2000/XP の場合は、一覧の中からお使いのプリンタを選択して、⑩ へ進みます。

7 EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

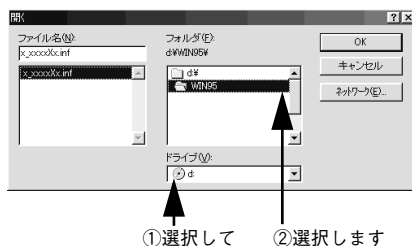
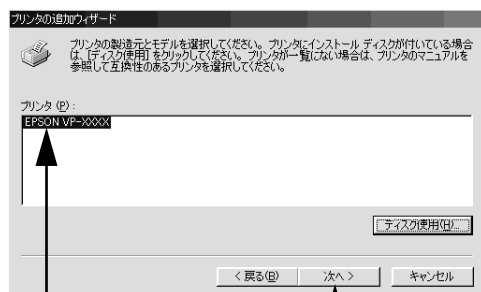
8 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、[OK] ボタンをクリックします。

	Windows 95	Windows 98	Windows Me	Windows NT4.0
セット先 ドライブ例	D ドライブ E ドライブ			
入力例	D:¥WIN95 E:¥WIN95	D:¥WIN98 E:¥WIN98	D:¥WINME E:¥WINME	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40

ポイント

入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

クリックします

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

<例>

①選択して　②選択します

9 お使いのプリンタ名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

10 この後は、画面の指示に従って設定してください。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。パラレルケーブルで接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能を確認してください。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダを開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合**

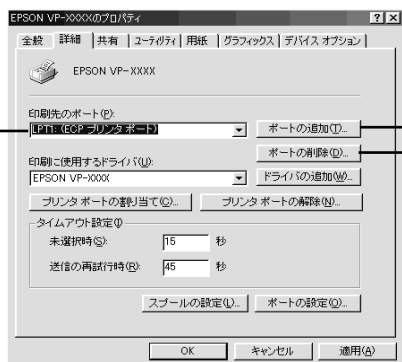
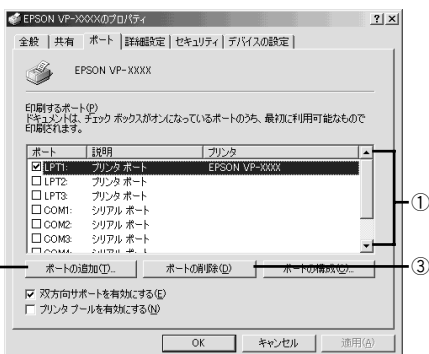
［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XPの場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

2 設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして設定を変更します。

変更後［OK］ボタンをクリックすると設定は終了です。

< Windows 95/98/Me >　　＜Windows NT4.0/2000/XP＞

ポイント

ここで説明する以外の項目については、通常設定変更の必要はありません。

① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。表示されるポートの種類は、ご利用のコンピュータによって異なります。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのポートに接続した場合は、LPT1 の設定でご使用ください。

PRN	EPSON PC シリーズ/NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRNが表示されない場合はLPT1 を選択します。
LPT	通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。
EPT	EPSON プリンタでは使用しません。
EPUSBx	Windows 98/Me 環境の USB ポートです。 EPSON USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます。（最後のx には数字が表示されます）。本機では使用しません。
USBx	Windows 2000/XP 環境のUSB ポートです。（最後の x には数字が表示されます）。本機では使用しません。
FILE	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。
¥¥サーバ名など¥プリンタ名など	ネットワーク上のパスを指定したポートです。パスによって指定されたネットワークプリンタに出力します。

② ［ポートの追加］

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

③ ［ポートの削除］

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

プリンタソフトウェアの削除

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

- EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。
- Windows NT4.0 環境で、ネットワークプリンタとしてプリンタドライバをインストールした場合は、［プリンタ］フォルダからお使いの機種のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから［削除］を選択してください。
- Windows 2000/XP 環境でお使いの場合は、［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダからお使いの機種のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから［削除］を選択してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

3. **［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。**
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから［追加と削除］ボタンをクリックします。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、お使いの機種のアイコンを選択します。

6 プリンタドライバの削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

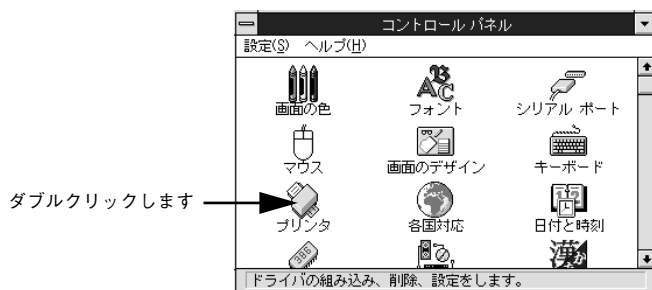
7 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**
以上でプリンタソフトウェアの削除（アンインストール）は終了です。

プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

Windows 3.1/NT3.51

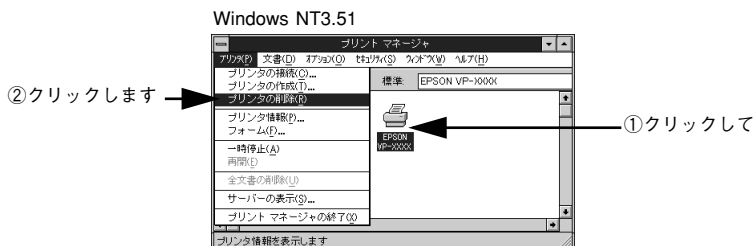
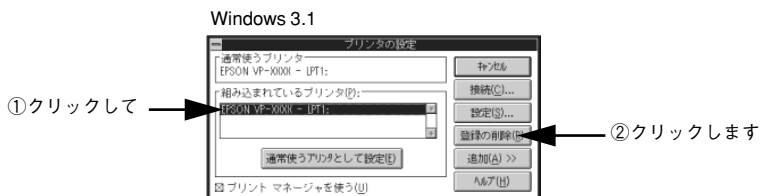
1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **［メイン］グループの［コントロールパネル］をダブルクリックして開きます。**

3 **［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。**

4 **お使いの機種を選択して、プリンタを削除します。**

Windows 3.1 をお使いの場合は、［登録の削除］ボタンをクリックします。
Windows NT3.51 をお使いの場合は、［プリンタの削除］ボタンをクリックします。

Windows 3.1

Windows NT3.51

5 **プリンタドライバの削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !2 の削除

「EPSON プリンタウィンドウ !2」を削除する場合は次の手順にしたがってください。

ポイント

他のソフトウェア（ウイルス検知プログラム等）が起動している場合は、各ソフトウェア取扱説明書を参照して停止させてから削除を行ってください。

1. 「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」にしたがって EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止させます。
☞ 本書 68 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !2 を停止するには」

2. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。

3. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4. 「EPSON プリンタウィンドウ !2」をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックします。

この後は画面の指示にしたがって削除をすすめます。

使用可能な用紙と給排紙

使用可能な用紙

本機では一般的な連続紙や単票紙のほかに、複写紙、郵便ハガキ、ラベル紙などの用紙も使用できます。説明をよくお読みいただき正しい用紙をお使いください。

給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下のページを参照してください。
本書 186 ページ「用紙詰まりの予防」

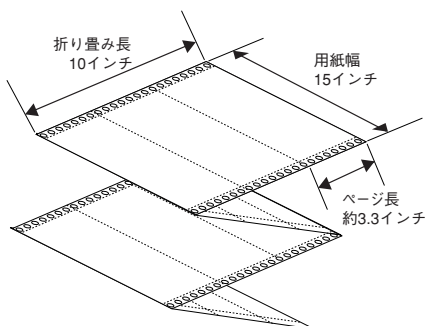
連続紙（連続複写紙）

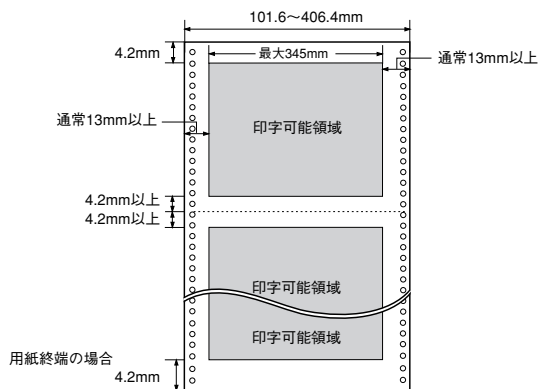
- 連続紙はリアプッシュトラクタ、フロントプッシュトラクタあるいはプルトラクタから給紙します。
- 上質紙*、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 最大 6 枚までの複写紙（オリジナル＋ 5 枚）を使用することができます。
- 複写紙を使用するときは、用紙の厚さに応じてアジャストレバーを設定してください。
  本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
- スプロケット穴は真円形のものを使用してください。
- 再生紙は一般室温環境（温度 15 ～ 25℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 用紙穴がピンから外れたあとの紙送り精度は保証できません。
- 連続紙をセットする手順については、以下のページを参照してください。
  本書 113 ページ「連続紙のセット」

* 上質紙：上質紙や事務用普通紙（複写紙などで使用するもの）を総称して表記します。

- 用紙の表面に、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6 ～ 406.4mm {4.0 ～ 16 インチ}	
用紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm {4.0 ～ 22 インチ}	
用紙厚	0.065 ～ 0.36mm	
用紙重量	45 ～ 70kg	34 ～ 50kg（1 枚当たり）
コピー枚数	—	最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）

ページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）101.6mm｛4インチ｝未満で使用する場合、用紙の折りたたみ長は101.6mm｛4インチ｝以上の用紙をお使いください。
図にはページ長3.3インチ、折りたたみ長10インチの連続紙の例を示します。Windowsドライバでは「連続紙15×10inch（3等分）」と表記される連続紙を選択してください。

印字領域

以下の領域に印刷することができます。

連続複写紙の綴じ方

複写紙を使用する場合は、必ず以下の綴じ方の連続紙を使用してください。本機で最も推奨する綴じ方は両側点のり綴じ（千鳥綴じ）です。

名称	両側点のり綴じ（千鳥綴じ）	両側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）	片側点のり綴じ（千鳥）＋片側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）
綴じ方	25.4mm（1インチ）以下	76.2mm（3インチ）以下 印字面	25.4mm（1インチ）以下 76.2mm（3インチ）以下 印字面

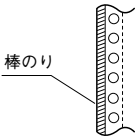
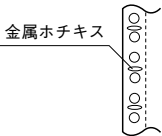
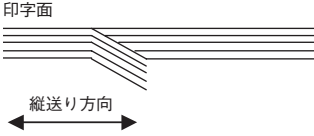
注意

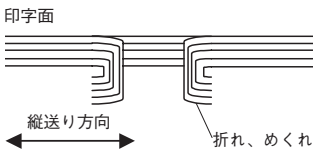
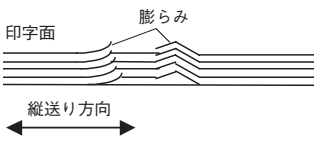
次の綴じ方をしている用紙や、折れ、めくれ、印字面への膨らみのある用紙は使用しないでください。

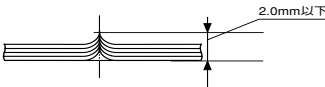
- 棒のり綴じ
- 金属ホチキス
- 紙ホチキス（シングルギャザー）
- 片側のみ綴じたもの（片側フリー）
- テープホチキス

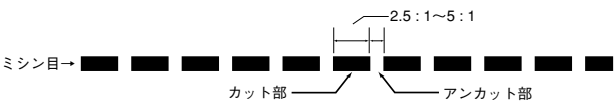
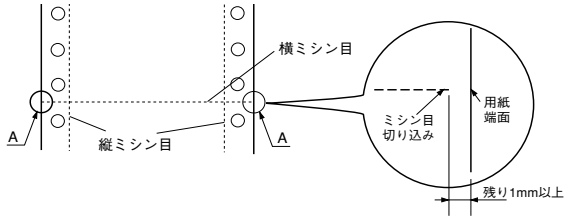
棒のり綴じ　棒のり

金属ホチキス　金属ホチキス

シングルギャザー　印字面　縦送り方向

紙ホチキスの折れ、めくれ　印字面　縦送り方向　折れ、めくれ

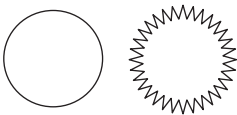
紙ホチキスの印字面への膨らみ　膨らみ　印字面　縦送り方向

折り畳み部分のふくらみ

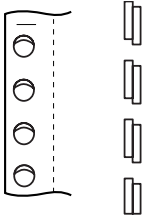
連続紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、2.0mm 以下のものを使用してください。

ミシン目の入れ方

- ミシン目のカット、アンカットの比率は約 2.5：1 〜5：1 としてください。

- 横ミシン目の両端部 A のアンカット寸法は 1mm 以上としてください。

- 縦ミシン目と横ミシン目との交点はカットしないでください。

×：交点カット	○：交点アンカット
交点カット ミシン目	交点アンカット ミシン目

スプロケット穴の形状

スプロケット穴は真円形のものを使用してください。

スプロケット穴の形状

スプロケット穴が次のようにずれているものは使用できません。

連続ラベル紙

- フロントプッシュトラクタまたはプルトラクタから給紙します。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 使用しないときは、プリンタから取り外してください。
- 台紙には印字しないでください。
- 自動ティアオフ機能は使用しないでください。
- アジャストレバーをラベルの厚さに応じて設定してください。
  本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
- 連続ラベル紙については、以下のページを参照してください。
  本書 147 ページ「ラベル紙のセット」

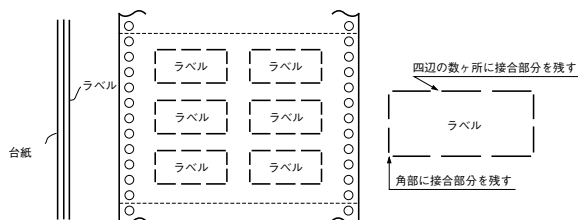
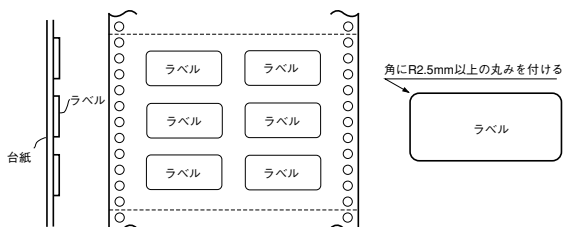
- ラベルの台紙は連続紙を使用します。単票ラベル紙は使用できません。
- リアプッシュトラクタおよびリアプッシュトラクタ + プルトラクタによる後部給紙はできません。ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼りつくことがあります。
- ティアオフ機能は使用しないでください。ラベル紙が後方に送られるときに、ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ラベル紙を排紙するときには、必ず［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。［給紙 / 排紙］スイッチは使用しないでください。ラベル紙が後方に送られるときに、ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ラベル紙をプリンタに取り付けたまま放置しないでください。丸まって用紙が詰まることがあります。
- ラベル紙を取り外すときは、フロントプッシュトラクタの位置かプリンタ底部の給紙口で切り離してから、必ず［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。［給紙 / 排紙］スイッチは使用しないでください。

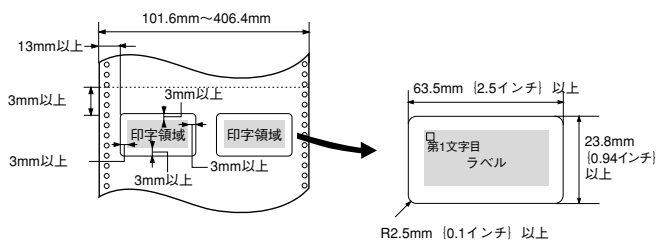
項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 406.4mm｛4.0 ～ 16.0 インチ｝
台紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm｛4.0 ～ 22.0. インチ｝
推奨ラベルサイズ	幅 63.5mm 以上、長さ 23.8mm 以上、R2.5mm 以上
用紙厚（台紙を含む）	0.16～ 0.19mm
ラベル重量	55kg

ラベル紙表面は白色（反射率 60% 以上）で、染み、汚れ、しわ、カールのない上質紙であること。

連続ラベル紙の種類

連続ラベル紙にはカストリ * なしの用紙とカストリありの用紙があります。カストリなし用紙を使用することをお勧めします。

- 台紙全体がシールに覆われているラベル紙（カストリなし）

- 台紙全体がシールに覆われていないラベル紙（カストリあり）
  ラベルの角に R2.5mm 以上の丸みが付いているラベル紙を使用してください。

* カストリ：ラベル以外の粘着シールをはぎとること。

印字領域と使用可能なラベルサイズ

単票紙（単票複写紙）

- 用紙ガイド（上 / 前）、またはオプションのカットシートフィーダ（単票複写紙は、カットシートフィーダビン 1（VP1800CSFA）のみ）から給紙します。
- 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- 最大幅 420mm（A3 横相当）の用紙まで使用できます。ただし最大印字桁数は 136 桁（345mm）ですので、左右マージン（余白部分）が多くなります。
- 最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）までの複写紙を使用することができます。
- 用紙の厚さに応じてアジャストレバーを設定してください。
  本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
- ミシン目の入った単票紙は使用できません。
- 単票紙をセットする手順については、以下のページを参照してください。
  本書 141 ページ「単票紙のセット」

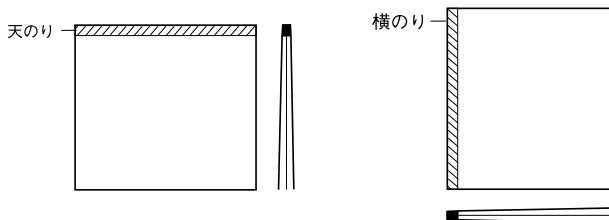
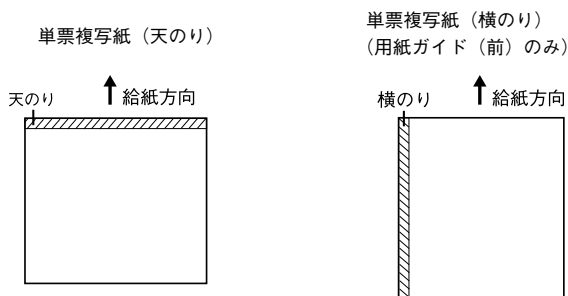
オプションのカットシートフィーダで使用できる用紙の種類については以下のページを参照してください。
本書 167 ページ「カットシートフィーダ」

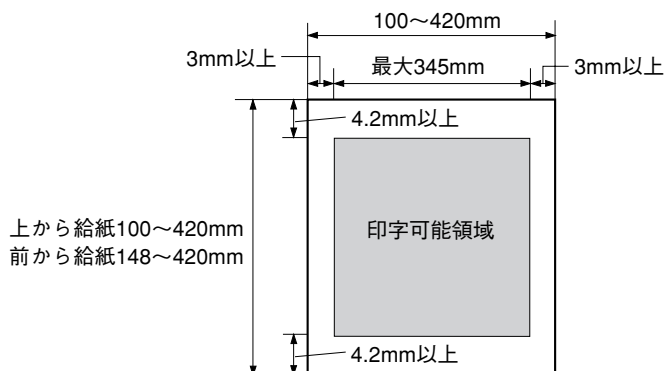
項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
種類	—	天のり（用紙ガイド（上）） 天のり、横のり（用紙ガイド（前））
用紙幅	100 ～ 420mm｛3.9 ～ 16.5 インチ｝	
用紙長	100 ～ 420mm｛3.9 ～ 16.5 インチ｝（用紙ガイド（上）） 148 ～ 420mm｛5.8 ～ 16.5 インチ｝（用紙ガイド（前））	
用紙厚	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.36mm
コピー枚数	—	最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）
用紙重量	45 ～78kg	34 ～ 50kg（1 枚当たり）

使用できる定形用紙

用紙サイズ	B4	B5	B6	A3	A4	A5	A6
用紙ガイド（前）	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長
用紙ガイド（上）	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長，横長	縦長

* B4 横より幅の広い単票用紙を使用するときは、左のエッジガイドをマークより左に寄せて使用してください。最大印字桁数は 136 桁ですので、用紙によっては左右マージン（余白部分）が多くなります。

- 単票複写紙は、用紙ガイド（上 / 前）またはオプションのカットシートフィーダビン１（VP1800CSFA）から給紙してください。オプションのカットシートフィーダビン２（VP1800CSFB）からは給紙できません。
- 複写紙はノンカーボン紙を使用してください。裏カーボン紙、中カーボン紙は使用できません。
- 単票複写紙は、天のり綴じ、または横のり綴じ（用紙ガイド（前）のみ）の用紙を使用してください。

- 綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。
- 単票複写紙（天のり）を使用する場合は、天のり側から給紙するように用紙をセットして給紙してください。単票複写紙（横のり）は以下の図のように用紙ガイド（前）にセットして給紙してください。

- 用紙の表面に染み、ピンホール、汚れ、しわ、反りや毛羽立ちがない用紙を使用してください。
- ソフトウェアの設定が、印字可能領域内になっていることを確認してください。
- ソフトウェアの設定によっては、印字可能領域が本書記載の領域より小さくなる場合があります。

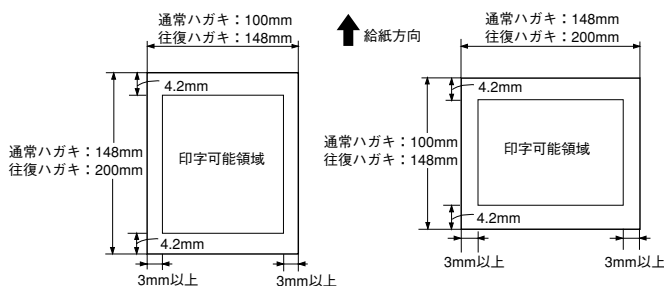
印字領域

ハガキ

- 用紙ガイド（前）、またはオプションのカットシートフィーダビン 1（VP1800CSFA）から給紙します。
- 郵便ハガキ（通常ハガキまたは郵便往復ハガキ）を使用してください。
- 郵便往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使ってください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- ハガキをセットする手順は、以下のページを参照してください。

本書 146 ページ「郵便ハガキのセット」

- ハガキは、用紙ガイド（前）または、オプションのカットシートフィーダビン１（VP1800CSFA）から給紙してください。用紙ガイド（上）やオプションのカットシートフィーダビン２（VP1800CSFB）からは給紙できません。
- ハガキに印刷する前に、ハガキサイズの用紙で試し印刷をして、印刷位置を確かめてから実際にハガキへ印刷してください。
- アプリケーションソフトを使用してハガキに印刷するときは、給紙位置の調整が必要です。
- 原則として郵便ハガキを使用してください。私製ハガキは図の寸法に従ったサイズのハガキを使用してください。
- ハガキは染み、ピンホール、汚れ、しわ、反りや毛羽立ちがない上質紙を使用してください。

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ（通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	約0.22mm	
用紙重量	165kg 相当	

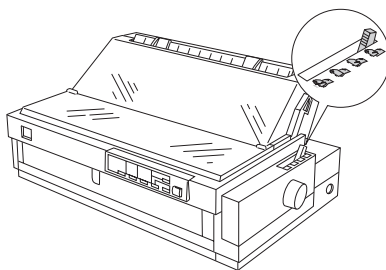
印字領域

- ハガキを印刷する場合は操作パネルでハガキモードに設定してください。
  ① アジャストレバーを「2」に設定します。
  ②［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押し、ハガキモード（用紙カット位置 / ビン選択ランプが両方点灯）にします。
  ☞本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
  ☞本書 21 ページ「操作パネル」
- ハガキをオプションのカットシートフィーダビン1から給紙する場合も、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押し、ハガキモードにしてください。
- 用紙ガイド（前）では通常郵便ハガキ（100 × 148 mm）は縦長に給紙してください。横長での給紙はできません。

保存するときは

- 用紙は直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 用紙は湿度などの影響で丸くなっていることがありますが、補充する場合や別に梱包されている用紙と一緒にセットする場合などは、丸まってる方向を合わせてセットしてください。
- 用紙は風通しのよい冷暗所に保管してください。乾燥しすぎた用紙または湿った用紙の給紙は、正しく行われないことがあります。

レリースレバーの設定

プリンタの前後、上下から給紙することができます。給紙する用紙の種類と経路を選択するには、レリースレバーを使用します。

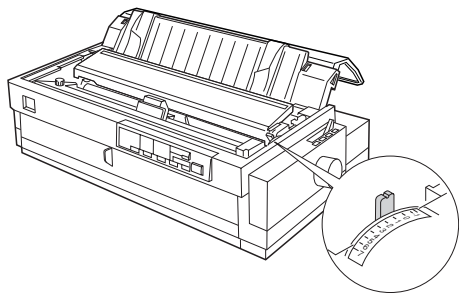
レリースレバーには 4 つの設定位置があります。それぞれの設定位置には、給紙する用紙と給紙経路を示すイラストが描かれています。

イラストが示す意味は、それぞれ次のとおりです。

	単票給紙 単票紙やハガキを給紙するときにこの位置に合わせます。 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）、オプションのカットシートフィーダから給紙します。
	リアプッシュトラクタ（プルトラクタ併用可） 連続紙をプリンタ後部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、トラクタをプリンタ上部に取り付けると、リアプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。
	フロントプッシュトラクタ（プルトラクタ併用可） 連続紙をプリンタ前部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けると、フロントプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。
	プルトラクタ 連続紙をプリンタ上部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。 プリンタの前部、後部または底部から連続紙を給紙できます。

ラベル紙は特定の給紙経路からしか給紙できません。詳しくは以下のページを参照してください。

☞本書 147 ページ「ラベル紙のセット」

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを調整する必要があります。
一般的な単票用紙や連続紙に印刷する場合は、アジャストレバー位置を「0」に設定して印刷します。厚手の用紙や特殊紙（複写紙、ハガキ、ラベル紙）に印刷する場合には、用紙厚に合わせて次の表のようにアジャストレバーを調整します。

用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値
1枚紙	通常、薄手	0
	厚手	0
複写紙	2枚	0
	3枚	1
	4枚	2
	5枚	3
	6枚	4
ラベル、ハガキ		2

注意

- 厚手の用紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印字可能領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定が大きいときに印字可能領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- ハガキを使用するときは、アジャストレバーを「2」に設定し、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチを押してハガキモードにしてください。
本書 21 ページ「操作パネル」
- 上記の表は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

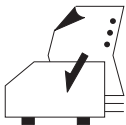
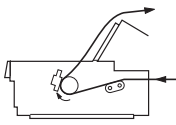
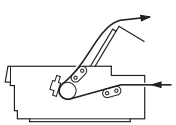
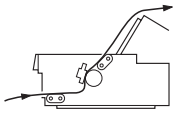
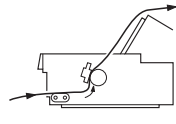
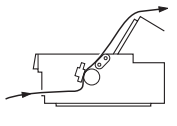
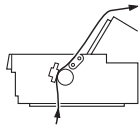
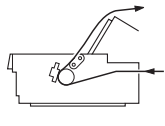
連続紙のセット

給紙方法に合わせて、レリースレバーを正しい位置に設定してください。
本書 111 ページ「レリースレバーの設定」
トラクタの取り付け・取り外しと使い方は、以下のページをご覧ください。
本書 115 ページ「トラクタユニットの付け替え」

操作上のご注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、［給紙 / 排紙］スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

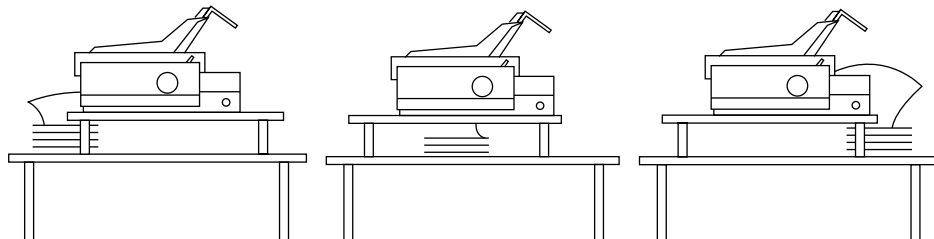
トラクタの装着位置と給紙経路の選択

本機は連続紙をプリンタの前部、後部、または底部から給紙できます。リアプッシュトラクタとフロントプッシュトラクタに異なる連続紙をセットしたまま使用することができます。プッシュ / プルトラクタあるいはプルトラクタを使用すると紙詰まりを少なくすることができます。

プリンタ後部のリアプッシュトラクタは取りはずすことができません。無理に取り外さないでください。

下記の表はトラクタの装着位置と給紙経路を示します。

トラクタの装着位置	レリースレバーの設定	給紙経路
後部および上部	リアプッシュトラクタ	**後部給紙** リアプッシュトラクタ リアプッシュトラクタ ＋プルトラクタ
前部および上部	フロントプッシュトラクタ	**前部給紙** フロントプッシュトラクタ フロントプッシュトラクタ ＋プルトラクタ（オプション）
上部	プルトラクタ PULL	前部給紙　底部給紙　後部給紙

連続紙の設置

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。プリンタの底部から給紙する場合は、プリンタスタンドを使って給紙を妨げないようにしてください。

プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

トラクタユニットの付け替え

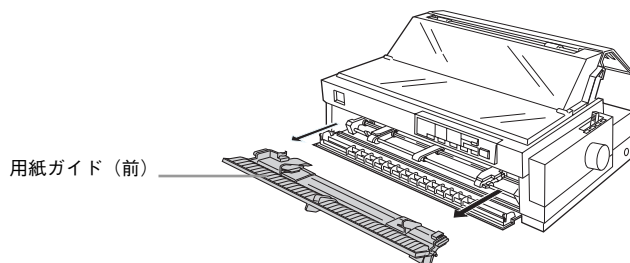
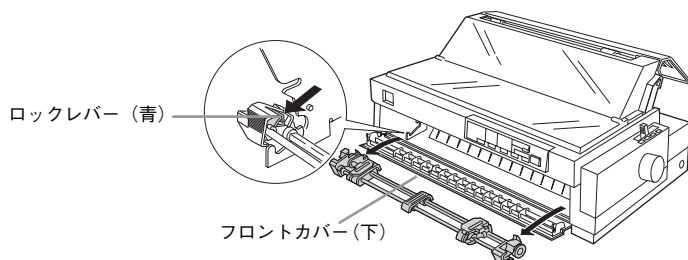
本機は2つのトラクタが標準で用意されています。後部のプッシュトラクタは取り外すことはできません。前部にあるフロントプッシュトラクタは取り外してプリンタの上部に取り付け、プルトラクタとして使用することができます。

プリンタ後部のリアプッシュトラクタは取り外すことができません。無理に取り外さないでください。

フロントプッシュトラクタの取り外し

トラクタユニットの取り付け位置を変更するときは、現在取り付けてあるフロントプッシュトラクタを取り外します。

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）の両端を持って取り外します。

3. フロントプッシュトラクタの左右のロックレバー（青）をつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。

取り付けてあるトラクタは、フックでプリンタに固定されていますので、無理に引っ張らないでください。取り外すときはロックレバーを押さえながら持ち上げてください。

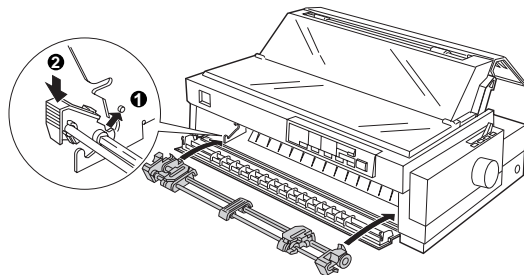
次にトラクタユニットを取り付けます。

☞ 本書 117 ページ「プルトラクタ位置への取り付け」
☞ 本書 117 ページ「フロントプッシュトラクタ位置への取り付け」

フロントプッシュトラクタ位置への取り付け

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）の両端を持って取り外します。

3. トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（前）を、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 124 ページ「連続紙のセット（フロントプッシュトラクタ）」

プルトラクタ位置への取り付け

1. ［電源］スイッチをオフにします。

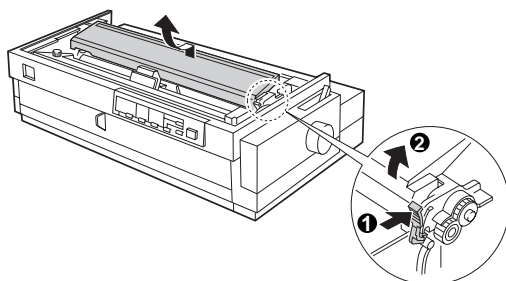
2. プリンタカバーを取り外します。
プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてから取り外します。

> ⚠注意　プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

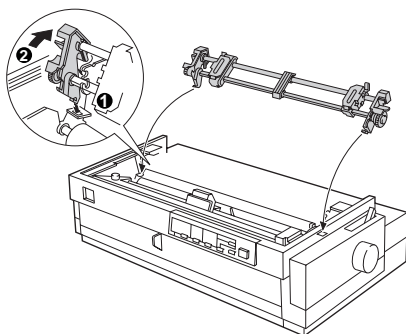
> ［電源］スイッチをオンにしたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

3. 用紙ガイド（上）を取り外します。

4 **排紙ユニットを取り外します。**

左右のレバー状の取っ手を同時に押し上げてから、持ち上げて取り外します。取り外した排紙ユニットは安全な場所に保管します。

排紙ユニットを取り外すときに、アジャストレバーの位置を変更してしまう場合があります。設定を変えてしまった場合は、正しい位置に戻してください。

5 **トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。**

左右のギアが下に向かって奥側になるようにトラクタを両手で持ちます。そのままトラクタをプリンタ内の金属フレーム両側にある小さな穴にはめ込み、フックがかかるように両側を後ろへゆっくり押さえつけます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙をセットした後に用紙ガイド（上）を、取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

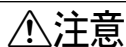
☞ 本書 124 ページ「連続紙のセット（フロントプッシュトラクタ）」
☞ 本書 128 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」
☞ 本書 132 ページ「連続紙のセット（プッシュ / プルトラクタ）」

プルトラクタを装着しない場合は、排紙ユニットはプリンタに必ず取り付けておいてください。

☞本書 119 ページ「排紙ユニットの取り付け」

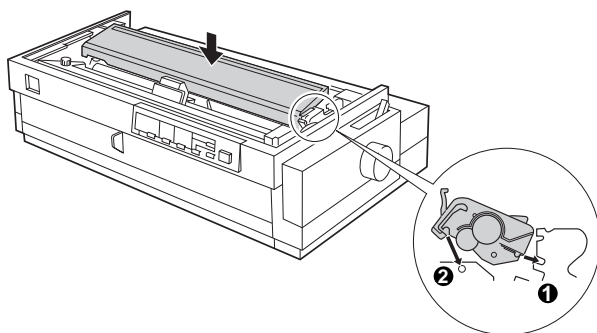
排紙ユニットの取り付け

1. ［電源］スイッチをオフにします。

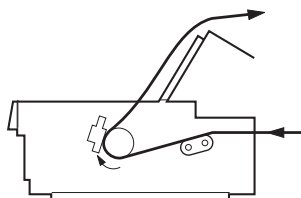
2. プリンタカバーを開けます。
プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてから取り外します。

⚠注意	プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

［電源］スイッチをオンにしたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

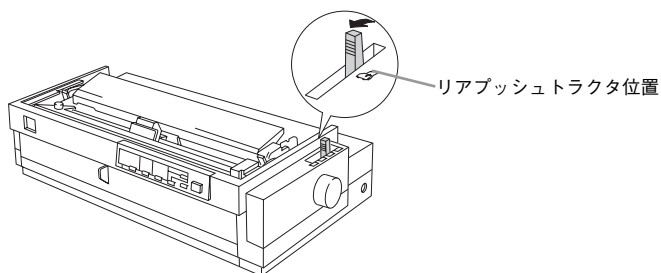
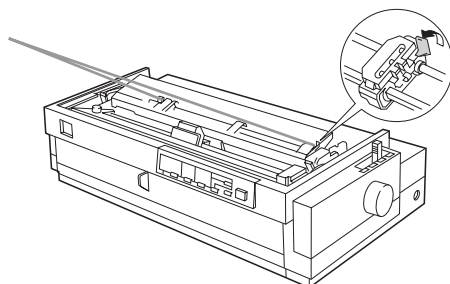
3. 用紙ガイド（上）を取り外します。

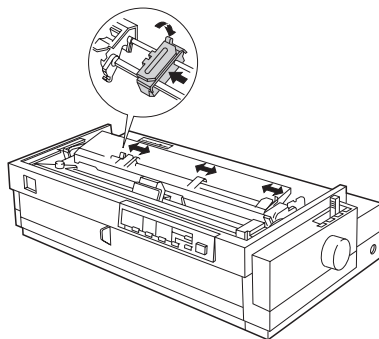
4. 排紙ユニットを取り付けます。
取り付け位置にある金属フレームの下側に設けられている切り欠き部に排紙ユニットをはめ込み、フックが固定するように両側を上からゆっくり押さえます。

- 排紙ユニットは、必ず取り付けた状態で使用してください。排紙ユニットが取り付けられていない状態で印刷すると印字品質が悪くなります。プルトラクタを取り付ける場合のみ、排紙ユニットを取り外します。
- 排紙ユニットを取り付けるときに、アジャストレバーの位置を変更してしまう場合があります。設定を変えてしまった場合は、正しい位置に戻してください。

連続紙のセット（リアプッシュトラクタ）

リアプッシュトラクタを使用して、プリンタの後方から給紙します。

1. ［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。
   ［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

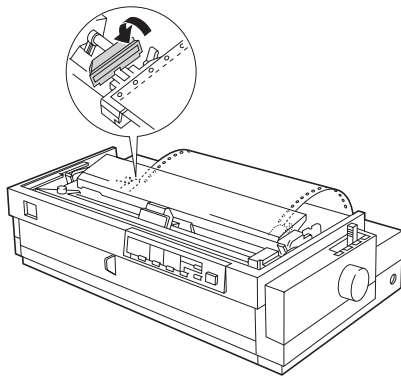
2. プリンタカバーと用紙ガイド（上）を取り外します。

3. レリーズレバーをリアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

4. 左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。
   ロックが解除されると、スプロケットが左右に動くようになります。

5 **左側のスプロケットの位置を調整します。**

左側のスプロケットをプリンタに刻印されている目盛りに合わせ、固定レバーを下げてロックします。
センターサポートは用紙の中央になるように移動します。
右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、ロックはしません。

ポイント

目盛りの「0」は印字開始位置を示します。左スプロケットの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

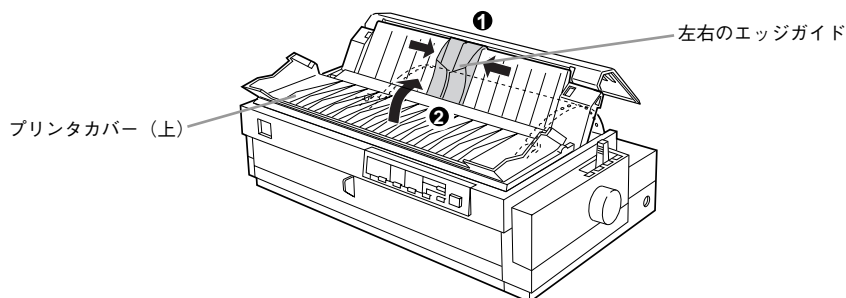
6 **用紙をセットし、スプロケットを固定します。**

- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左側のスプロケットのカバーを閉じてから、右側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 右側のスプロケットカバーを閉じます。
- 右側のスプロケットの固定レバーを手前に倒してロックします。

- スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。
- 用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
  - スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
  - 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
  - ミシン目が切れかかっていないこと
  - 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 **用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。**

プリンタカバーをしっかり閉じます。

8 用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを中央の位置に移動し、プリンタカバー（上）を閉じます。

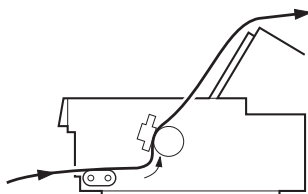
用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

9 ［電源］スイッチをオンにします。

［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの［電源］スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。

- 給紙 / 排紙するには、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。
- 給紙位置は微少送り機能や EPSON Remote! で調整できます。
  本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
  本書 241 ページ「EPSON Remote! について」
- 印刷位置は、微少送り機能で調整できます。
  本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  本書 136 ページ「ティアオフ機能」

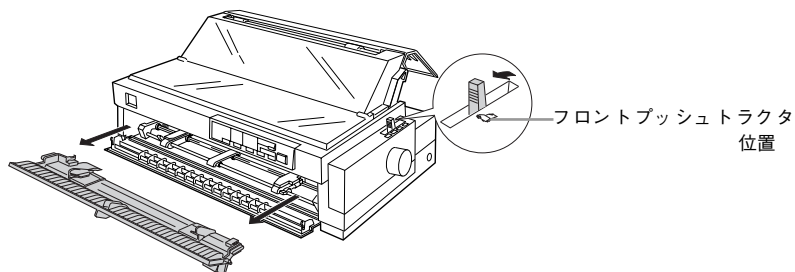
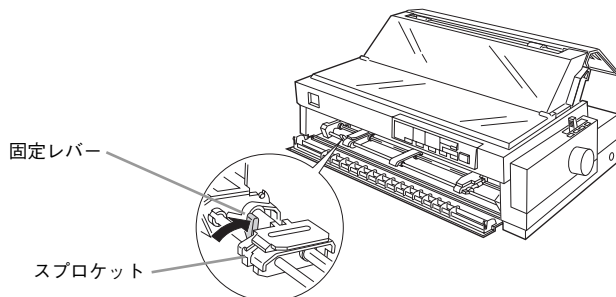
連続紙のセット（フロントプッシュトラクタ）

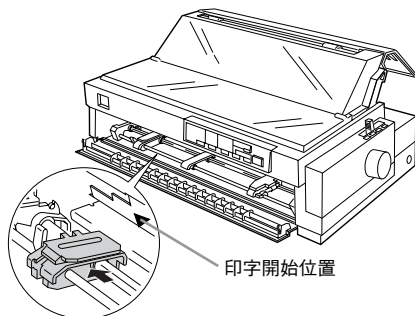
フロントプッシュトラクタを使用して、プリンタの前方から給紙します。

1. ［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。

［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

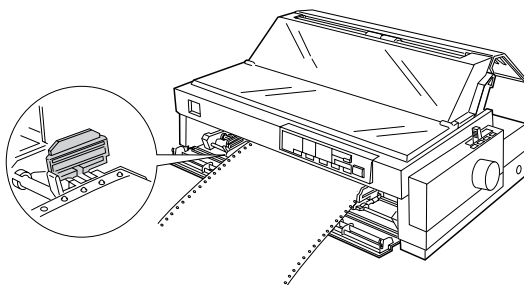
2. フロントプッシュトラクタを取り付けます。

本書 117 ページ「フロントプッシュトラクタ位置への取り付け」

3. レリースレバーをフロントプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

4. 左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。

5 スプロケットの位置を調整します。

左側のスプロケットはプリンタ本体の印字開始位置（▼）を目安にマージン（余白部分）を調整して、固定レバーを下げてロックします。
センターサポートは用紙の中央になるように移動します。
右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、ロックはしません。

左スプロケットの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

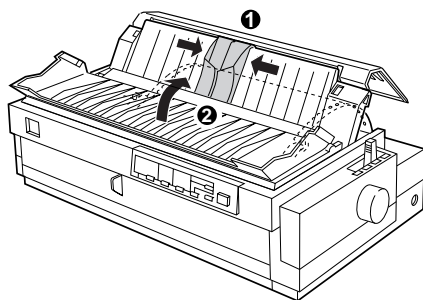
6 用紙をセットし、スプロケットを固定します。

- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左側のスプロケットカバーを閉じます。

- スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。
- 用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
  - スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
  - 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
  - ミシン目が切れかかっていないこと
  - 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 **右側のスプロケットの位置を調整します。**

右側のスプロケットを動かして用紙のたるみを取り除き、固定レバーを下げてロックします。

8 **用紙ガイド（前）を取り付けます。**

9 **用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを中央の位置に移動し、プリンタカバー（上）を閉じます。**

用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

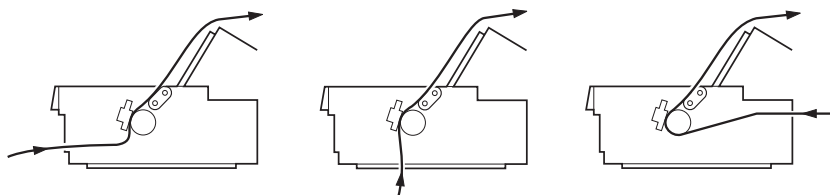
⑩ ［電源］スイッチをオンにします。

［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの［電源］スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。

- 給紙 / 排紙するには、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。
- 給紙位置は微少送り機能や EPSON Remote! で調整できます。
  ☞ 本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
  ☞ 本書 241 ページ「EPSON Remote! について」
- 印刷位置は、微少送り機能で調整できます。
  ☞ 本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞ 本書 136 ページ「ティアオフ機能」

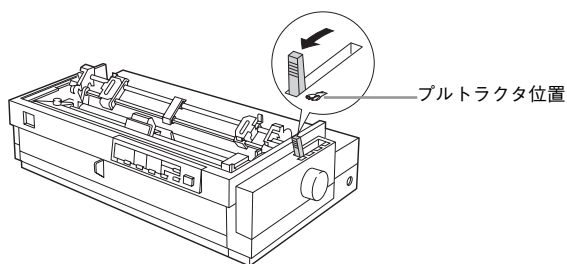
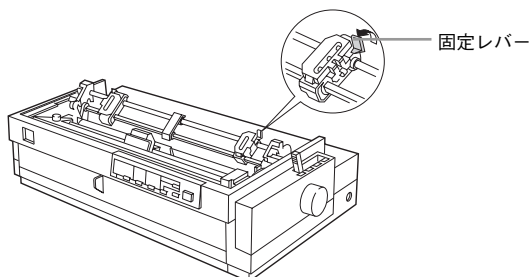
連続紙のセット（プルトラクタ）

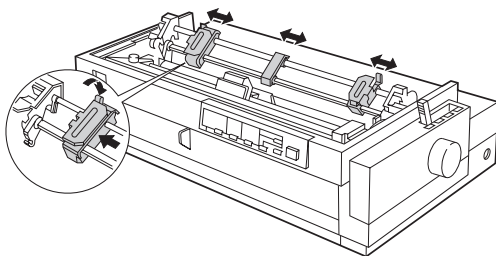
プルトラクタを使用して、プリンタの前方、後方、底面から給紙します。

1 **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

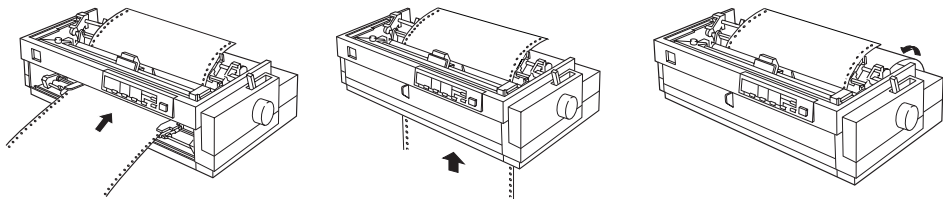
2 **プルトラクタを取り付けます。**

本書 117 ページ「プルトラクタ位置への取り付け」

3 **レリーバーをプルトラクタ（ ）位置に設定します。**

4 **左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。**

5 **スプロケットの位置を調整します。**

左側のスプロケットはプリンタに刻印されている目盛りに合わせ、固定レバーを下げてロックします。
センターサポートは用紙の中央になるように移動します。
右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、ロックはしません。

目盛りの「0」は印字開始位置を示します。左スプロケットの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

6 **用紙をプリンタの前面、後面、または底部から給紙します。**

- 用紙を前面、後面、または底部の給紙口に差し込みます。
- 紙送りノブを回して用紙をプルトラクタの位置まで送ります。

用紙が差し込みにくい場合は、レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定してみてください。用紙をセットしたら、プルトラクタ（ ）位置に戻してください。

7 **左右のスプロケットカバーを開け、用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。**

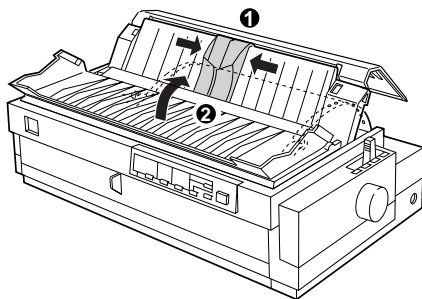
- スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。
- 用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
  - スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
  - 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
  - ミシン目が切れかかっていないこと

8 **右側のスプロケットの位置を調整します。**

右側のスプロケットを動かして用紙のたるみを取り除き、固定レバーを下げてロックします。

9 **用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。**

プリンタカバーをしっかり閉じます。

10 **用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動し、プリンタカバー（上）を閉じます。**

用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

⑪ ［電源］スイッチをオンにします。

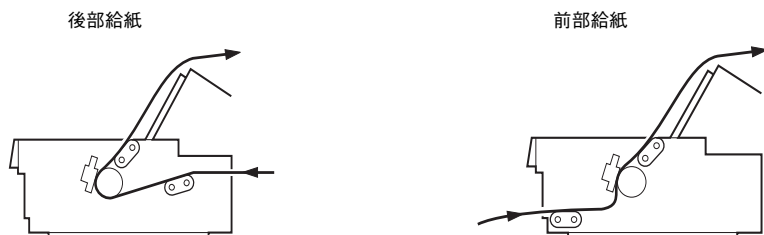
［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの［電源］スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。
- 印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］のまま使用してください。

印刷位置は微少送り機能で調整できます。

☞本書 139 ページ「用紙位置の微調整」

連続紙のセット（プッシュ / プルトラクタ）

プッシュ / プルトラクタを使用すると“前部”と“後部”から給紙できます。
“後部給紙”の場合は、フロントプッシュトラクタを外してプリンタ上部に取り付けます。
“前部給紙”の場合は、オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けます。

1 **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

［電源］スイッチがオフのときは操作パネルのランプが消えています。

2 **プッシュ / プルトラクタを取り付けます。**

後部給紙の場合

リアプッシュトラクタは、そのまま利用します。
フロントプッシュトラクタを外してプルトラクタ位置に取り付けます。
☞ 本書 115 ページ「トラクタユニットの付け替え」

前部給紙の場合

フロントプッシュトラクタは、そのまま利用します。
オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けます。
☞ 本書 117 ページ「プルトラクタ位置への取り付け」

3 **レリースレバーを設定します。**

後部給紙の場合

リアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

前部給紙の場合

フロントプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

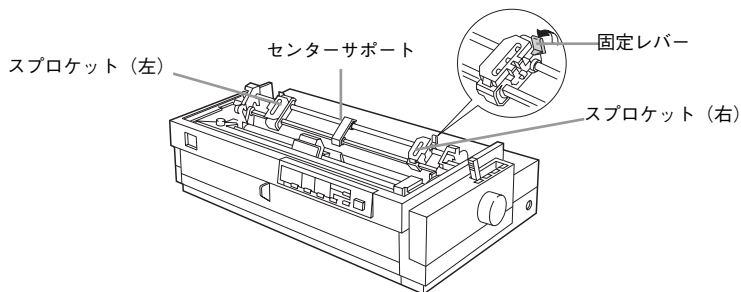
4 **用紙をリアプッシュトラクタまたはフロントプッシュトラクタにセットします。**

用紙のセット方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 120 ページ「連続紙のセット（リアプッシュトラクタ）」
☞ 本書 124 ページ「連続紙のセット（フロントプッシュトラクタ）」

5 ［電源］スイッチをオンにして、［改行 / 改ページ］スイッチを押します。

用紙をプルトラクタの位置まで送ります。

6 左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除し、左側のスプロケットの位置を調整します。

左側のスプロケットを用紙の左端に合わせ、固定レバーを下げてロックします。
センターサポートは用紙の中央になるように移動します。
右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、ロックはしません。

左スプロケットの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

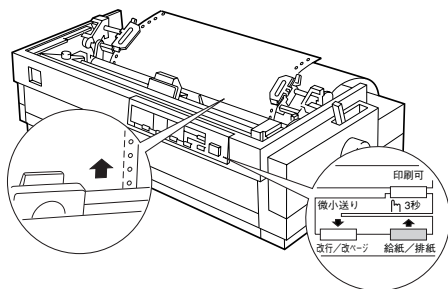
7 左右のスプロケットカバーを開け、用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。

- スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。
- 用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。
  - スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
  - 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
  - ミシン目が切れかかっていないこと

8 右側のスプロケットの位置を調整します。

右側のスプロケットを動かして用紙のたるみを取り除き、固定レバーを下げてロックします。

9 **レリースレバーをプルトラクタ（ ）位置に設定し、微小送り機能を使用して用紙を送り、たるみを取り除きます。**

本書 139 ページ「用紙位置の微調整」

10 **用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動します。**

用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

11 **レリースレバーをフロントプッシュトラクタ（ ）またはリアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。**

12 **［改行 / 改ページ］スイッチを押して、給紙位置を合わせます。**

ソフトウェアから印刷を実行すると印刷を開始します。

注 意

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、［電源］スイッチをオフにしてから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。
- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの［電源］スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度［電源］スイッチをオンにしてください。
- 印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］のまま使用してください。

ポイント

給紙するには［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

連続ラベル紙の排紙

連続ラベル紙は以下の手順で切り離します。ティアオフ機能（[用紙カット位置 / ビン選択］または［給紙 / 排紙 ］スイッチ）は使用しないでください。

［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどして連続ラベル紙を給紙側から引き抜くと、ラベルが 台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。連続ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。

排紙方法

1. ［改行 /改ページ］スイッチを押します。
2. 用紙ガイド（上）より上のミシン目の位置で連続ラベル紙を切り離します。

プリンタから取り外す方法

1. 給紙口より手前で、連続ラベル紙を切り離します。
2. ［改行 /改ページ］スイッチを押して、連続ラベル紙を排紙します。

ティアオフ機能

連続紙を簡単かつ無駄なく切り離したいときは、ティアオフ機能を使います。ティアオフ機能を使うと印刷終了後に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出すことができます。印刷済みの連続紙はプリンタカバーのペーパーカッターでミシン目を簡単に切り離すことができます。印刷を再開するときは連続紙を印刷開始位置まで戻しますので、連続紙が無駄になりません。

ティアオフ機能には手動ティアオフと自動ティアオフがあります。
手動ティアオフは、印刷終了後に［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押すと、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。
自動ティアオフは、自動ティアオフを［ON］に設定すると、印刷の終了時に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。自動ティアオフ機能の初期設定は［OFF］に設定されています。初期設定を変更するときは、以下のページを参照してください。
本書 154 ページ「設定値を変更する」
手動ティアオフ、自動ティアオフともに印刷再開時には連続紙を給紙位置まで戻します。

- ラベル紙に印刷するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙づまりを起こすことがあります。
- ティアオフ機能はフロントプッシュまたはリアプッシュトラクタを使用する場合に使用します。プルトラクタを使用する場合、ティアオフ機能は使用しないでください。印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］のまま使用してください。

- ティアオフ機能は、設定したページ長（初期設定：11 インチ）を元に連続紙を送ります。使用する連続紙に合わせてプリンタドライバまたはプリンタ設定値のページ長を正しく設定してください。
- Windows で使用する場合は、プリンタドライバのページ長設定が有効となります。使用する連続紙に合ったページ長の用紙を選択してください。

手動ティアオフ

手動操作で連続紙を用紙カット位置に送り、給紙位置へ戻します。

1 印刷が終了し、連続紙が用紙カット位置にないときは［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押します。

連続紙のミシン目が用紙カット位置まで送られ、用紙カット位置／ビン選択ランプが点滅します。

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、［印刷可］スイッチを 3 秒以上押してから［微小送り］スイッチを押して調整してください。
本書 139 ページ「用紙位置の微調整」

2 連続紙をミシン目で切り離します。

ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

3 次の印刷を行います。

連続紙が印刷開始位置へ自動的に戻り、印刷が始まります。

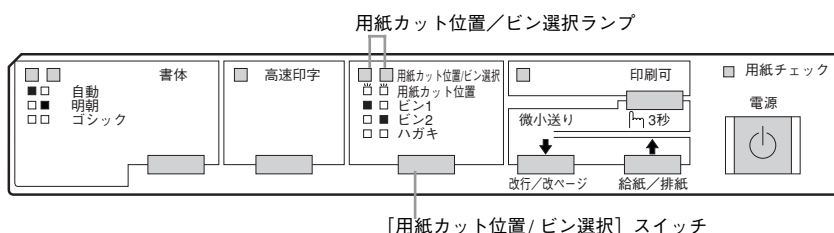
［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。

自動ティアオフ

自動ティアオフ機能を使用するには、自動ティアオフ機能を［ON］に設定してください。

本書 154 ページ「設定値を変更する」

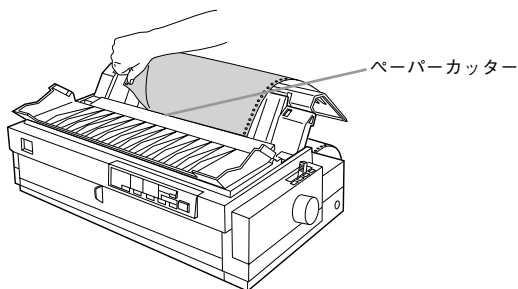
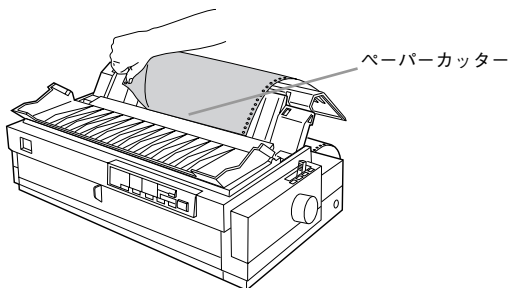
1 **印刷を行います。**

印刷が終わり約 3 秒経過すると、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。

ポイント

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、［印刷可］スイッチを 3 秒以上押してから［微小送り］スイッチを押して調整してください。

本書 139 ページ「用紙位置の微調整」

2 **連続紙をミシン目で切り離します。**

ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

3 **次の印刷を行います。**

連続紙が印刷開始位置へ自動的に戻り、印刷が始まります。

ポイント

［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。

用紙位置の微調整

単票紙と連続紙の給紙位置、連続紙の用紙カット位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。微小送り機能では、1/180インチ（約0.14mm）単位で前後両方向に用紙を動かすことができます。
調整した給紙位置と用紙カット位置は、給紙装置ごとに独立したプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

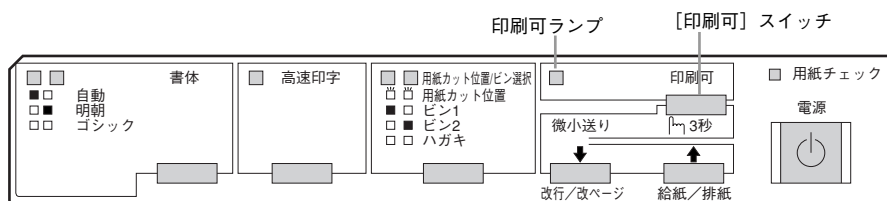
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上でマージン（余白部分）の設定を行ってください。
- 印刷結果を見て、微小送りで印刷位置を合わせることもできます。プレ印刷されている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。③から始めてください。ただし、カットシートフィーダ使用時の調整範囲は逆方向へ 8.5mm（1/3インチ）までとなります。
- プッシュ/プルトラクタ使用時は用紙のたるみを取り除くこともできます。
  本書132ページ「連続紙のセット（プッシュ/プルトラクタ）」

1 ［電源］スイッチをオンにします。

2 給紙位置または用紙カット位置の調整の準備をします。

- 給紙位置を調整する場合は、用紙を給紙します。
- 用紙カット位置を調整する場合は、手動ティアオフ機能または自動ティアオフ機能を使用して連続紙のミシン目を用紙カット位置へ送ります。

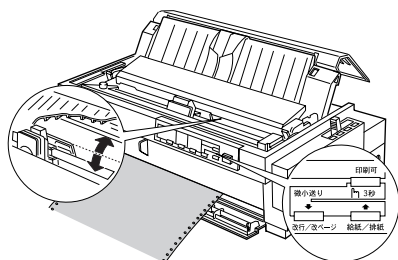
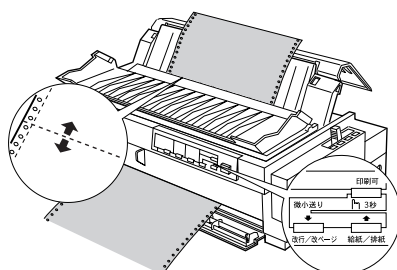
3 ［印刷可］スイッチを３秒以上押します。

ブザーが鳴るまで［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを離すと印刷可ランプが点滅します。

印刷可ランプが消灯または点灯しているときは微小送りできません。［印刷可］スイッチを3秒以上押して、印刷可ランプを点滅させてください。

4 **［微小送り］スイッチを押し位置を合わせます。**

［⬆］スイッチを押すと、用紙は前へ進みます。

［⬇］スイッチを押すと、用紙は後ろへ戻ります。

給紙位置の調整

用紙カット位置の調整

⚠注意　プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

用紙位置を確認するには、プリンタカバーを開けると位置を確認しやすくなります。プリンタカバーは印刷前に必ず閉め、［印刷可］スイッチを押してください。

5 **用紙位置を確認します。**

用紙カット位置を調整するときは、ミシン目をペーパーカッターに合わせてください。

- 給紙位置または用紙カット位置を微調整するとき、前後どちらの方向に用紙を動かしても、途中でブザーが鳴り一旦停止する位置があります。これは基準位置ですので微調整時の目安としてください。また、前後どちらの方向にも微調整できる限度があります。上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、用紙はそれ以上動かなくなります。
- 微調整できる範囲は次の通りです。
  給紙位置：
  4.2 ～ 25.4mm（工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
  用紙カット位置：
  － 25.4 ～＋ 25.4mm（工場出荷時の基準位置は 0mm）

6 **［印刷可］スイッチを押します。**

用紙は給紙位置へ戻ります。微調整した給紙位置および用紙カット位置はプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

単票紙のセット

単票紙のセット方法について説明します

操作上のご注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

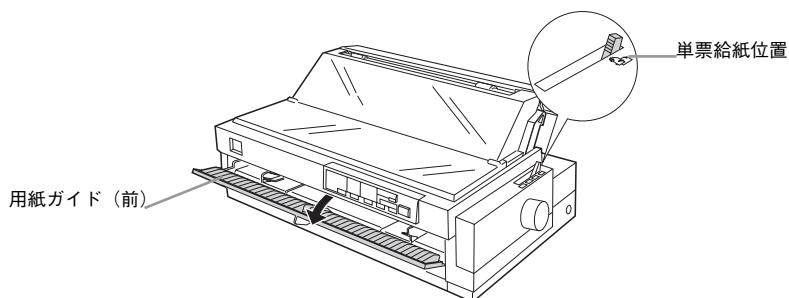
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

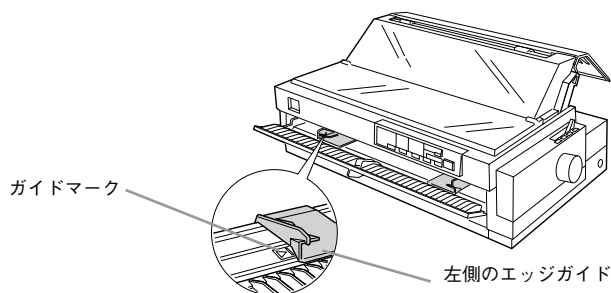
用紙のセット

単票紙は、一般的な単票紙と、単票複写紙を使用することができます（単票ラベル紙は使用できません）。用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。単票紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダをお使いください。単票紙を連続して給紙することができて便利です。

☞ 本書 162 ページ「カットシートフィーダ」

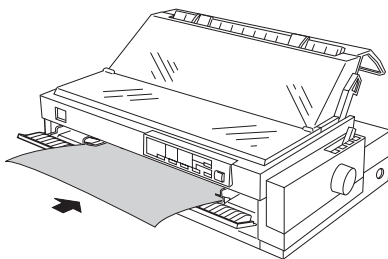
用紙ガイド（前）からの給紙

1 **レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定し、用紙ガイド（前）を開けます。**

2 **エッジガイドを調整します。**

用紙ガイド（前）の左側のエッジガイドをガイドマーク（ ）に合わせて、右側のエッジガイドを用紙の幅に合わせます。

- エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。
- A3横サイズの用紙をセットする場合は、エッジガイドを端まで移動します。

3 **［電源］スイッチをオンにします。**

4 **用紙をセットします。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。
自動的に用紙が給紙位置に送られ、プリンタは印刷可能な状態になります。

- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 用紙が斜めに給紙されてしまった場合は、［電源］スイッチをオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい用紙をセットし直してください。

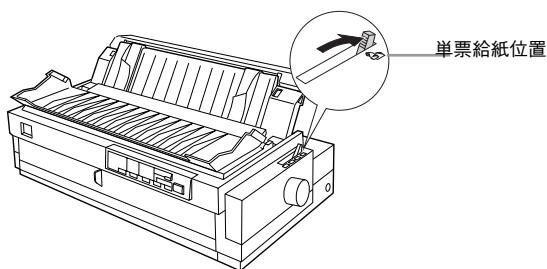
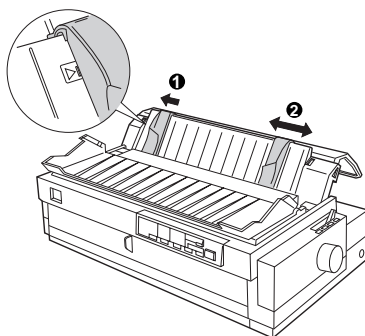
- 給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。
  本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

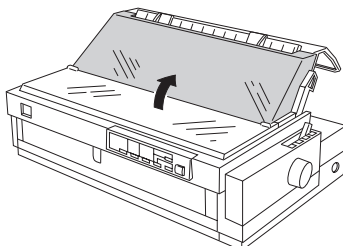
プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
本書 184 ページ「用紙が詰まったときは」

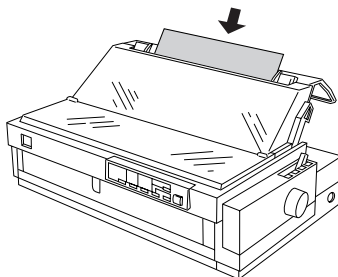
用紙ガイド（上）からの給紙

1. **レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定し、プリンタカバー（上）を開けます。**

2. **エッジガイドを調整します。**
用紙ガイド（上）の左側エッジガイドをガイドマーク（ ）に合わせて、右側のエッジガイドを用紙の幅に合わせます。

ポイント

- エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。
- A3 横サイズの用紙をセットする場合は、エッジガイドを端まで移動します。

3. **プリンタカバー（上）を閉じます。**

4 ［電源］スイッチをオンにします。

5 用紙を用紙ガイド（上）にセット。

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。
自動的に用紙が給紙位置に送られ、プリンタは印刷可能な状態になります。

- プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 用紙が斜めに給紙されてしまった場合は、［電源］スイッチをオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい用紙をセットし直してください。

- 給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。
☞本書 139 ページ「用紙位置の微調整」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

6 印刷可ランプが点灯していることを確認し、印刷データを送ります。

7 印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
☞本書 184 ページ「用紙が詰まったときは」

複写紙、郵便ハガキ、ラベル紙のセット

本機では、単票紙と連続紙のほかに、複写紙、郵便ハガキ、ラベル紙を使用することができます。ここではそれぞれの用紙へのセット方法を簡単に説明します。

複写紙のセット

単票複写紙と連続複写紙に印刷できます。仕様に合った用紙を使用してください。
☞ 本書 167 ページ「使用できる用紙の種類」

単票複写紙

単票複写紙は用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダビン 1（VP1800CSFA）から給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。オプションのカットシートフィーダビン 2（VP1800CSFB）からは給紙できません。
☞ 本書 141 ページ「単票紙のセット」

連続複写紙

連続複写紙はフロントプッシュトラクタ、リアプッシュトラクタまたはプルトラクタから給紙します。セット・排紙方法は連続紙と同じです。
☞ 本書 113 ページ「連続紙のセット」

郵便ハガキのセット

郵便ハガキは用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダビン 1（VP1800CSFA）から給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。オプションのカットシートフィーダビン 2（VP1800CSFB）からは給紙できません。
☞ 本書 141 ページ「単票紙のセット」

ハガキを印刷する場合は操作パネル上でハガキモードに設定してください。
① アジャストレバーを「2」に設定します。
②［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押し、ハガキモード（用紙カット位置 / ビン選択ランプが両方点灯）します。
☞ 本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
☞ 本書 21 ページ「操作パネル」

ラベル紙のセット

ラベル紙を印刷するときはフロントプッシュトラクタまたはプルトラクタから給紙します。

セットは連続紙と同じです。以下のページを参照してください。

本書 113 ページ「連続紙のセット」

排紙方法は、以下のページを参照してください。

本書 135 ページ「連続ラベル紙の排紙」

連続紙と単票紙の切り替え

フロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて印刷する方法を説明します。連続紙をセットしたままで単票紙へ切り替えることができます。

単票紙から連続紙への切り替え

1. **単票紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押します。**
単票紙を排紙します。

2. **［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが点灯することを確認します。

3. **レリースレバーをフロントプッシュトラクタ（ ）またはリアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。**

注意

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを調整してください。
本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

4. **連続紙をトラクタにセットします。**
本書 113 ページ「連続紙のセット」

5. **印刷データを送ります。**
連続紙は自動的に給紙され、印刷します。

注意

印刷データを送る前にフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

連続紙から単票紙への切り替え

1. **連続紙が残っているときは、[用紙カット位置 / ビン選択]スイッチを押します。**
連続紙を用紙カット位置に送ります。

2. **連続紙をミシン目で切り離します。**
ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、用紙が詰まることがあります。
- ラベル紙を排紙するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタ位置で切り離してください。プリンタ内に残ったラベル紙は[改行 / 改ページ]スイッチを押して排紙します。

3. **[給紙 / 排紙]スイッチを押します。**
連続紙はトラクタの位置まで逆に戻ります。トラクタから連続紙を外す必要はありません。

4. **レリーズレバーを単票給紙( )位置に設定します。**

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを調整してください。
☞本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

5. **単票紙を用紙ガイド(前)または(上)にセットします。**
エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。
自動的に用紙が給紙位置に送られ、印刷可能な状態になります。
☞ 本書 141 ページ「単票紙のセット」

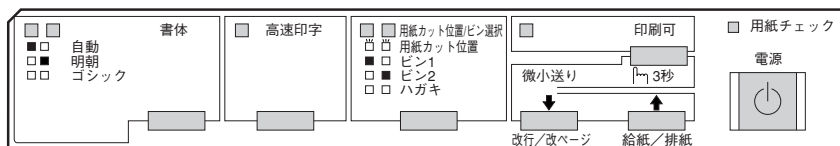
6. **印刷データを送ります。**

プリンタ設定値の変更

プリンタ設定の方法

プリンタは設定された内容に従って動作します。ここでは、プリンタの設定値を操作パネルから変更する方法について説明しています。プリンタの設定値を変更する方法は、次の3通りの方法があります。

操作パネルで設定する

本機の持つすべての設定値を変更することができます。設定値の一覧表を印刷してから、操作パネル上のボタンを押して設定を変更します。

EPSON Remote! で設定する

EPSON Remote! は、DOS 環境または NetWare 環境で利用できるユーティリティソフトウェアです。それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができます。

本書 241 ページ「EPSON Remote! について」

プリンタドライバで設定する

Windows でお使いの場合に通常の印刷で必要な設定は、アプリケーション上あるいはプリンタドライバから変更することができます。

プリンタドライバからの設定は、操作パネルからの設定より優先されます。プリンタドライバから設定できない項目については操作パネルから設定します。

給紙方法の設定とプリンタ本体のレリースレバーの設定が合っていないと印字不良や紙詰まりの原因となります。正しく設定してください。

操作パネルからの設定

ここでは、操作パネルからのプリンタ設定値の変更の仕方について説明します。

ポイント

- プリンタドライバ上からも設定できる項目については、プリンタドライバでの設定が優先されます。
- ほとんどの場合、プリンタ購入時の初期設定値のままで使用できます。使用するオペレーティングシステムやアプリケーションソフトから設定を変更できない場合は、操作パネルや EPSON Remote! で設定値を変更してください。

設定項目

操作パネルを使用して以下の設定値を変更することができます。
＊のついている設定値がプリンタ購入時の初期設定値です。

設定項目	設定値	説明
文字コード表	カタカナコード表＊	カタカナコード表を使用して英数カナ文字を印字します。国内のDOS アプリケーションソフトを使用するときは、ほとんどの場合このコード表を選択します。 本書227 ページ「カタカナコード表」
	拡張グラフィックスコード表	拡張グラフィックスコード表を使用して英数カナ文字を印字します。海外版の DOS アプリケーションソフトを使用するときはこのコード表を選択します。 本書227 ページ「拡張グラフィックスコード表」
	マルチリンガルコード表	マルチリンガルコード表を使用して英数カナ文字を印字します。DOS アプリケーションソフトによっては、このコード表を使用する場合もあります。 本書228 ページ「マルチリンガルコード表」
文字品位	高品位＊	英数カナ文字を高品位文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
	ドラフト	英数カナ文字をドラフト文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
フロントトラクタのページ長（連続紙）	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	フロントプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく働くように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。
リアトラクタのページ長（連続紙）	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	リアプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく働くように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。

設定項目	設定値	説明
ミシン目スキップ	ON	連続紙を使用する場合、ミシン目の前後25.4 mm（1インチ）の範囲には印刷しません。アプリケーションソフトで上下マージンが設定できない場合でも、ミシン目にかからないように印刷したい場合は［ON］に設定します。
	OFF ＊	連続紙を使用する場合、アプリケーションソフトで上下マージンをゼロに設定してページ一杯に印刷すると、ミシン目に関係なく続けて印刷します。通常はアプリケーションソフトで上下マージンを設定しますので、［OFF］のまま印刷してもミシン目で印刷が途切れることはありません。
自動ティアオフ	ON	印刷の終了・開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。 本書 138 ページ「自動ティアオフ」
	OFF ＊	自動ティアオフ機能は働きません。連続ラベル紙を使用するときは必ず［OFF］に設定してください。
自動改行	ON	キャリッジリターン（CR）コードに対して、自動的に改行（LF）コードを付け加えます。使用するオペレーティングシステムやソフトウェアによっては、改行しないで同じ行に印刷し続ける場合がありますが、このような場合に改行させるには［ON］に設定します。
	OFF ＊	キャリッジリターン（CR）コードに対して、改行（LF）コードを付け加えません。DOS や Windows などのオペレーティングシステムで印刷する場合は、［OFF］のまま使用します。
印字方向	自動	文字かグラフィックかを判断して、自動的に印字方向を双方向または単方向に切りかえます。
	双方向＊	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷しますので、より速く印刷できます。文字の高速印刷に適しています。
	単方向	プリントヘッドが右方向へ移動するときだけ印刷しますので、縦方向の印刷がより正確になります。グラフィックの印刷に適しています。
インターフェイス	自動＊	データを受信するインターフェイスを自動的に選択します。選択したインターフェイスに送られたデータが終了するか、インターフェイス固定解除時間の設定した時間になると、インターフェイスの選択が解除されます。［自動］では、最大 2 台のコンピュータが本機を共用できます。
	パラレル	標準のパラレルインターフェイスを使用します。
	オプション	オプションのインターフェイスを使用します。 オプションのインターフェイスカードが装着されている場合のみ選択できます。
インターフェイス固定解除時間	10 秒＊	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 10 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
	30 秒	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 30 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。

設定項目	設定値	説明
ESC/P スーパー	ON ＊	ESC/P と PCPR201H（エミュレーションモード）を自動判別します。PCPR201H モードで印刷するときは［ON］に設定します。 国内版のDOS アプリケーションから印刷する場合で、エプソンプリンタを選択しても正しく印刷できないときに［ON］に設定します。
	OFF	使用するオペレーティングシステム（Windows）やソフトウェアのプリンタ設定でESC/Pコントロールコードを使用しているときは［OFF］に設定します。 海外版のDOS アプリケーションを使用するときも［OFF］に設定します。
受信バッファ	ON ＊	データを受信バッファにためてから印刷します。サイズの大きいファイルでも、比較的早くコンピュータから解放できます。
	OFF	データを受信しながら同時に印刷します。
ブザー鳴動	ON ＊	ブザーが鳴ります。
	OFF	ブザーは鳴りません。

書体の選択や高速印字を設定する場合は、操作パネル上のスイッチをお使いください。
本書 21 ページ「操作パネル」

設定値を変更する

設定値の変更方法の詳細は、以下の手順で印刷する「一覧表」に記載されています。
設定値を変更する場合は、まず以下の手順で「一覧表」を印刷してください。
「一覧表」は連続紙に印刷します。

単票紙への印刷も可能ですが、複数ページの印刷となりますので連続紙での印刷をお勧めします。

1. **［電源］スイッチをオフにし、レリースレバーをセットしている連続紙の位置に設定します。**

2. **［高速印字］スイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

設定とランプの関係を示す一覧表が印刷されます。
出力された一覧表を確認し、設定値を変更する必要がない場合は、ここでプリンタの［電源］スイッチをオフにします。

ポイント

- 変更する設定項目および設定値とランプの表示状態を、印刷した一覧表で確認します。
- 操作パネルのランプ表示は、選択している設定項目および設定値を示します。
  設定項目：書体ランプと高速印字ランプ
  設定項目の設定値：用紙カット位置 / ビン選択ランプと印刷可ランプ

3. **［書体］スイッチを押して、設定項目を選択します。**

4. **［用紙カット位置 /ビン選択］スイッチを押して、設定値を選択します。**
   さらに変更する項目があるときは、3 に戻ります。

ポイント

選択した時点で、設定した内容はプリンタのメモリに記憶されますので、［電源］スイッチをオフにしても消えません。

5. **設定が終了したら、プリンタの［電源］スイッチをオフにします。**

ポイント

電源スイッチを一旦オフにしないと、印刷作業へ移れません。

リモート設定機能での設定変更

リモート設定機能とは、付属のパネル設定ユーティリティソフト “EPSON Remote!” を使ってコンピュータからプリンタに命令を送って設定値を変更する機能です。プリンタのある場所まで移動してパネルスイッチを操作する必要がなく、アプリケーションソフトごとに設定を変更する場合や、複数のユーザがプリンタを共有している場合に便利です。
EPSON Remote! には初期設定値を変更、記憶するスタートアップユーティリティソフトと設定値を一時的に変更する設定ユーティリティがあります。
ここでは、EPSON Remote! で変更できる設定値について簡単に説明します。EPSON Remote! のインストール方法、起動方法、設定方法については、以下のページを参照してください。
本書 241 ページ「EPSON Remote! について」

設定項目	スタートアップユーティリティー	設定ユーティリティー
書体	◎	○
高速印字	◎	○
文字品位	◎	―
文字ピッチ	―	○
文字コード表	◎	○

設定項目	スタートアップユーティリティー	設定ユーティリティー
ページ長 MR　MR：用紙ガイド上	◎	○
ページ長 MF　MF：用紙ガイド前	◎	○
ページ長 C1　C1：CSF ビン 1	◎	○
ページ長 C2　C2：CSF ビン 2	◎	○
ページ長 FR　FR：リアプッシュトラクタ（連続紙）	◎	○
ページ長 FF　FF：フロントプッシュトラクタ（連続紙）	◎	○
給紙位置 MR　MR：用紙ガイド上	◎	○
給紙位置 MF　MR：用紙ガイド前	◎	○
給紙位置 C1　C1：CSF ビン 1	◎	○
給紙位置 C2　C2：CSF ビン 2	◎	○
給紙位置 FR　FR：リアプッシュトラクタ（連続紙）	◎	○
給紙位置 FF　FF：フロントプッシュトラクタ（連続紙）	◎	○
印字方向	◎	－
改行量	－	○
左マージン	－	○
右マージン	－	○
I/F［インターフェイス］	◎	－
I/F 解除 T［インターフェイス固定解除時間］	◎	－
自動改行	◎	－
ミシン目スキップ	◎	－
自動ティアオフ	◎	－
受信バッファ	◎	－
ブザー鳴動	◎	○
ESC/P スーパー	◎	○

◎：初期設定値としてプリンタのメモリに記憶することができる設定項目です。この設定項目は［電源］スイッチをオフにしても消えません。毎回同じ設定を使用するときは、スタートアップユーティリティで初期設定値を変更してください。
○：設定ユーティリティを使用して印刷作業ごとに設定値を一時的に変更することができる設定項目です。［電源］スイッチがオンであれば再度変更するまで有効です。［電源］スイッチをオフにすれば初期設定値に戻ります。
－：設定項目はありません。
設定項目については、EPSON Remote! 画面下の説明をお読みください。

ポイント

- EPSON Remote! のインストール方法、起動方法、設定方法について詳しくは、以下のページを参照してください。
  本書 241 ページ「EPSON Remote! について」
- プリンタの初期設定は、操作パネルと EPSON Remote! の両方から変更できます。後から変更した初期設定が有効です。

双方向印刷の調整

双方向印刷を行う場合、縦方向の線がずれることがあります。印刷のずれは操作パネルから調整できます。

印字方向を単方向に設定して印刷ずれを防ぐこともできます。
単方向印刷の設定については以下のページを参照してください。
本書 151 ページ「プリンタ設定の方法」

1. **連続紙をセットします。**
本書 113 ページ「連続紙のセット」

単票紙を使用した場合は、改ページ直後の印刷データ（調整パターン）に誤りを生じるおそれがあります。連続紙による印刷をお勧めします。

2. **［印刷可］スイッチを押しながら、［電源］スイッチをオンにします。**
操作方法の説明と調整パターンが印刷されます。

3. **説明に従って調整します。**

4. **［電源］スイッチをオフにします。**
以上で、双方向印刷の調整は終了です。

16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているかどうかが確認できるので、自作プログラムをチェックするときなどにご利用ください。
ここでは連続紙への印刷手順を例に説明します。プリンタに連続紙がセットされていない場合は、連続紙をセットしてください。
☞ 本書 113 ページ「連続紙のセット」

1. **［電源］スイッチをオフにします。**

2. **［改行 / 改ページ］スイッチと［給紙 / 排紙］スイッチを押しながら、［電源］スイッチをオンにします。**

プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オフ、オンの間隔が短すぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。

3. **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
受信したデータは、16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

4. **印刷が終了したら、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を送り出します。**

印刷されずにデータがプリンタのメモリ内に残った場合は、［印刷可］スイッチを押して残ったデータを印刷します。

5. **印刷が終っているページをミシン目で切り離します。**

6. **［電源］スイッチをオフにして 16 進ダンプを終了します。**

オプションと消耗品

オプションと消耗品の紹介

本機で使用できる、オプションと消耗品は以下の通りです（2003 年 3 月現在）。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、ご利用のコンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるケーブルは次の通りです。

ケーブル	機種	メーカー	シリーズ	ケーブル名	備考
パラレルインターフェイスケーブル	DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
		NEC	PC-98NX シリーズ		
	PC-98 系	EPSON	EPSON PC シリーズ デスクトップ	#8238	*1
			EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1
		NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	
			PC-9801 シリーズ デスクトップ（14 ピン）	#8238	*1*2
			PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2

*1　Windows95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ！2 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

*2　ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。ただし、NEC PC-H98 では対応できません。

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。

型　番	名　称	解　説
PRIF3	シリアルI/F カード	本機をシリアルで接続するためのオプションです。コンピュータとの接続には市販のプリンタ用シリアルインターフェイスケーブルが別途必要です。
PRIF4	シリアルI/F カード （バッファ :32KB）	
PRIF5E	ECP 対応双方向 パラレルI/F カード	本機にIEEE1284規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。コンピュータとの接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIF13	IBM5577プリンタ エミュレーションカード	IBM5577 プリンタエミュレーションカードです。コンピュータとの接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIFNW3S	10Base-T/100Base-TX対応 マルチプロトコル Ethernet I/F カード	マルチプロトコル Ethernet インターフェイスカードです。本機を Ethernet 接続するためには、Ethernet ケーブルが必要です。

インターフェイスカードの取り付け方法については、以下を参照してください。
本書 165 ページ「インターフェイスカードの取り付け」
インターフェイスカードの設定方法については、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

Macintosh 接続用オプション

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズにエプソンプリンタを接続して使用するために、以下のオプションがあります。

ポイント

本機を Macintosh シリーズと接続して使用するときは、オプション製品に添付の Macintosh 用プリンタドライバ「EPSON Print!2」をお使いください。

型　番	名　称	解　説
ELINK3	EPSON Link3	Macintosh の各機種に簡単に接続できるシリアル・パラレル変換アダプタです。 取りつけ方法については EPSON Link3 の取扱説明書を参照してください。
PRIFNW3S	10Base-T/100Base-TX対応 マルチプロトコル Ethernet I/F カード	マルチプロトコルEthernetインターフェイスカードです。本機を Ethernet 接続するためには、Ethernet ケーブルが必要です。

カットシートフィーダ

単票紙またはハガキを連続して給紙することができます。

型番	名称
VP1850CSFA	カットシートフィーダ（ビン 1）
VP1800CSFB	カットシートフィーダ（ビン 2）*

*　VP1800CSFB は増設用です。装着にはVP1800CSFA が必要です。

使用できる用紙

	カットシートフィーダ（ビン 1）	カットシートフィーダ（ビン 2）
単票紙	サイズ：最小 A6　最大 A3	サイズ：最小 A6　最大 A3
	容量　：最大 185 枚（連量55kg 紙）	容量　：最大 60 枚（連量55kg 紙）
単票複写紙	サイズ：最小 A6　最大 A4	ー
ハガキ	通常郵便ハガキ、郵便往復ハガキ	ー

取り付けおよび使いかたについては、以下を参照してください。

本書 167 ページ「カットシートフィーダ」

プルトラクタユニット

フロントプッシュトラクタとプルトラクタを併用するときは、オプションのプルトラクタが必要です。
複写枚数の多い連続複写紙を給紙する場合は、給紙不良が発生しやすくなります。プッシュトラクタとプルトラクタを併用すると給紙不良が起こりにくくなります。

型番	名称
VP1800PTU	プルトラクタユニット

取り付け方法と給紙方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 117 ページ「プルトラクタ位置への取り付け」
☞ 本書 132 ページ「連続紙のセット（プッシュ / プルトラクタ）」

ポイント

- リアプッシュトラクタを取り外すことはできません。フロントプッシュトラクタを使用するときは、オプションのプルトラクタをプリンタの上部に取り付けます。
- リアプッシュトラクタを使用するときは、フロントプッシュトラクタを取り外し、プルトラクタとしてプリンタの上部に取り付けることができます。

フロントシートガイド

大きな単票紙を安定して手差し給紙することができます。標準装備のフロントシートガイドと交換して使用します。トラクタユニット（前）を取り外す必要がありますので、前面からの連続紙を給紙することはできません。

型番	名称
VP1800FSG	フロントシートガイド

取り付け方法は、VP1800FSG の取扱説明書をお読みください。

リボンカートリッジ

リボンカートリッジは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。

型番	名称
VP1800RC	リボンカートリッジ

リボンカートリッジの取り付けおよび使いかたについては、以下を参照してください。

☞ 本書 178 ページ「リボンカートリッジの交換」

リボンカートリッジケースを再利用してリボンパックを交換することもできます。リボンカートリッジケースは 4 回まで再利用できます。

☞ 本書 164 ページ「リボンパック」

リボンパック

リボンパックは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。リボンパックの交換については、以下を参照してください。

本書 180 ページ「リボンパックの交換」

型番	名称
VP1800RP	リボンパック

ESC/P リファレンスマニュアル

エプソンプリンタのコントロールコードである EPSON ESC/P24-J84 を中心に解説しています。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

型番	名称
ESCPML1	ESC/P リファレンスマニュアル

上記のマニュアルにつきましては、エプソン OA サプライにてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライのお問い合わせ先は、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

インターフェイスカード

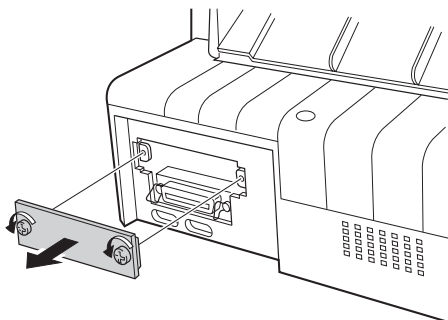
プリンタに取り付ける前に、まずインターフェイスカードの取扱説明書をよくお読みください。インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパースイッチの設定が必要な場合もあります。

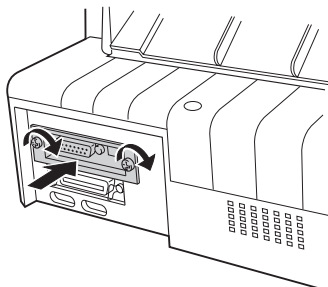
インターフェイスカードの取り付け

オプションのインターフェイスカードを使用するときは、[インターフェイス]の設定が[自動]または[オプション]に設定されていることをご確認ください。
151 ページ「プリンタ設定の方法」

1 **プリンタとコンピュータの［電源］スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから引き抜きます。**

インターフェイスカードを取り付けるまえに、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かずに取り付け作業を行うと、プリンタやコンピュータが故障することがあります。インターフェイスカードを取り外すときも、電源プラグを抜いてください。

2 **プリンタ背面のインターフェイスカバーを開き、コネクタカバーのネジをドライバで外してカバーを取り外します。**

3 **インターフェイスカードをプリンタに差し込み、インターフェイスカード両側のネジを締めて固定します。**

ンターフェイスカードをプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。プリンタ内部のコネクタとインターフェイスカードのコネクタが合うように、しっかり差し込んでください。

PRIF3 シリアルインターフェイスカードについて

PRIF3シリアルインターフェイスカードを取り付けて使用する場合の転送速度、X-ON/X-OFF 送出タイミング、エラー処理は以下のようになります。

転送速度：300,600,1200,2400,4800,9600,19200 BPS

X-ON/X-OFF 送出タイミング

- X-OFF コードおよび DTR 信号の出力：
  入力データバッファの空き容量が 256 バイト以下になったとき。
- X-ON コードおよび DTR 信号の出力：
  入力データバッファの空き容量が 512 バイト以上になったとき。

エラー処理

- パリティエラーが発生した場合：
  "＊"を印字します。
- そのほかのエラーが発生した場合：
  オーバーランエラーやフレーミングエラーなどは無視します。

そのほかの内容については、PRIF3 の取扱説明書を参照してください。

ポイント

［インターフェイス］の設定が［自動］に設定されているときは、同時に両方のインターフェイスにデータを送らないでください。正常に印刷できないことがあります。

カットシートフィーダ

単票紙を連続して給紙したいときは、オプションのカットシートフィーダビン 1（VP1800CSFA）をお使いください。オプションのカットシートフィーダビン 2（VP1800CSFB）を取り付けると、2 種類の用紙を使い分けることができます。また、プリンタに取り付けた連続紙と切り替えて給紙できます。

使用できる用紙の種類

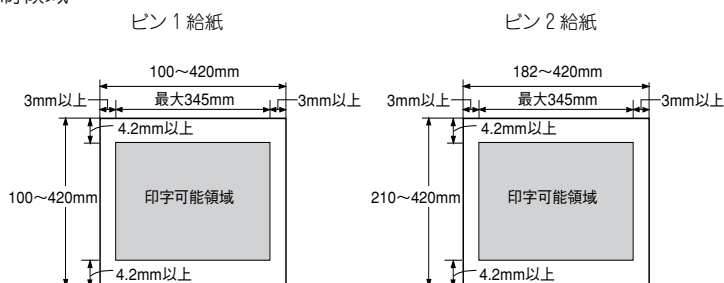
用紙の仕様について詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 101 ページ「使用可能な用紙」

	カットシートフィーダビン 1	カットシートフィーダビン 2
単票紙	サイズ：最小 A6　最大 A3 横	サイズ：最小 A6　最大 A3 横
	容量　：最大 185 枚（連量 *1 55kg 紙）	容量　：最大 60 枚（連量 55kg 紙）
単票複写紙 *2	サイズ：最小 A6　最大 A4	−
	容量　：40 枚	−
ハガキ *3	郵便ハガキ、郵便往復ハガキ	−
	容量　：30 枚	−

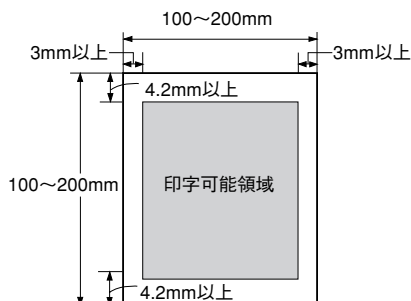
*1 連量は四六判（788 × 1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表わしたものです。
*2 複写紙は、天のり綴じのノンカーボン紙を使用してください。ただし、用紙枚数は 6 枚以下としてください。
*3 郵便往復ハガキは用紙中央に折り目のないものを使用してください。

単票紙（単票複写紙）

- 上質紙・再生紙を使用してください。
- 印刷領域

- 最大幅420mm（A3横相当）の用紙が使用できますが、印字桁数は136桁（幅345mm）のため左右のマージン（余白部分）は大きくなります。
- 単票複写紙の最大用紙幅は297mmとなります。
- 複写紙を使用する場合は、用紙の上端全面がのりづけされた用紙（天のり）で、しわや波打ちがないものを使用してください。

- 複写紙はノンカーボン紙を使用してください。裏カーボン紙、中カーボン紙は使用できません。
- 単票複写紙は、カットシートフィーダピン1（VP1800CSFA）から給紙してください。カットシートフィーダピン2（VP1800CSFB）からは給紙できません。
- カットシートフィーダピン1で単票複写紙を使用する場合は、天のり側から給紙してください。
- ソフトウェアの設定が、印字可能領域内になっていることを確認してください。
- ソフトウェアの設定によっては、印字可能領域が本書記載の領域より小さくなる場合があります。
- 再生紙は一般室温環境（温度15～25℃、湿度30～60％）で使用してください。
- 汚れ、しわ、反りや破れがない上質紙を使用してください。

ハガキ

- 郵便ハガキと郵便往復ハガキを使用してください。
- カットシートフィーダビン１（VP1800CSFA）から給紙してください。
- 印刷領域

- ハガキは一般室温環境下（温度15～25℃、湿度30～60%）で使用してください。
- ハガキに印刷する前に、ハガキサイズの用紙で試し印刷をして、印刷位置を確かめてから実際にハガキへ印刷してください。
- アプリケーションソフトを使用してハガキに印刷するときは、給紙位置の調整が必要です。
- 原則として郵便ハガキを使用してください。私製ハガキは図の寸法に従ったサイズのハガキを使用してください。
- ハガキは染み、ピンホール、汚れ、しわ、反りや毛羽立ちがない上質紙を使用してください。
- ハガキを使用する場合は、操作パネル上でハガキモードの設定をしてください。

① アジャストレバーを「２」に設定します。
②［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押し、ハガキモード（用紙カット位置 / ビン選択ランプが両方点灯）します。

本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」
本書 21 ページ「操作パネル」

- 郵便往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。

カットシートフィーダの取り付け

カットシートフィーダ（ビン 1/ ビン 2）はプリンタに取り付ける前に組み立てておきます。詳しくは、カットシートフィーダの取扱説明書をお読みください。

1. ［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

- 単票紙を排紙します。
- 連続紙をフロントまたはリアプッシュトラクタ位置まで戻します。

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使用して、必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに逆送りすると、紙詰まりを起こすことがあります。

フロントまたはリアプッシュトラクタから連続紙を取り外す必要はありません。カットシートフィーダとリアプッシュトラクタを切り替えて使用できます。

本書 176 ページ「カットシートフィーダからトラクタへの切り替え」
本書 177 ページ「トラクタからカットシートフィーダへの切り替え」

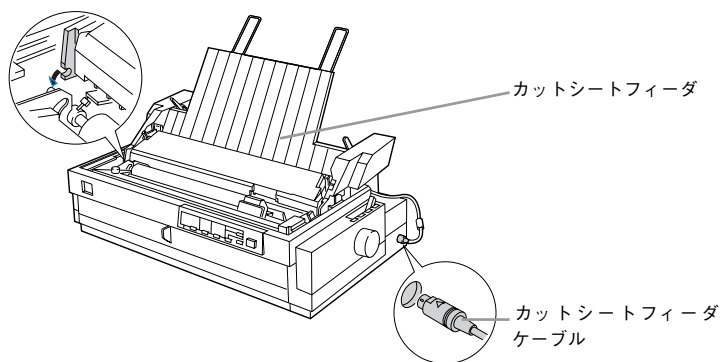
2. ［電源］スイッチをオフにします。

3. プリンタカバーと用紙ガイドを取り外します。

⚠注意　プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

4. プリンタの上部に排紙ユニットまたはプルトラクタが取り付けられている場合は取り外します。

5 **プリントヘッドをリボン取り付け位置へ移動し、カットシートフィーダをプリンタに取り付けます。**

カットシートフィーダ本体を両手で持ち、プリンタ内の金属フレーム両側にある小さなピンにはめ込み、ゆっくりとプリンタの上に載せます。

［電源］スイッチをオンにしたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

⚠注意 カットシートフィーダを持つ手の指がプリンタとの間に挟まれないように注意してください。

6 **ケーブルを接続します。**

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ右側面後部のコネクタに接続します。
ケーブルの△印とプリンタの△印を合わせて接続します。

- ケーブルがカットシートフィーダとプリンタに挟まれないように注意してください。
- ケーブルの接続は、必ずプリンタの［電源］スイッチをオフにしてから行ってください。

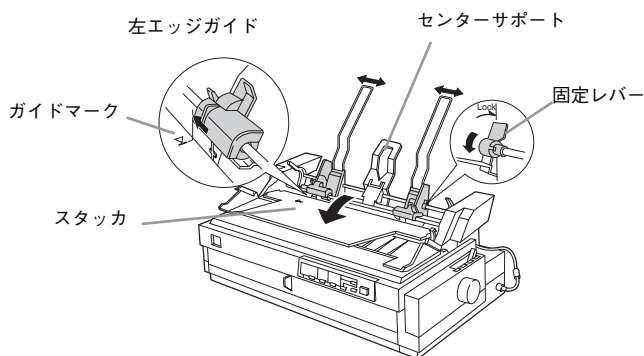
7 **プリンタカバーを取り付けます。**

- カットシートフィーダの取り外しは、プリンタの［電源］スイッチをオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。
- 取り外した部品はあとで必要になります。大切に保管してください。

カットシートフィーダの使い方

1 **［電源］スイッチをオフにし、スタッカを手前に倒します。**

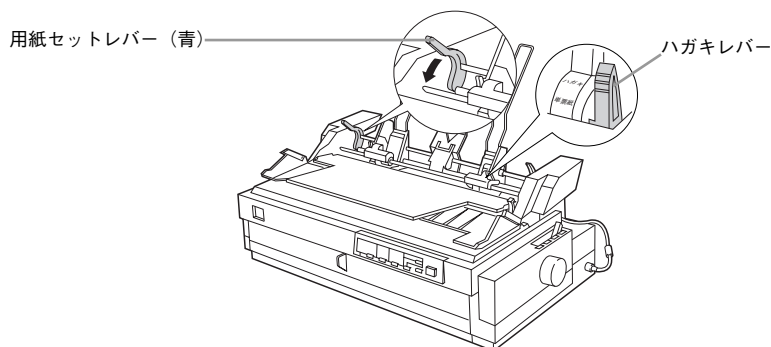
2 **エッジガイドの位置を調整します。**

左右のエッジガイドの上部ロックレバーを上に倒しロックを解除します。
左エッジガイドの位置をガイドマーク（▶|）に合わせます。
センターサポートは用紙の中央になるように移動します。
右エッジガイドは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。

> **ポイント**
> 左エッジガイドの位置によって印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときはエッジガイドの位置を再調整してください。

3 **用紙セットレバーを手前に引きます。**

用紙セットレバーを手前に引くと、用紙をセットできるようになります。

4 **ハガキレバーの位置を確認します。**

単票紙および複写紙をセットする場合は、[単票紙] に設定します。
ハガキをセットする場合は、[ハガキ] に設定します。

5 **用紙をセットします。**

用紙をよくさばいて端をそろえ、用紙が止まるところまで押し込みます。

6 **右エッジガイドの位置を調整します。**

セットした用紙の右端に合わせて右エッジガイドの位置を調整し、固定レバーをロックします。

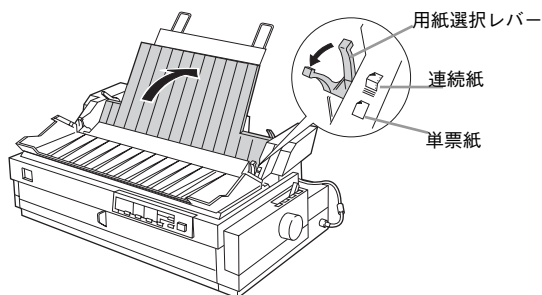
用紙が動かなくなるほどエッジガイドを押しつけると給紙不良を起します。用紙が上下自由に動くように、多少余裕を残してエッジガイドを固定してください。

7 **用紙セットレバーを後ろへ倒します。**

用紙セットレバーを後ろへ倒すと、用紙を押しつけて保持します。

用紙が多すぎると、レバーはセット位置へ戻らず給紙不良を起します。余分な用紙を取り除いてからレバーを倒してください。

8 **用紙選択レバーを単票給紙位置に設定し、スタッカを元に戻します。**

左右両側の用紙選択レバーを前に倒し、単票給紙位置に設定します。

9 **レリースレバーを単票給紙位置に設定します。**

ポイント

単票給紙以外の給紙位置に設定すると、カットシートフィーダからは給紙されずにトラクタから給紙されます。

10 **カバー（上）を閉じます。**

11 **［電源］スイッチをオンにし、印刷データを送ります。**

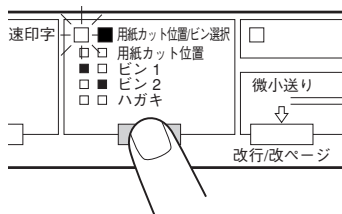
コンピュータからデータを送ると印刷を開始します。

ポイント

- 左エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なるときは、左エッジガイドの位置を再調節してください。
- ［電源］スイッチをオンにすると、最初はビン 1 が選択されます。操作パネルの「用紙カット位置 / ビン選択ランプ」で確認してください。［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチでビン 2 を選択すると、ビン 1 からは給紙されません。アプリケーションソフトからビンを選択できる場合は、アプリケーションソフト上でビン1 またはトレイ 1 などの最初の給紙元を選択してください。
- 給紙、排紙は、［改行 / 改ページ］スイッチまたは ［給紙 / 排紙］スイッチを使用します。
- カットシートフィーダから用紙がなくなると、印刷可ランプが消灯して用紙チェックランプが点灯します。用紙セットレバーを操作して、新しい用紙をカットシートフィーダにセットしてください。［印刷可］スイッチを押すと、印刷が再開されます。

ビン2からの給紙

カットシートフィーダに2つ目のビンを取り付けビン2から給紙することができます。カットシートフィーダビン 2 を組み立ててから、プリンタのビン 1 に取り付けます。ビン 2 の組み立て方法については、「カットシートフィーダ（ビン 2)」の取扱説明書をご覧ください。

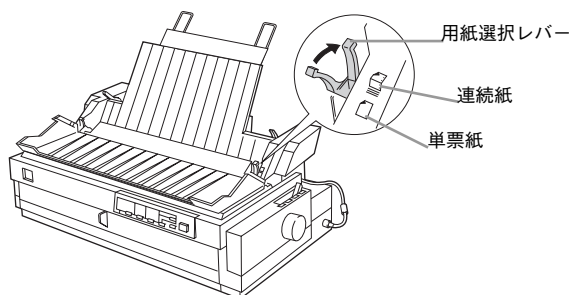
用紙のセット方法や給紙方法は、カットシートフィーダビン 1 の場合と同じです。給紙するビンを切り替えるには、操作パネルの ［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押します。用紙カット位置 / ビン選択ランプの表示が切り替わり、給紙できるビンが表示されます。

使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト上で給紙するビンを選択できる場合があります。その場合は、操作パネルのスイッチでビンを選択する必要はありません。詳しくは、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

ビン 2 には複写紙、ハガキはセットできません。

カットシートフィーダからトラクタへの切り替え

カットシートフィーダにセットした単票紙を印刷した後に、フロントまたはリアプッシュトラクタに切り替えて連続紙を給紙することができます。

1. **単票紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。**

2. **カットシートフィーダの左右両側の用紙選択レバーを連続紙位置に設定します。**

3. **レリースレバーをフロントまたはリアプッシュトラクタ位置に設定します。**

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを調整してください。
本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

4. **印刷します。**

印刷データを受信すると、連続紙がフロントまたはリアプッシュトラクタから給紙され、印刷を開始します。

連続紙を何ページも印刷するときは、カットシートフィーダに引っかからないようにしてください。引っかかると、給紙不良をおこして用紙が詰まります。

トラクタからカットシートフィーダへの切り替え

フロントまたはリアプッシュトラクタにセットした連続紙を印刷した後に、カットシートフィーダに切り替えて単票紙を給紙することができます。

1 連続紙の印刷が終了したら、［用紙カット位置 /ビン選択］スイッチを押します。

連続紙をミシン目で切り離します。

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使用して、必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりをおこします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりをおこします。トラクタの位置で印刷前のラベル紙を切り離し、［改行 / 改ページ］スイッチで排紙します。

2 ［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

連続紙はトラクタの位置まで戻ります。トラクタから連続紙を外す必要はありません。

3 レリースレバーを単票給紙（　）位置に設定します。

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを調整してください。
☞本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

4 カットシートフィーダの左右両側の用紙選択レバーを単票紙位置に設定します。

5 印刷します。

印刷データを受信すると、単票紙がカットシートフィーダから給紙され印刷を開始します。

リボンカートリッジの交換

印字が薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

- リボンカートリッジは純正品（型番：VP1800RC）をお使いになることをお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンカートリッジのリボンパックを交換することができます。
  本書 180 ページ「リボンパックの交換」

1 プリントヘッドがリボン取り付け位置にあることを確認します。

プリントヘッドが端にあるときは、プリンタカバーを閉じ、[電源] スイッチをオンにしてプリントヘッドがリボン取り付け位置に移動するまで待ちます。

2 プリンタの ［電源］ スイッチをオフにします。

注意 プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 プリンタカバーを開け、リボンカートリッジを取り外します。

リボンガイドをプリントヘッドから外し、リボンカートリッジのピンに差し込んでから、リボンカートリッジを両手で手前に引くようにして取り外します。

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みリボンカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。
回収ポストの設置店は、以下のホームページ上で確認できます。
http://www.i-love-epson.co.jp
回収できないときは、ポリ袋などに入れて地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しいリボンカートリッジを用意します。

リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

5 リボンカートリッジを取り付けます。

ポイント

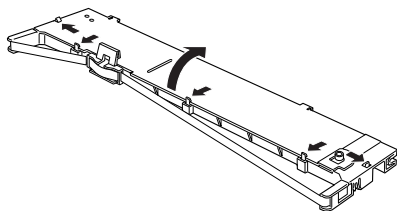
リボンカートリッジの取り付けについて詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 29 ページ「リボンカートリッジの取り付け」

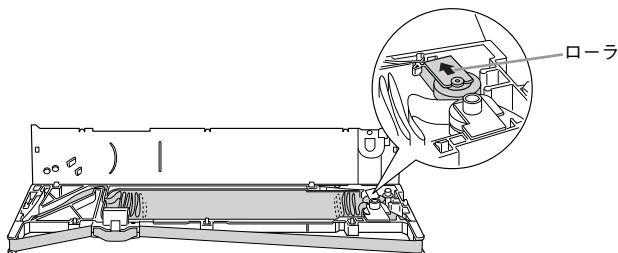
以上でリボンカートリッジの交換は終了です。

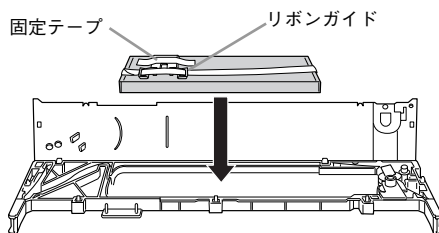
リボンパックの交換

印字が薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンパックを交換してください。
リボンパックを4回まで取り換えて、リボンカートリッジケースを再利用できます。
交換4回目のリボンパックが使用できなくなったときには、新しいリボンカートリッジを使用してください。

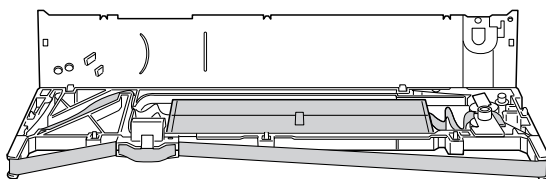
- リボンパックは純正品（型番：VP1800RP）をお使いになることをお勧めします。
- インクリボンを交換するときにインクが手に付着することがあります。手を汚さないように、リボンパック付属の手袋をして交換してください。

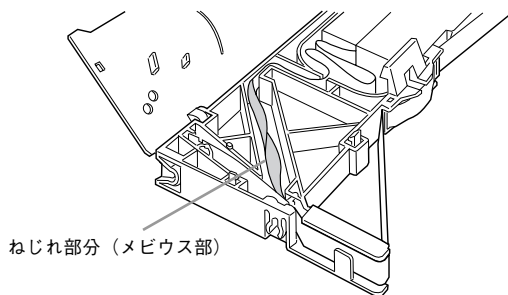
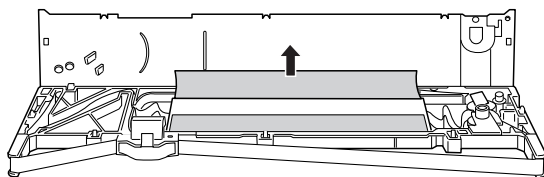
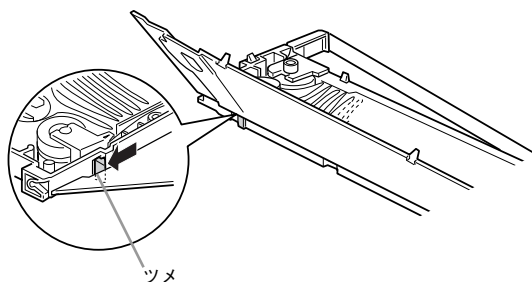
1 リボンカートリッジのツメ（5箇所）を矢印の方向に1つずつ順に押しながら、リボンカートリッジのフタを開けます。

2 インクリボンを取り外します。

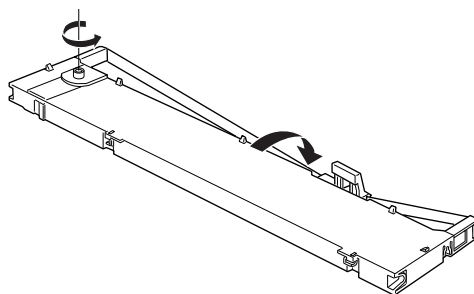
リボンカートリッジ内のローラを矢印の方向に押し、ツメをホルダーに固定します。インクリボンを取り外します。

3 **新しいリボンパックをセットします。**

新しいリボンパックを透明袋から取り出し、リボンカートリッジにセットします。

リボンパックをセットする方向を確かめてください。

4 **リボンガイドの固定テープをはがし、リボンをリボンカートリッジにセットします。**

リボンのねじれ部分（メビウス部）がリボンガイドの左側にくるように取り付け、リボンガイドをリボンカートリッジのピンに差し込みます。

5 **リボンのねじれ部分（メビウス部）を確認します。**

リボンのねじれ部分が下図のようになっていることを確認します。

6 **リボンパックのケースを取り外します。**

7 **ホルダーに固定されているゴムローラのツメを指で押して外します。**

8 **リボンカートリッジのフタを閉じます。**

リボンカートリッジのフタを閉じてツメ（5 箇所）をしっかり固定します。
ツマミを矢印の方向に２～３回転させてリボンがスムースに動くことを確認します。

以上でリボンパックの交換は終了です。

困ったときは

用紙が詰まったときは

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

> ⚠注意　印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

連続紙の場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。
2. 給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。
3. プリンタカバーを開けます。
4. 紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回し、用紙を後退させながら静かに引き抜きます。

   プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。

   本書 185 ページ「プリンタ内に用紙が残った場合」

紙送りノブを回すときは、必ず［電源］スイッチをオフにしてください。

5. プリンタカバーを閉じます。
6. 用紙をセットし直します。

   本書 113 ページ「連続紙のセット」

単票紙の場合

1. ［電源］スイッチをオフにしプリンタカバーを開けます。

2. 紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回し、用紙を前進させながら静かに引き抜きます。
プリンタ内部に用紙が残っている場合は、以下のページを参照してください。
本書 185 ページ「プリンタ内に用紙が残った場合」

紙送りノブを回すときは、必ず［電源］スイッチをオフにしてください。

3. プリンタカバーを閉じます。

4. ［電源］スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。
本書 141 ページ「単票紙のセット」

プリンタ内に用紙が残った場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. プリンタカバーと用紙ガイド（上）と排紙ユニットを取り外します。

⚠注意 印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

3. 紙を取り除きます。

紙がローラでつまった場合は、レリースレバーを単票紙位置に設定して紙送りノブを回してください。詰まった用紙が簡単にはずれます。レリースレバーは元の位置に戻してください。

4. 排紙ユニットと用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。

カットシートフィーダ使用時の場合

1. **［電源］スイッチをオフにします。**
カットシートフィーダ内に詰まっている用紙が見えないときは、ステップ 3 へ進みます。

2. **用紙が見える時は、紙送りノブを反時計回りに回しながら用紙をゆっくり引き抜きます。**

3. **用紙が見えないときは、プリンタカバーを開けてカットシートフィーダを取り外します。**

⚠注意	印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

4. **用紙を取り除きます。**
用紙をゆっくり引き抜きます。

5. **カットシートフィーダとプリンタカバーを取り付けます。**

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、次の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 101 ページ「使用可能な用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
☞ 本書 113 ページ「連続紙のセット」
☞ 本書 141 ページ「単票紙のセット」
☞ 本書 148 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」
☞ 本書 176 ページ「カットシートフィーダからトラクタへの切り替え」
☞ 本書 177 ページ「トラクタからカットシートフィーダへの切り替え」
- 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- オプションのカットシートフィーダに用紙をセットするときは、複数枚の用紙をセットしてください。用紙を 1 枚しかセットしないと正しく給紙されないことがあります。
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

ランプが点灯しない

［電源］スイッチをオンにしても操作パネルのランプが 1 つも点灯しないときは、次の 3 点を確認してください。

電源がコンセントから抜けていませんか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源のコンセントに問題があることがあります。

コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチをオンにします。
ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確認して、正しい電圧で使用してください。

以上 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオンにしてもランプが点灯しない場合は、保守契約店または販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
保守サービスについては、以下のページを参照してください。
本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

ランプが点灯していても印刷できない

リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう

リボンカートリッジが正しく取り付けられていますか？

以下のページを参照してリボンカートリッジを正しく取り付けてください。

☞ 本書 178 ページ「リボンカートリッジの交換」

プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

☞ 本書 160 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

コンピュータとプリンタはケーブルで直接接続していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファおよび延長ケーブル、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）を使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。

プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直接接続し、正常に印刷できるか確認してください。

プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう

お使いのプリンタのプリンタドライバが正しくインストールされていますか？
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、[コントロールパネル] の [プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダにアイコンとして登録されていますか ？また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

1 [スタート] メニューから [プリンタ] / [プリンタと FAX] を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  [スタート] ボタンをクリックして [設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。

2 [通常使うプリンタに設定] になっているか確認します。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  お使いのプリンタ名を選択し、[ファイル] メニューの [通常使うプリンタに設定] が選択されているか確認します。

- **Windows XP の場合**

  [プリンタと FAX] 内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、[通常使うプリンタに設定] の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで [通常使うプリンタに設定] を選択します。

Windows NT3.51 の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、[プリント マネージャ] の [標準] に登録されていることを確認してください。

Windows 3.1 の確認

お使いのプリンタのプリンタドライバが、[プリンタの設定] の [通常使うプリンタ] に登録されていることを確認してください。

エラーが発生していないか確認しましょう（プリンタ側）

印刷可ランプが点滅して印刷しない、あるいは印刷が突然止まった場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。このような場合は、プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

印刷可ランプが消えていませんか？

[印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを点灯させてください。

用紙がなくなっていませんか？

用紙をセットしてください。用紙を変更したときは、一旦 [電源] スイッチをオフにしてから、5 秒以上経過してから再度 [電源] スイッチをオンにしてください。

アジャストレバーの設定が合っていますか？

アジャストレバーの設定を確認してください。

本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

データを受信するインターフェイスの設定が合っていますか？

プリンタ設定値の I/F 選択は [自動] または接続しているインターフェイスの値に設定してください。

本書 151 ページ「プリンタ設定の方法」

用紙やリボンや保護材などが詰まっていませんか？

[電源] スイッチをオフにして、プリンタ内部を確認して取り除いてください。
用紙が詰まったときは以下のページを参照してください。

本書 184 ページ「用紙が詰まったときは」

プリンタがハング（異常な状態で停止）していませんか？

一旦 [電源] スイッチをオフにし、5 秒以上経過してから再度 [電源] スイッチをオンにして印刷をしてください。

エラーが発生していないか確認しましょう

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

☞ 本書 93 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。印刷を開始するためには［一時停止］のチェック（✓）を解除するか［再開］を選択することが必要です。

☞ 本書 64 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生していませんか？

次の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの［印刷先のポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの［スプールの設定］で［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- 本機のパラレルインターフェイスは ECP モードに対応しておりません。お使いのコンピュータのパラレルポートの設定が ECP モードになっている場合は、BIOS 設定をノーマルまたはスタンダードモードに変更してください。
- BIOS 設定についての詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません」「用紙がありません」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタの［電源］スイッチがオンになっているか、用紙が正しくセットされているかを確認してください。インターフェイスケーブルについては、以下のページを参照してください。

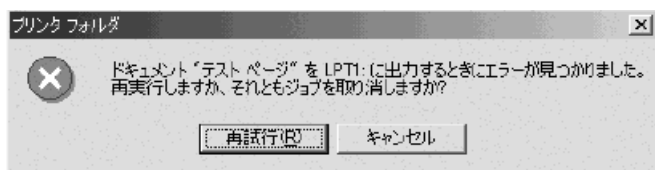
☞ 本書 160 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

Windows NT4.0/2000/XP で、プッシュ / プルトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュ / プルトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用していませんか？

Windows 2000 環境で EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用していると、通信エラーが発生し、以下の画面が表示されることがあります。EPSON プリンタウィンドウ !2 を使用する場合は、以下の手順でプリンタドライバの［タイムアウト時間］を［3 秒］に設定してください。

＜例＞

ドキュメント名称とポート名称は、ご使用の状態により異なります。

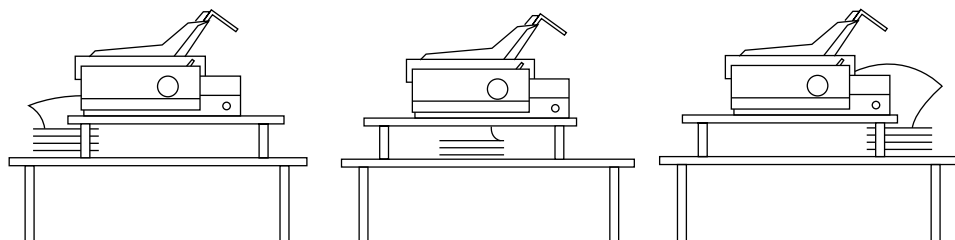
① 上記の通信エラー画面で、［キャンセル］ボタンをクリックします。
② ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
③ お使いのプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［プロパティ］を選択します。
④ ［ポート］タブをクリックしてから ［ポートの構成］ボタンをクリックし、［タイムアウト時間］を［90］から［3］に変更して［OK］ボタンをクリックします。

紙送りがうまくいかない

仕様に合った用紙を使用していますか？

用紙厚さ・用紙枚数や紙質など仕様に合った用紙を使用してください。
使用可能な用紙については以下のページを参照してください。
本書 101 ページ「使用可能な用紙」

連続紙の置き場所に問題はありませんか？

連続紙が引っかからないように、連続紙の置き場所は、プリンタから 1m 以内の場所でプリンタに対してまっすぐ給紙される位置に置いてください。

プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を置いてください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

単票紙はしっかりと差し込まれていますか？

手差し給紙するときは、エッジガイドに用紙をセットし、用紙の端部中央を指で押すように差し込んでください。
本書 141 ページ「単票紙のセット」

連続紙がトラクタから外れていませんか？

連続紙をトラクタに正しくセットし直してください。
本書 113 ページ「連続紙のセット」

連続紙が傾いた状態でトラクタにセットされていませんか？

連続紙の両端の穴が左右ずれた状態でトラクタにセットされていると正常な紙送りが行えません。
左右のスプロケットのゴムピンの位置を揃えます。連続紙の左右の穴位置はスプロケットのゴムピンに揃えてセットしてください。

連続紙をセットする際にスプロケットの間隔は適当ですか？

連続紙がたるんだり、強く張り過ぎたりしないように左右のスプロケットの位置を調整してください。

本書 113 ページ「連続紙のセット」

紙ホチキス仕上げの複写紙で、紙ホチキス部分にプリントヘッドが引っかかったり、連続複写紙のミシン目がプリントヘッドに引っかかったりしていませんか？

使用できる用紙の仕様とアジャストレバーの設定を確認してください。

本書 101 ページ「使用可能な用紙」

本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

また、プリンタの設定値のミシン目スキップを［ON］にし、フロントまたはリアトラクタのページ長を設定してください。

本書 154 ページ「設定値を変更する」

排紙が正常にできない

［改行 / 改ページ］スイッチを使用して排紙していませんか？

単票紙を排紙する場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを使用してください。

連続紙への印刷が終わると急に紙送りされませんか？

自動ティアオフ機能が設定されています。設定を解除する場合は、プリンタの設定値を変更してください。

☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」

連続紙のミシン目スキップ（25.4mm {1 インチ} 幅の空白行）が実際のミシン目とずれていませんか？

ミシン目がカット位置に来ない場合は、次の 2 点を確認してください。

- ソフトウェア上の用紙サイズまたはページ長（連続紙）と、お使いの用紙サイズを合わせてください。
  ☞ 本書 55 ページ「プリンタドライバの設定」
  ☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」
- 用紙カット位置を調整してください。
  ☞ 本書 139 ページ「用紙位置の微調整」

連続紙が排紙されずに給紙位置に残っていませんか？

排紙する前に印刷の終了している連続紙をミシン目で切り離してください。

ラベル紙が詰まったり引っかかったりしませんか？

ラベル紙を［給紙 / 排紙］スイッチで排紙しようとしています。ラベル紙を排紙（逆送り）すると、プリンタ内部にラベルが貼り付くことがあります。
ティアオフ機能は使用しないでください。
印刷後のラベル紙を取り出すときは、［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。
ラベル紙からほかの用紙に切り替えるときは、トラクタ側のミシン目で切り離し、ラベル紙を取り除いてください。再度ラベル紙を使用するときは、ラベル紙をセットし直してください。

ポイント

プリンタ内部にラベルが貼り付いて正常に印刷できない場合は、無理に取り除かずに保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面表示と異なる

本書でご案内しているインターフェイスケーブルを使用していますか？

本書でご案内している推奨ケーブル以外のケーブルを接続に使用すると正常に印刷できない場合があります。

本書 160 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

文字が化けたり、記号がカタカナで印刷されていませんか？

- 文字コード表の選択が合っていますか？プリンタ設定値の「文字コード表」の設定を確認してください。
  本書 154 ページ「設定値を変更する」
- PCPR201H モードで印刷している場合は、ESC/P スーパーの設定を［ON］に設定してください。
  本書 154 ページ「設定値を変更する」

特定の文字や記号が違う文字や記号に化けませんか？

国際文字の選択が間違っています。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC Rn）により、使用する国の文字に変更してください。

文字が混入したり、まったく違う文字記号に化けていませんか？

- プリンタ設定の I/F 選択が［自動］の場合、I/F 固定解除時間が経過する前にもう一方のインターフェイスからデータが送られています。印刷中は、ほかのインターフェイスから印刷データを送らないでください。
- コンピュータ側のパラレルインターフェイスの設定が［ECP モード］になっている場合は［ノーマルモード］または［スタンダードモード］に変更してください。設定変更の方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

画面の表示が旧 JIS 漢字で表示されていませんか？

本機で印刷する漢字は JIS X0208-1990 に準拠しています。旧 JIS との違いについては、以下のページを参照してください。

本書 235 ページ「旧 JIS との違いについて」

印刷位置（結果）が画面表示と異なる

空白行が入ったり、改ページが正しく行われずに印刷されていませんか？

- プリンタドライバから用紙サイズを設定している場合は、正しい用紙サイズを選択してください。
  ☞ 本書 57 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- アプリケーションソフトやプリンタで設定されているページ長または用紙サイズと実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズが異なっています。
  アプリケーションソフトやプリンタの設定を実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズと合わせてください。
  連続紙のページ長は、プリンタ設定値のページ長（連続紙）で設定してください。
  ☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」
- プリンタ設定のミシン目スキップが［ON］に設定されています。プリンタ設定のミシン目スキップを［OFF］に設定してください。
  ☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」
- Windows 環境の場合：
  - プリンタドライバで設定されている用紙サイズと使用している用紙のサイズを合わせてください。この際、用紙長が一致するサイズを選択してください。
    例えば、用紙幅 7 インチ、用紙長 4.5 インチの連続紙の場合は、用紙サイズの「連続紙 15 x 4 1/2inch」を選択します。
  - 用紙の横方向のサイズがいくつであっても「連続紙 15 x XXinch」を選択し、右マージンはアプリケーションソフトの設定で行ってください。

行間隔が違っていませんか？

- 改行量の設定が不適切な場合は、行間隔が広くなったり狭くなったりします。アプリケーションソフトの改行量を正しく設定してください。
- すべての行間に空白行が追加される場合は、プリンタ設定の自動改行が［ON］に設定されている可能性があります。
  ソフトウェアから改行命令が送られるときは、自動改行する必要はありません。プリンタ設定値の自動改行を［OFF］に設定してください。
  ☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」

エッジガイドの設定位置がガイドマーク ▷| に合っていますか？

用紙ガイドのエッジガイド位置は、単票紙の左マージン（余白）に影響します。
エッジガイドをガイドマークに合わせてください。
☞ 本書 113 ページ「連続紙のセット」

連続紙の使用時、スプロケットの位置を確認してください。

連続紙の使用時、スプロケット（左）の位置は、左マージン（余白）に影響します。スプロケットの位置を調整して印刷してください。

☞ 本書 148 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」

改行されずに重なって印刷されていませんか？

改行命令がコンピュータから送られていません。プリンタ設定値の自動改行を［ON］にしてください。

☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」

ミシン目付近に印刷されていませんか？

連続紙の実際のページ長とプリンタ設定値のページ長が異なっています。
アプリケーションソフトやプリンタ設定を実際に使用している用紙の長さと合わせてください。

☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」

罫線がずれる

プリンタ設定値の印字方向が双方向に設定されていませんか？

プリンタ設定値の印字方向を［単方向］に設定してください。

☞ 本書 154 ページ「設定値を変更する」

罫線が切れたり、印刷がずれたりしていませんか？

プリンタドライバやアプリケーションソフトのプリンタ設定に問題があります。
プリンタドライバやアプリケーションソフト上の用紙設定を、プリンタで使用する用紙と合っているか確認してください。

双方向印刷の調整は行いましたか？

双方向印刷を行う場合、縦方向の線がずれることがあります。
以下のページを参照して双方向印刷の調整を行ってください。

☞ 本書 157 ページ「双方向印刷の調整」

設定と異なる印刷をする

プリンタ設定値（パネル設定）、プリンタドライバ、アプリケーションソフトから異なった条件で設定されていませんか？

印刷条件の設定は、プリンタ設定値（パネル設定）、プリンタドライバ、アプリケーションソフトそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷を行う場合は、各設定を確認してください。

本書 152 ページ「操作パネルからの設定」
本書 55 ページ「プリンタドライバの設定」

例えば、書体の選択をした場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトによる書体の選択が優先され、パネル設定は無視されます。

印刷開始位置がずれる

プリンタの電源がオンのとき、用紙を引き抜いていませんか？

プリンタの電源がオンのとき用紙を引き抜くと、印刷開始位置がずれたり、用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。印刷後の用紙を排紙する場合は、以下のページを参照してください。

本書 113 ページ「連続紙のセット」
本書 141 ページ「単票紙のセット」
本書 148 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」
本書 176 ページ「カットシートフィーダからトラクタへの切り替え」
本書 177 ページ「トラクタからカットシートフィーダへの切り替え」

詰まった用紙を取り除く場合は、以下のページを参照してください。

本書 184 ページ「用紙が詰まったときは」

印刷品質がよくない

印刷ムラがある・汚い

横一列にところどころ抜けていませんか？

プリントヘッドのピンが折れています。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口については以下のページを参照してください。

☞ 本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

印字の下の部分が欠けていませんか？

リボンカートリッジが正しく取り付けられていません。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 178 ページ「リボンカートリッジの交換」

斜めの線が入っていませんか？

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 178 ページ「リボンカートリッジの交換」

アジャストレバーの設定は正しいですか？

アジャストレバーの紙厚に適した設定にしてください。

☞ 本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

印刷が薄い

印刷が薄くなっていませんか？

- リボンのインクが薄くなっています。
  印刷を中止し、新しいリボンカートリッジと交換してください。
  本書 178 ページ「リボンカートリッジの交換」
- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［ドラフト］になっていませんか？
  ［正式文書］に設定して印刷してみてください。
  本書 60 ページ「グラフィックス、印刷品質の設定」
- DOS 環境下で高速印字が設定されています。
  プリンタの操作パネルの［高速印字］スイッチを押し、高速印字ランプを消灯させ、高速印字の設定を解除してください。
  本書 21 ページ「操作パネル」

アジャストレバーの設定は正しいですか？

アジャストレバーの紙厚に適した設定にしてください。
本書 112 ページ「アジャストレバーの設定」

プリンタドライバの使い方が分からない

用紙サイズの設定の仕方が分からない

プリンタドライバの用紙設定を確認してください。

定形紙	用紙サイズの一覧からクリックして選択します。一覧にない定形紙の場合は、ユーザー定義サイズで設定する必要があります。
定形外	ユーザー定義サイズで設定してください。
連続紙	用紙サイズの一覧から使用する連続紙に以下の手順で選択します。 ① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。 ② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inchは、約25.4mmです。ここでは、仮に横15inch ×縦4.67inch の用紙とします）。 ③ プリンタドライバの［用紙サイズ］の一覧から、15 × 4.67inch に合うサイズを選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inchと分数で表現しています。 また、4 インチ未満の縦サイズ、例えば 3.3 インチの場合、10 インチ（3 等分）のように、等分で表現しています。

本書 62 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

プリンタドライバの入手方法、ダウンロード方法

エプソンディスクサービスまたはエプソン販売のホームページをご利用ください。入手方法、ダウンロード方法については、以下のページで詳しくご案内しています。

本書 265 ページ「最新のプリンタドライバの入手方法」

オプションのカットシートフィーダでうまく紙送りできない

プラテン* は回るが、給紙されずにブザーが鳴って用紙チェックランプが点灯する

* プラテン：プリンタ内部にある、用紙を支持する細長い円筒の部分

用紙をセットしましたか？

用紙をカットシートフィーダにセットしてください。

☞ 本書 172 ページ「カットシートフィーダの使い方」

レリースレバーは単票給紙位置に設定されていますか？

レリースレバーを単票給紙位置に設定してください。

☞ 本書 111 ページ「レリースレバーの設定」

カットシートフィーダは正しくセットしましたか？

正しく取り付け直してください。特にプリンタ本体とカットシートフィーダのギヤがうまくかみ合っているか確認してください。

☞ 本書 170 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が狭すぎませんか？

エッジガイドの間隔が狭いと、用紙がなめらかに給紙できないことがあります。エッジガイドを、用紙が楽に上下できる程度の幅に調整してください。

☞ 本書 172 ページ「カットシートフィーダの使い方」

カットシートフィーダにセットされている用紙が最後の 1 枚ではありませんか？

最後の 1 枚は、給紙されないことがあります。カットシートフィーダの用紙が残り少なくなったら、新しい用紙を加えてください。

［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙していませんか？

［印刷可］スイッチを押して、用紙チェック状態を解除します。用紙カット位置 / ピン選択ランプが点灯していることを確認してください。排紙するときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押し続けてください。

一度に 2 枚以上の用紙が送られる

カットシートフィーダにセットしてある用紙の枚数が多すぎませんか？

カットシートフィーダで使用できる用紙の枚数を確認してください。

本書 167 ページ「使用できる用紙の種類」

用紙と用紙が静電気などでくっついていませんか？

用紙は、セットする前に十分さばいておいてください。

用紙が曲がって送られる

用紙に折り目やしわがありませんか？

使い古しの紙や、折れ曲がった紙はうまく紙送りされず、プリンタ内で引っかかることがあります。新しい用紙を使用してください。

カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が広すぎませんか？

エッジガイドを用紙の幅に合わせて調整してください。

本書 172 ページ「カットシートフィーダの使い方」

用紙は仕様に合っていますか？

仕様にあった用紙を使用してください。

単票紙の手差しができない

用紙を差し込む位置は合っていますか？

用紙ガイド（前）から給紙してください。

本書 142 ページ「用紙ガイド（前）からの給紙」

エッジガイドの位置は間違っていませんか？

左側のエッジガイドを左端に移動し、ガイドマークに合わせます。右側のエッジガイドを用紙の幅に合わせます。

本書 142 ページ「用紙ガイド（前）からの給紙」

レリースレバーを単票給紙位置に設定したのに連続紙が送られる

レリースレバーを切り替える前に、連続紙が排紙されていることを確認しましたか？

レリースレバーを切り替える前に、[給紙 / 排紙] スイッチを押して連続紙をトラクタの位置まで完全に排紙してください。用紙チェックランプが点灯していることを確認してから、レリースレバーを単票給紙位置に切り替えてください。

本書 177 ページ「トラクタからカットシートフィーダへの切り替え」

オプションのインターフェイスカードを使用するとうまく印刷されない

印刷ができない、印刷がおかしい

プリンタのインターフェイス設定を間違えていませんか？
オプションのインターフェイスが使用できるようにプリンタの設定値を変更してください。
本書 154 ページ「設定値を変更する」

インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパーの設定は合っていますか？
インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、設定し直してください。

オペレーティングシステムやアプリケーションソフト上の設定は合っていますか？
オペレーティングシステムやアプリケーションソフトの説明書を参照して、同じ条件に設定してください。

インターフェイスカードとコンピュータの条件設定は一致していますか？
それぞれの説明書を参照して、同じ条件に設定してください。

インターフェイスカードが外れていませんか？
正しく取り付けられていることを確認してください。
本書 165 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

インターフェイスカードは仕様に合っていますか？
仕様にあったインターフェイスカードを使用してください。
本書 161 ページ「インターフェイスカード」

その他のトラブル

印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった

印刷中に印刷可ランプが点滅をして印刷速度が遅くなったり、印刷を停止した場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

印刷速度が遅くなった

低温環境下でプリンタを動作させると、コールドモード（プリントヘッドの温度が許容範囲以下になっているために、自動的に印刷速度を低速にしている状態）になる可能性があります。プリントヘッドの温度が上がると、自動的に通常の印刷速度に戻りますので、しばらくそのままで印刷継続してください。
また、複写枚数の多い用紙や厚い紙などに印刷する場合、印刷品質を確保するために印刷速度を落として動作することがあります。故障ではありませんので、安心してお使いください。

結露について

プリンタ内部に結露が発生すると、［電源］スイッチをオンにしてもランプが点灯するだけでプリンタが動作しないことがあります。
その場合は、一旦［電源］スイッチをオフにし、プリンタカバーを開けた状態でしばらくお待ちください。その後、再度［電源］スイッチをオンにして、プリンタが正常に動作すればプリンタの故障ではありませんので、そのままお使いください。

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本機からアースを取る場合には、エプソンの修理窓口までお問い合わせください。
本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

どうしても解決しないときは

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→動作確認実行

本機は、プリンタの機能が正常に動作しているかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。

1. **［電源］スイッチをオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。**
2. **連続紙をセットします。**
3. **［改行 /改ページ］または［給紙/ 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

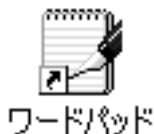
正常に印刷できない場合

保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

正常に印刷できる場合

プリンタは故障していません。続いて、プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。判断のしかたは、次の項目を参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows 標準添付の（Windows3.1/NT3.51 を除く）ワードパッドで簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

☞ 本書 52 ページ「印刷手順」
ワードパッドを起動した後、数文字入力してからファイルメニューの［印刷］を実行します。

正常に印刷できない場合

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンなどに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

本書 95 ページ「プリンタソフトウェアの削除」
本書 46 ページ「プリンタソフトウェアのインストール」

正常に印刷できる場合

- プリンタドライバをバージョンアップすることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。
  本書 265 ページ「最新のプリンタドライバの入手方法」
- お使いのアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合わせ先へご相談ください。

それでもトラブルが解決できない場合は、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙をご覧ください。
お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

付録

プリンタのお手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。

- ［電源］スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから外し、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

⚠警告　プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉じてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要な場合には、販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
☞本書 260 ページ「保守サービスのご案内」

プリンタの運搬

本機を輸送する場合は、プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

1. **［電源］スイッチをオフにします。**
   用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して取り除いておきます。

2. **電源プラグとインターフェイスケーブルを外します。**
   電源プラグをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

3. **用紙ガイド、およびオプションのカットシートフィーダを外します。**
   以下のページを参照し、取り付けと逆の手順で行ってください。
   本書 32 ページ「用紙ガイドの取り付け」
   本書 170 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

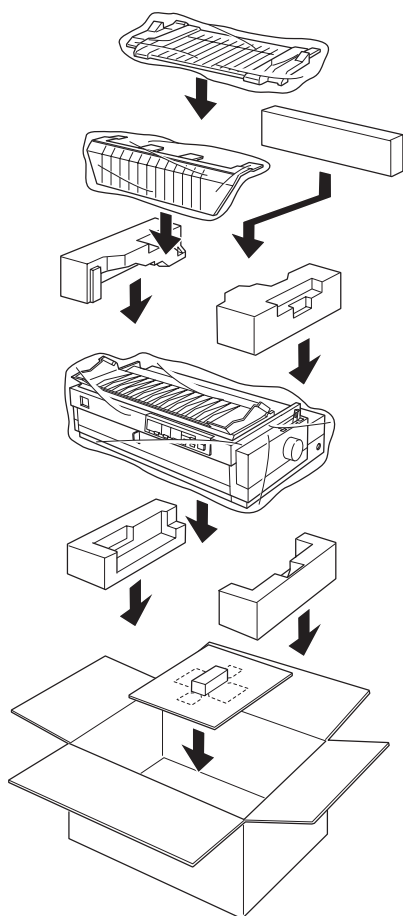
4. **リボンカートリッジを取り外します。**
   以下のページを参照し、取り付けと逆の手順で行ってください。
   本書 29 ページ「リボンカートリッジの取り付け」

5. **プリントヘッドを固定する保護具を取り付けます。**
   輸送用固定ネジ（赤いネジ）をリアプッシュトラクタの下にあるネジ穴に取りつけます。

輸送後、プリンタを使用する前にこのネジを外してください。ネジはなくさないように保管してください。

6. **プリンタカバーを閉じます。**

7 次のイラストのように梱包します。

プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載します。

基本仕様

- 印字方式　インパクトドットマトリクス
- ピン配列　24 ピン
- 印字方向　双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
- 印字桁数 / 印字速度
  最大印字幅　345mm
  英数カナ文字

英数カナ文字

文字ピッチ（CPI）	印字桁数（CPL）	印字速度（CPS）			
		ドラフト		高品位	
		ノーマル	コピー	ノーマル	コピー
10	136	360	240	120	80

漢字

印字モード	印字ピッチ（CPI）	印字桁数（CPL）	印字速度（CPS）			
			高速		高品位	
			ノーマル	コピー	ノーマル	コピー
全角	6.7	90	160	80	80	53

（）内は半角文字間スペース補正時を示す
CPL・・・Characters Per Line
CPI・・・Characters Per Inch
CPS・・・Characters Per Second

- 紙送り方式　フリクションフィード（フロント、リア）
  紙幅可変プッシュトラクタフィード（フロント、リア）
  紙幅可変プッシュプルトラクタフィード（フロント、リア）
  紙幅可変プルトラクタフィード（フロント、リア、ボトム）
  カットシートフィーダ（オプション：ビン 1、ビン 2）
- 改行間隔　4.23mm｛1/6 インチ｝、（コントロールコードで 4.23mm｛1/6 インチ｝、3.18mm｛1/8 インチ｝あるいは 0.07mm｛1/360 インチ｝単位に設定可能）
- 改行速度　33ms/ 行（行間隔 4.23mm｛1/6 インチ｝）
  127mm｛5 インチ｝／秒（連続送り時）
- 入力データバッファ　約 64KByte（受信バッファ切替可）

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード マルチリンガル	JIS X0208-1990 準拠
文字種	英数カナ文字 グラフィックス 拡張グラフィックス 国際文字	第 1 水準、第 2 水準
書体	EPSON ROMAN EPSON SANSSERIF EPSON OCR-B	明朝体、ゴシック体

バーコード書体	JAN 準拠、JAN 短縮、Interleaved2of5、UPC-A、UPC-E、Code39、Code128、POSTNET

用紙仕様

＜連続紙（連続複写紙）＞

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6 ～ 406.4mm ｛4.0 ～ 16 インチ｝	
用紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm ｛4.0 ～ 22 インチ｝	
用紙厚	0.065 ～ 0.36mm	
用紙重量	45 ～ 70kg	34 ～ 50kg（1 枚当たり）
コピー枚数	—	最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）

＜連続ラベル紙＞

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 406.4mm ｛4.0 ～ 16.0 インチ｝
台紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm ｛4.0 ～ 22.0. インチ｝
推奨ラベルサイズ	幅 63.5mm 以上、長さ 23.8mm 以上、R2.5mm 以上
用紙厚（台紙を含む）	0.16 ～ 0.19mm
ラベル重量	55kg

＜単票紙（単票複写紙）＞

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
種類	―	天のり（用紙ガイド（上）） 天のり、横のり（用紙ガイド（前））
用紙幅	100 ～ 420mm｛3.9 ～ 16.5 インチ｝	
用紙長	100 ～ 420mm｛3.9 ～ 16.5 インチ｝（用紙ガイド（上）） 148 ～ 420mm｛5.8 ～ 16.5 インチ｝（用紙ガイド（前））	
用紙厚	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.36mm
コピー枚数	―	最大 6 枚（オリジナル＋ 5 枚）
用紙重量	45 ～78kg	34 ～ 50kg（1 枚当たり）

＜ハガキ＞

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ（通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	約 0.22mm	
用紙重量	165kg 相当	

電気関係仕様

- 定格電圧　AC100V
- 入力電圧範囲　AC90 ～ 110V
- 定格周波数　50 ～ 60Hz
- 入力周波数範囲　49.5 ～ 60.5Hz
- 定格電流　1.0A（最大 4.0A）
- 消費電力
  連続印刷時平均　約 52W（ISO/IEC10561 レターパターン印刷時）
  低電力モード時　約 8W
- 絶縁耐力　AC1000V RMS1 分または AC1200V RMS1 秒

総合仕様

項目	仕様
• 信頼性	
平均総印字量	2,400 万行
• プリントヘッド寿命	4 億ドット（1 ピンあたり）
• 温度	
動作時	5 ～ 35℃
保存時	-30 ～ 60℃
• 湿度	
動作時	10 ～ 80%（非結露）
保存時	0 ～ 85%（非結露）
• 一般室温環境	複写紙、郵便ハガキ、ラベル印刷時
温度	15 ～ 25℃
湿度	30 ～ 60%（非結露）
• プリンタ本体重量	約 13kg
• プリンタ本体外形寸法幅	639mm ×奥行き 402mm ×高さ 268mm
• カートリッジリボン寿命	800 万字（1 文字を 48 ドット構成とした場合）

インターフェイス仕様

パラレルインターフェイス（フォワードチャネル）

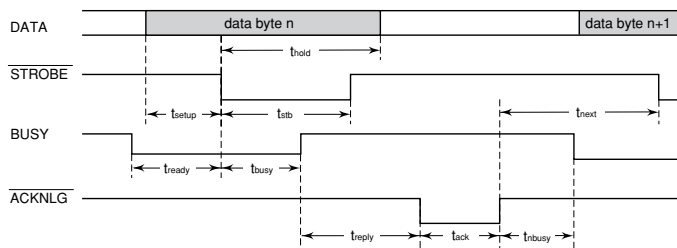
- データ転送方式　　8 ビットパラレル
- 同期方式　　外部供給 STROBE パルス信号
- ハンドシェイク　　ACKNLG および BUSY 信号
- ロジックレベル　　入力データおよびコントロール信号は TTL レベル
- 適合コネクタ　　57-30360（アンフェノール）の 36 ピンまたは同等品
（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルス。パルス幅は受信端にて 0.5μs 以上必要。定常状態では “HIGH” であり、“LOW” となった後にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW” はデータが“0” であることを示します。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	“LOW” はプリンタがデータを受け取り、次のデータを受け付ける用意ができていることを示す。パルス幅は約 5μs である。
11	29	BUSY	プリンタ	“HIGH” はプリンタがデータを受け取れないことを示す。逆に “LOW” はプリンタがデータを受け取れることを示す。この信号が “HIGH” になれるのは次の場合である。 ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中または “INIT” 信号が “LOW” の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	28	PE	プリンタ	“HIGH” はプリンタに用紙が無いことを示す。 （ERROR ＝ “LOW” の場合に有効）
13	28	SLCT	プリンタ	常時 “HIGH” レベル。1.0kΩ で +5V にプルアップされている。
14	30	$\overline{\text{AFXT}}$	センタマシン	未使用

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
15	---	NC	---	使用していません。
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド
18	---	Logic H	---	常時“HIGH”レベル。3.9kΩ で +5V にプルアップされている。
19～30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	パルス幅 50μs 以上の“LOW”パルス入力によりプリンタは初期状態にセットされる。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	“LOW”はプリンタがエラー状態にあることを示す。（フェイタルエラー、紙無しエラー、カバーオープンエラー）
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	未使用
35	---	+5V	---	常に“HIGH”状態。1.0kΩ で +5V にプルアップされています。
36	30	$\overline{\text{SLCTIN}}$	---	未使用

- “LOW”アクティブ信号の場合には、信号名の上に横棒が付いています。
- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。
  さらに、このケーブルにはシールドを行い、センタマシンとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- インターフェイス条件は、すべて TTL レベルを基準とします。プリンタ出力の立ち上がり、立ち下がり時間を 120ns 以下とします。
- センタマシン出力の立ち上がり、立ち下がり時間を 200ns 以下とします。
- $\overline{\text{ACKNLG}}$ またはBUSY信号を無視してのデータ転送は行わないでください。（プリンタへのデータ転送は、$\overline{\text{ACKNLG}}$ を確認するか、BUSY が“LOW”状態のときに行ってください）

パラレルインターフェイスタイミングチャート

パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500 nsec	—
thold	500 nsec	—
tstb	500 nsec	—
tready	0	—
tbusy	—	500 nsec
treply	—	—
tack	500 nsec	10 us
tnbusy	0	—
tnext	0	—

パラレルインターフェイス（リバースチャネル）

- データ転送方式　IEEE-1284 ニブルモード
- 同期方式　IEEE-1284 準拠
- ハンドシェイク　IEEE-1284 準拠
- ロジックレベル　TTL レベル（IEEE-1284 レベル 1 対応機器）
- データ転送タイミング IEEE-1284 準拠

入力信号　（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW”はデータが“0” であることを示します。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy/ DataBit-3,7	プリンタ	プリンタ側の BUSY 信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
12	28	AckDataReq/ DataBit-2,6	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット 6
13	28	Xflag/ DataBit-1,5	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側の BUSY 信号
15	---	NC	---	未使用
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド
18	---	Logic H	プリンタ	“HIGH” はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示します。3.9kΩ で +5V にプルアップされている。
19～30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	使用していません。
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$/ DataBit-0,4	プリンタ	Data available 信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	未使用
35	---	+5V	プリンタ	常に “HIGH” 状態。1.0kΩ で +5V にプルアップされています。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active 信号

初期化

次の 2 通りの方法で初期化（イニシャライズ）されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化
方法	電源を再投入あるいはプリンタがパラレルインターフェイスから $\overline{\text{INIT}}$ を信号を受信	ソフトウェア初期化ソフトウェア初期化 ESC@ コード（プリンタの初期化）を送る
初期化内容	・プリンタメカニズム ・入力データバッファ ・ダウンロード文字、外字 ・プリントバッファ	・プリントバッファ

コントロールコード表

本プリンタはEPSON ESC/P™ のESC/P24-J84に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、別売の「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル」を参照してください。

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
印字・紙送り	印字復帰	CR	
	改行	LF	
	改ページ	FF	
	n/180インチ順方向紙送り	ESC J n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180インチ)
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1 ≦ n ≦ 127 (n行)
	インチ単位ページ長設定	ESC C 0 n	1 ≦ n ≦ 22 (nインチ)
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1 ≦ n ≦ 127 (n行)
	ミシン目スキップ解除	ESC O	
	右マージン設定	ESC Q n	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
	左マージン設定	ESC l n	0 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
改行量設定	1/8インチ改行量設定	ESC 0	
	1/6インチ改行量設定	ESC 2	
	n/180インチ改行量設定	ESC 3 n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180インチ)
	n/360インチ改行量設定	ESC + n	0 ≦ n ≦ 255 (n/360インチ)
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D [n]$_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 32 (k：タブ数)
	垂直タブ位置設定	ESC B [n]$_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 16 (k：タブ数)
	水平タブ実行	HT	
	垂直タブ実行	VT	
	絶対水平位置指定	ESC $ n_1 n_2	0 ≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を256で割った値の余り) (n_2：ドット数を256で割った値の商)
	相対水平位置指定	ESC ¥ n_1 n_2	左マージン位置≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を256で割った値の余り) (n_2：ドット数を256で割った値の商)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n＝0，1
	書体選択	ESC k n	n＝0，1
	プロポーショナル文字指定/解除	ESC p n	n＝0，1
	10cpi 指定	ESC P	
	12cpi 指定	ESC M	
	15cpi 指定	ESC g	
	スーパー/ サブスクリプト指定	ESC S n	n＝0，1
	スーパー/ サブスクリプト解除	ESC T	
	ライン付き文字選択	ESC (- n_1 n_2 m d_1 d_2	n_1＝3 n_2＝0 m＝1 d_1＝1，2，3 （d_1：線位置） 0 ≦ d_2 ≦ 255 （d_2: 線種）
	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	
	縮小指定	SI	
	縮小解除	DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	
	アンダーライン指定／解除	ESC - n	n＝0，1
	縦倍拡大指定／解除	ESC w n	n＝0，1
	国際文字選択	ESC R n	0 ≦n≦ 12 （n: 国際文字の番号）
	文字コード表選択	ESC t n	n＝1，3

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC & 0 n m [a_0 a_1 a_2 p_1...p_k]m-n+1	32 ≦ n ≦ m ≦ 127 0 ≦ a_0 ≦ 127 0 ≦ a_1 ≦ 37 − 128 ≦ a_2 ≦ 127 0 ≦ p_1...p_k ≦ 255 (m − n ＋ 1：登録文字数) (n：開始コード) (m：終了コード) (a_0：左スペース) (a_1：文字幅) (a_2：右スペース) (p_1...p_k：データ)
	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC % n	n＝0，1
	文字セットコピー	ESC : 0 n S	n＝0 s＝0
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0 ≦ n ≦ 127　(n：ドット数)
	イタリック指定	ESC 4	
	イタリック解除	ESC 5	
	強調指定	ESC E	
	強調解除	ESC F	
	二重印字指定	ESC G	
	二重印字解除	ESC H	
	文字スタイル選択	ESC q n	n＝0，1，2，3
	倍幅拡大指定／解除	ESC W n	n＝0，1
	一括指定	ESC ! n	0 ≦ n ≦ 255 (n：指定または解除の値の和)
漢字文字セット	漢字モード指定	FS &	
	漢字モード解除	FS .	
	漢字書体選択	FS k n	n＝0，1
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS SO	
	半角文字指定	FS SI	
	半角文字解除	FS DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS DC4	
	1/4 角文字指定	FS r n	n＝0，1
漢字文字定義	外字定義	FS 2 a_1 a_2 $[d]_k$	a_1 ＝ 77_H 21_H ≦ a_2 ≦ $7E_H$ 0 ≦ d ≦ 255 k ＝72 (a_1,a_2：外字コード) (a_1：第 1 バイト) (a_2：第 2 バイト) ($[d]_k$：データ)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 （n_1：左スペース量（n_1/180 インチ）） （n_2：右スペース量（n_2/180 インチ））
	半角文字スペース量設定	FS T n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 （n_1：左スペース量（n_1/180 インチ）） （n_2：右スペース量（n_2/180 インチ））
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J	
	漢字横書き指定	FS K	
	半角縦書き２文字指定	FS D [d]$_k$	$_k$ ＝4
	４倍角指定／解除	FS W n	n＝0，1
	漢字アンダーライン指定／解除	FS - n	n＝0，1，2
	漢字一括指定／解除	FS ! n	0 ≦n≦ 255 （n：指定または解除の値の和）
ビットマップイメージ選択	ビットイメージ選択	ESC * m n_1 n_2 [d]$_k$	m＝0〜4,6,32,33,38〜40 0 ≦ n_1 ≦ 255 0 ≦ n_2 ≦ 19 j＝1，3 $_k$ ＝(n_1＋n_2 × 256)×j （m：選択するビットイメージ） （n_1＋n_2 × 256：水平方向ドット数） （n_1：水平方向ドット数を256 で割った値の余り） （n_2：水平方向ドット数を256 で割った値の商） （[d]$_k$：データ）
	ビットイメージリピート選択	ESC * m r_1 r_2 n_1 n_2 [d]$_k$	m ＝167 0 ≦ r_1 ≦ 255 0 ≦ r_2 ≦ 19 0 ≦ n_1 ≦ 180 n_2＝0 j＝3 k ＝(n_1＋n_2 × 256)×j （m：選択するビットイメージ） （r_1＋r_2 × 256：ビットイメージを繰り返す回数） （r_1：回数を 256 で割った値の余り） （r_2：回数を 256 で割った値の商） （n_1＋n_2 × 256：ビットイメージを繰り返す回数） （n_1：回数を 256 で割った値の余り） （n_2：回数を 256 で割った値の商） （[d]$_k$：データ）
初期化	初期化	ESC @	
キャリッジ制御	単方向印字指定／解除	ESC U n	n＝0，1
	漢字高速印字指定／解除	FS x n	n＝0，1

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
CSF 制御	カットシートフィーダ制御	ESC EM n	n＝“1”，“2”，“R”
その他	半角文字スペース量補正	FS U	
	半角文字スペース量補正解除	FS V	
	ページ長設定	ESC (C n_1 n_2 m_1 m_2	$n_1 = 2$ $n_2 = 0$ 0 ＜(m_1 ＋ m_2 × 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	ページフォーマット設定	ESC (c n_1 n_2 tL tH bL bH	$n_1 = 4$ $n_2 = 0$ 0 ≦ (tL ＋ tH × 256) ×基準ユニット＜ (bL ＋bH× 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	バーコード印字	ESC (B n_1 n_2 j m s v_1 v_2 c $[d]_k$	$0 \leqq n_1 \leqq 255$ $0 \leqq n_2 \leqq 127$ $0 \leqq j \leqq 7$ $2 \leqq m \leqq 5$ $-3 \leqq s \leqq 3$ $45 \leqq (v_1 + v_2 \times 256) \leqq 3960$ $0 \leqq c \leqq 255$ $_k = n_1 + n_2 \times 256$ (n_1 ＋ n_2 × 256：データ数＋ 6) (j：バーコード種) (m：最小モジュール幅) (s：白バー微調整) (v_1 ＋ v_2 × 256：高さ) (c：付加，印字等) ($[d]_k$：データ)

英数カナ文字コード表

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	＿	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	▇	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	ˆ	n	˜	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	μ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	η
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	ˆ	n	˜	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

マルチリンガルコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	ð	ó	—
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	Đ	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	Ê	ô	‗
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	Ë	ò	¾
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	È	õ	¶
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	Á	┼	ı	Õ	§
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	Â	ã	Í	µ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	À	Ã	Î	þ	¸
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	©	╚	Ï	Þ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	®	╣	╔	┘	Ú	¨
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Û	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	Ù	¹
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	ý	³
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	¢	═	¦	Ý	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	×	«	¥	╬	Ì	¯	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	¤	▀	´	

国際文字

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	β
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	à	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

漢字コード表

この漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。

漢字コード表

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
20																															
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E																															
2F																															
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

	40	41	42	43	44	45	46	47
20								
21	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
22	∪	∩						
23		A	B	C	D	E	F	G
24	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
25	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
26		α	β	γ	δ	ε	ζ	η
27	Ю	Я						
28	┼							
29								
2A								
2B								
2C								
2D	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール
2E								
2F								
30	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
31	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
32	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
33	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
34	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
35	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
36	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
37	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
38	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
39	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
3A	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
3B	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
3C	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
3D	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
3E	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
3F	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
40	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
41	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
42	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
43	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
44	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
45	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
46	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
47	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
48	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
49	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
4A	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
4B	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
4C	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
4D	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
4E	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
4F	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑

	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F
20								
21	“	”	（	）	〔	〕	［	］
22			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀
23	H	I	J	K	L	M	N	O
24	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
25	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
26	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
27								
28								
29								
2A								
2B								
2C								
2D	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ
2E								
2F								
30	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
31	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
32	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
33	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
34	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
35	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
36	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
37	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
38	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
39	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3A	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3B	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3C	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
3D	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3E	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3F	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
40	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
41	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
42	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
43	暖	檀	段	男	談	値	知	地
44	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
45	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
46	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
47	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
48	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
49	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4A	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4B	鋅	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4C	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4D	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4E	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4F	桙	鶯	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨

	50	51	52	53	54	55	56	57
20								
21	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」
22	∃							
23	P	Q	R	S	T	U	V	W
24	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ
25	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ
26	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ
27		а	б	в	г	д	е	ё
28								
29								
2A								
2B								
2C								
2D	mm	cm	km	mg	kg	cc	m^2	
2E								
2F								
30	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易
31	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益
32	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛
33	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革
34	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑
35	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久
36	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴
37	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計
38	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎
39	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢
3A	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭
3B	姉	姿	子	屍	市	師	志	思
3C	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮
3D	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣
3E	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝
3F	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅
40	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡
41	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋
42	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴
43	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致
44	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔
45	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺
46	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇
47	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌
48	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤
49	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫
4A	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍
4B	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没
4C	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗
4D	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要
4E	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨
4F	椀	湾	碗	腕				

	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
20								
21	『	』	【	】	＋	－	±	×
22					∠	⊥	⌒	∂
23	X	Y	Z					
24	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	ω							
27	ж	з	и	й	к	л	м	н
28								
29								
2A								
2B								
2C								
2D								[illegible]
2E								
2F								
30	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F								

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
20																															
21	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26																															
27	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28																															
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	〃	〟	No.	K.K.	Tel	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明治	大正	昭和	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E																															
2F																															
30	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F																															

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	筐	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	陜	陞	陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	臉	膺	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	萱	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	貔	貅	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																
7F																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	倢	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	豬	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	釵	鈍	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	鰰	鰊	鰲	鰭	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

旧 JIS との違いについて

本機では、JISX0208-1990 に準拠した漢字コードを搭載しています。
JIS 漢字コードは、改訂によって字形を変更したり、字形を追加したり、または位置を変更したりしているため、使用するコンピュータやソフトウェアによっては画面に表示される字形と印刷される字形が異なる場合があります。ここでは、プリンタに搭載している JIS 漢字コード（新 JIS コード）と、旧 JIS コードの違いについて説明します。

JIS X0208-1990 で追加された字形

（JIS X0208-1983 に追加）

16 進	JIS X0208-1990
7425	凜
7426	熙

JIS X0208-1990 ／旧 JIS の字形変更

旧 JIS（JIS C6226-1978）から字形を変更し、旧 JIS の字形を新たに追加した漢字

変更された字形			追加された旧JISの字形	
16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990
3646	尭	堯	7421	堯
4B6A	槙	槇	7422	槇
4D5A	遥	遙	7423	遙
6076	瑶	瑤	7424	瑤

第１水準と第２水準の位置を変えた漢字

第１水準			第２水準		
16進	JIS X0208 -1990	旧JIS	16進	JIS X0208 -1990	旧JIS
3033	鯵	鰺	724D	鰺	鯵
3229	鴬	鶯	7274	鶯	鴬
3342	蛎	蠣	695A	蠣	蛎
3349	撹	攪	5978	攪	撹
3376	竃	竈	635E	竈	竃
3443	潅	灌	5E75	灌	潅
3452	諌	諫	6B5D	諫	諌
375B	頚	頸	7074	頸	頚
395C	砿	礦	6268	礦	砿
3C49	蕊	蘂	6922	蘂	蕊
3F59*	靭	靱	7057*	靱	靭
4128	賎	賤	6C4D	賤	賎
445B	壷	壺	5464	壺	壷
4557	砺	礪	626A	礪	砺
456E	梼	檮	5B6D	檮	梼
4573	涛	濤	5E39	濤	涛
4676*	迩	邇	6D6E*	邇	迩
4768	蝿	蠅	6A24	蠅	蝿
4930	桧	檜	5B58	檜	桧
4B79	侭	儘	5056	儘	侭
4C79	薮	藪	692E	藪	薮
4F36	篭	籠	6446	籠	篭

＊第１水準と第２水準の位置を変え、字形も変更した文字

JIS X0208-1990で字形を変更した漢字

16進	JIS X0208 -1990	旧JIS	16進	JIS X0208 -1990	旧JIS	16進	JIS X0208 -1990	旧JIS
3022	唖	啞	3737	祁	祁	3E25	哨	哨
3029	逢	逢	3745	慧	慧	3E33	廠	廠
3032	芦	芦	374E	稽	稽	3E3F	梢	梢
303B	飴	飴	3752	繋	繫	3E55	蒋	蔣
306E	溢	溢	3755	荊	荊	3E5F	醤	醬
3073	鰯	鰯	3764	隙	隙	3E64	鞘	鞘
307C	淫	淫	3771	倦	倦	3F2A	蝕	蝕
312A	迂	迂	3779	嫌	嫌	3F60	逗	逗
3135	蔚	蔚	377E	捲	捲	3F69	翠	翠
3139	厩	廐	3834	鹸	鹼	4022	摺	摺
313D	噂	噂	3841	諺	諺	4042	逝	逝
3142	餌	餌	392B	巷	巷	4066	蝉	蟬
316B	焔	焰	3937	昂	昂	4071	撰	撰
3228	襖	襖	3942	溝	溝	4072	栓	栓
322A	鴎	鷗	396D	麹	麴	4079	煎	煎
3260	迦	迦	3974	鵠	鵠	407A	煽	煽
327A	恢	恢	3979	甑	甑	4127	詮	詮
327D	拐	拐	3A53	采	采	4139	噌	噌
3322	晦	晦	3A63	冴	冴	414C	遡	遡
3335	概	概	3A67	榊	榊	414F	創	創
3365	喝	喝	3A74	柵	柵	415F	掻	搔
336B	葛	葛	3B27	薩	薩	4169	痩	瘦
3373	鞄	鞄	3B2A	鯖	鯖	423D	遜	遜
337A	噛	嚙	3B2B	捌	捌	424D	騨	驒
3442	澗	澗	3B2C	錆	錆	425C	腿	腿
344D	翰	翰	3B39	珊	珊	4263	黛	黛
3465	翫	翫	3C48	屡	屢	426F	啄	啄
352B	徽	徽	3C57	遮	遮	4275	濯	濯
3540	祇	祇	3C5D	杓	杓	4276	琢	琢
3622	侠	俠	3C5E	灼	灼	427D	蛸	蛸
362A	卿	卿	3D2B	繍	繡	4327	巽	巽
364F	僅	僅	3D36	酋	酋	4329	辿	辿
366D	躯	軀	3D6C	曙	曙	432A	棚	棚
3674	喰	喰	3D6D	渚	渚	432D	鱈	鱈
367B	櫛	櫛	3D72	薯	薯	432E	樽	樽
367D	屑	屑	3D73	藷	藷	433D	箪	簞

16進	JIS X0208 -1990	旧JIS	16進	JIS X0208 -1990	旧JIS	16進	JIS X0208 -1990	旧JIS
4370	註	註	4824	箸	箸	4E7B	煉	煉
4375	瀦	瀦	482E	溌	潑	4F21	蓮	蓮
437C	凋	凋	4830	醗	醱	4F31	榔	榔
443D	捗	捗	4854	挽	挽	4F39	蝋	蠟
4448	槌	槌	4862	扉	扉	513D	兎	兔
444A	鎚	鎚	4875	樋	樋	5147	冉	冉
444D	塚	塚	4922	柊	柊	514B	冕	冕
444F	掴	摑	4923	稗	稗	514D	冤	冤
4454	辻	辻	492F	逼	逼	5330	唹	唹
4522	鄭	鄭	4932	媛	媛	533A	唳	唳
4527	擢	擢	4935	謬	謬	535E	嘲	嘲
452E	溺	溺	4940	廟	廟	536B	嚥	嚥
4536	填	塡	494E	瀕	瀕	5444	堋	堋
453F	顛	顚	4951	頻	頻	553D	媾	媾
4548	堵	堵	4A43	蔽	蔽	5563	寃	寃
454B	屠	屠	4A4D	瞥	瞥	5622	屏	屛
4551	莵	菟	4A5A	娩	娩	5824	悗	悗
4552	賭	賭	4A79	庖	庖	5960	捩	捩
4564	塘	塘	4B22	泡	泡	596C	搆	搆
4578	祷	禱	4B29	蓬	蓬	5A39	攅	攢
463E	鴇	鴇	4B4B	頬	頰	5A4D	斃	斃
4642	涜	瀆	4B70	鱒	鱒	5B45	枦	枦
4654	瀞	瀞	4B78	迄	迄	5B4A	枴	枴
4655	噸	噸	4C4D	麺	麵	5B6B	梛	梛
465B	遁	遁	4C59	儲	儲	5B74	梍	梍
465C	頓	頓	4C5F	餅	餠	5E50	湮	湮
4661	那	那	4C62	籾	籾	6026	爨	爨
4666	謎	謎	4C7A	鑓	鑓	605F	珎	珎
4667	灘	灘	4C7C	愈	愈	612B	甄	甄
466A	楢	楢	4C7E	癒	癒	6130	甍	甍
4729	禰	禰	4D32	猷	猷	6131	甕	甕
4739	嚢	囊	4D50	熔	熔	622B	皓	皓
4757	牌	牌	4D54	耀	耀	626F	硼	硼
4767	這	這	4D69	莱	萊	634A	稱	稱
4769	秤	秤	4E4B	遼	遼	6354	穐	穐
476D	剥	剝	4E7A	漣	漣	6439	箙	箙

16進	JIS X0208-1990	旧JIS	16進	JIS X0208-1990	旧JIS
6464	粐	粐	7075	頤	頤
646E	粮	粮	722D	鬮	鬮
6539	綛	綛	723C	鮗	鮗
653B	綮	綮	724E	鯵	鯵
6546	緱	緱	7351	麪	麪
6646	翔	翔	737D	龜	龜
6764	舮	舮			
6769	芎	芎			
6772	苒	苒			
6834	莫	莫			
683B	葱	葱			
6874	蔗	蔗			
6961	蛛	蛛			
6A27	螂	螂			
6A3D	蟒	蟒			
6A6F	褊	褊			
6B32	覲	覲			
6B66	諞	諞			
6B76	譁	譁			
6C69	跚	跚			
6C74	踉	踉			
6D4E	輓	輓			
6D6C	迪	迪			
6E29	遘	遘			
6E3D	扈	扈			
6E57	釁	釁			
7045	霤	霤			
7051	靠	靠			

漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。使用するコンピュータまたはソフトウェアによっては、画面上に現れる漢字と実際に印刷される漢字が異なることがあります。それは、コンピュータ側で旧 JIS を使用している場合があるからです。

PC-98 系コンピュータでお使いになる場合

エプソンPC シリーズおよび NEC PC-98 シリーズのコンピュータと接続して使用する場合、次の点に注意してください。

ハードコピー

- BASIC プログラム中での COPY 命令は使用しないでください。
- ハードコピーはNEC PC-PR201Hに比べ、縦方向に約8/9倍になる場合があります。

リスト出力

「漢字が印刷されない」または「英数カナ文字と漢字の比が 1：2 にならない」ことがあります。

MS-DOS のバージョンにより、漢字と英数カナ文字の比率を設定できるものがあります。設定はコンピュータのメモリスイッチで行います。しかし、DISK-BASIC では漢字と英数カナ文字の比を変更することはできません。

PC-PR201H との違い

PC-PR201H とは、最小分解能と漢字構成ドットが次のように違うため、印刷結果が多少異なる場合があります。

相違点	PC-PR201H
最小分解能（インチ）	1/160
漢字構成ドット（縦×横）	22 × 22

画面ハードコピー、縦罫線、グラフィックなどの縦方向の連続印刷は、PC-PR201H に比べて約 8/9 倍になることがあります。しかし、プリンタのページ長には影響はありません。

EPSON Remote! について

DOS 版または NetWare 版 EPSON Remote!

EPSON Remote! は、DOS 環境または NetWare 環境で利用できるユーティリティソフトウェアです。それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができます。

● EPSON Remote! は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS 版、NetWare 版の中からどれかを選んで使用します。

DOS 版（98 用、DOS/V 用）	DOS アプリケーションを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote! をご利用ください。
NetWare 版	NetWare 環境下で印刷する場合に使用します。NetWare 版 EPSON Remote! には、EPSON PC シリーズ /NEC PC-9800 シリーズ用の MS-DOS 版と、DOS/V コンピュータ用の DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

EPSON Remote! は、設定する内容や、目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

ユーティリティ名		98 用	DOS/V 用
DOS 版	スタートアップユーティリティ	PRNSET	PRNSETDV
	設定ユーティリティ	PANEL	PANELDV
	簡易設定ユーティリティ	PSET	PSETDV
NetWare 版	設定ユーティリティ	EPREMOTE 98	EPREMOTE DOSV
	簡易設定ユーティリティ	PNETSET	

スタートアップユーティリティ

プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。プリンタのパネル設定で行えるおもな項目の設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源スイッチをオフにしても、設定は保持されます。

設定ユーティリティ

設定できる項目を使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定を変更しても、リセット／電源オフ／プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

簡易設定ユーティリティ

設定ユーティリティで設定した内容をファイルとして保存できます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット／電源オフ／プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

DOS で EPSON Remote! を使う

システム条件

使用する場合のハードウェア条件は以下のとおりです。

使用できるコンピュータ：	エプソン PC シリーズ NEC PC-9801 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-H98 シリーズ （ディスプレイ解像度：ノーマル／ハイレゾモード） 各社 DOS/V 仕様コンピュータ
使用できる OS：	MS-DOS Ver3.1 以上 DOS/V Ver5.x 以上

DOS/V 対応コンピュータで EPSON Remote! を使用する場合は、以下の点に注意してください。

- CONFIG.SYS ファイルに［DEVICE=PRNESCP.SYS］*がある場合は、これを削除してください。
  ＊お使いの DOS のバージョンにより異なる場合があります。
- CONFIG.SYS ファイルに［DEVICE=ANSI.SYS］がない場合は、これを追加してコンピュータを再起動してください。
- DOS/V の動作モードは、日本語モードにしておいてください。

インストール

1 DOS を起動します。

DOS が起動すると、画面にプロンプト（A:¥>など）が表示されます。

EPSON Remote! は、Windows 上の「DOS プロンプト」画面からはインストールできません。必ず通常の DOS 画面上でインストールを行ってください。

2 EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をセットします。

フロッピーディスクをお使いの場合は、「セットアップディスク 1」をセットします。

3 ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP）を半角で入力し、リターンキーを押します。

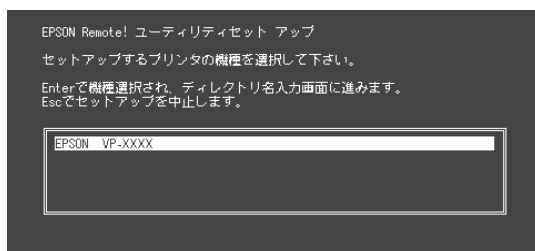
セットアップ画面が表示されます。

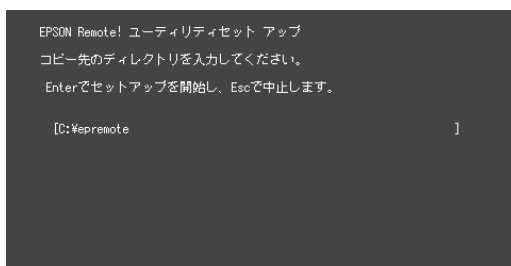
例：A:¥><u>B:¥SETUP</u>

下線部のみ入力します。ディスクを B ドライブにセットした場合。

ドライブ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

4 **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。

お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

5 **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**

ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

6 **終了のメッセージが表示されたら、何かキーを押してください。**

DOS プロンプトに戻ります。

- インストール先ディレクトリについて
  初期値では、ルートディレクトリに EPREMOTE ディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。
- ユーティリティの起動用バッチファイルについて
  ユーティリティの起動用バッチファイルはルートディレクトリにインストールされます。起動用バッチファイルは以下のとおりです。
  スタートアップユーティリティ：PRNSET.BAT
  設定ユーティリティ：PANEL.BAT
- バッチファイルを実行しても EPSON Remote! が起動しない場合、バッチファイルのあるディレクトリ（初期値はルートディレクトリ）がパスに指定されていないことがあります。パスの指定を確認してください。

スタートアップ・設定ユーティリティの使いかた

ここでは、ページ長 FF（フロントプッシュトラクタ、連続紙）の変更のしかたを例に挙げて、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの具体的な使いかたを説明します。

設定ユーティリティは、スタートアップユーティリティの項目を少なくしたものですので、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの使いかたは基本的に同じです。どちらも以下の手順を参考にしてください。
用紙サイズ以外の項目の変更のしかたも、基本的に同じです。以下の手順を参考にして、設定を変更してください。

1 ユーティリティの起動用ファイルを実行します。

スタートアップユーティリティの場合：PRNSET（98 用）、PRNSETDV（DOS/V 用）
　例：A:¥>PRNSET（下線部のみ入力します）
設定ユーティリティの場合：PANEL（98 用）、PANELDV（DOS/V 用）
　例：A:¥>PANEL（下線部のみ入力します）

ユーティリティが起動し、プリンタ選択画面が表示されます。2 回目以降の起動時にはプリンタ選択画面は表示されず、最初から設定画面が表示されます。このときは 4 へ進んでください。

DOS/V 対応コンピュータを使用していて、ユーティリティが起動しない場合は、以下のページを参照してください。
本書 242 ページ「DOS で EPSON Remote! を使う」

2 お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

プリンタモード設定画面が表示されます。

3 ESC/PS にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

設定画面が表示されます。

プリンタモードは、基本的に ESC/PS を選択してください。ESC/PS を選択して設定変更しても意図した印刷結果が得られない場合は、次の表を参照してプリンタモードを変更してください。

アプリケーションでのプリンタ設定	プリンタモード
ESC/P（VP 系）	ESC/P
PC-PR	ESC/PS

4 ユーティリティの設定を確認します。

選択されているプリンタ・プリンタモード・出力ポート（画面右上に表示）が使用するプリンタの設定と異なる場合は、使用するプリンタの設定に変更します。

プリンタ・プリンタモード	f・10 キーを何回か押すことで、変更可能な画面に移ります。
出力ポート	f・4 キーを押すことで変更されます。

> ポイント
>
> 設定ユーティリティの場合、出力先をファイルにすると、これから変更する設定をファイルとして保存します。保存したファイルは、簡易設定ユーティリティで使用します。

5 ページ長 FF にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

連続紙のページ長の設定が表示されます。

6 実際にセットしてある連続紙のページ長にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

7 設定実行キー（f・1）を押します。

設定を実行するかどうか確認してきますので、実行するときは Y キー、しないときは N キーを押します。設定を実行すると、ユーティリティが終了し、DOS プロンプトに戻ります。

以上で設定変更は終了です。この後、アプリケーションソフトウェアから印刷を実行してください。

> ポイント
>
> スタートアップユーティリティの場合、変更した内容はプリンタに記憶され、再度変更しない限り変わることはありません。他の人とプリンタを共有している場合は、設定を元に戻しておくことをお勧めします。

簡易設定ユーティリティの使いかた

EPSON Remote! には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行する簡易設定ユーティリティ機能があります。

実行ファイルの作成

1. **設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。**

2. **出力先をファイルにします。**
   f・4 キーを押して、画面表示右上の「出力」をファイルにします。

3. **設定を実行します。**
   f・1 キーを押して設定を実行すると、画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されます。

4. **メッセージにしたがって、「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。**

- ファイル名の拡張子は自動的に「_PR」になるので、入力は不要です。
- ファイル名は、「A4._PR」や「B5._PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
- 複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

簡易設定ユーティリティの実行

1. **DOS 画面にします。**
画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。

ここでは、ドライブ A に EPSON Remote! がインストールされているとします。

2. **ユーティリティを実行します。**
次のように出力ファイルを指定して、ユーティリティを実行します。
98 系の場合　　　A:¥>PSET □［ファイル名］□［オプション］（□はスペース）
DOS/V 系の場合　　A:¥>PSETDV □［ファイル名］□［オプション］

［ファイル名］：　出力データファイルの名前。
サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定します。
拡張子が _PR の場合は、拡張子を省略できます。

［オプション］：　設定を実行するポートの指定。
ポート指定を省略すると 98 系の場合は /P、DOS/V 系の場合は /LPT1 に指定されます。

	オプション設定値	名称
98 系	/P	パラレルインターフェイス
	/S	シリアルインターフェイス*
DOS/V 系	/LPT1、/LPT2、/LTP3	パラレルインターフェイス
	/COM1、/COM2、/COM3、/COM4	シリアルインターフェイス*

* オプションのシリアルインターフェイスカードをプリンタに装着し、シリアル接続している場合のみ

例）サブディレクトリ VP-1850 にファイル名 A4 で作成している場合
98 系　　A:¥>PSET □ VP-1850¥A4._PR □ /P
DOS/V 系　A:¥>PSETDV □ VP-1850¥A4._PR □ /LPTI

NetWare で EPSON Remote! を使う

NetWare 版 EPSON Remote! は、NetWare 環境下で印刷する場合にお使いください。

システム条件

サーバ／クライアントコンピュータおよびドライバは、ノベル株式会社による認定品が必要です。

NetWare では、プリントサーバに接続されたプリンタを、複数のクライアントが共有できます。

サーバコンピュータ

- NEC PC-9800 シリーズ、PC-H98 シリーズ、SV-H98 シリーズ
- SONY QuaterL シリーズ
- 日本 IBM PS/55、PS/V シリーズ
- 日本 DEC DEC PC シリーズ
- 各社 DOS/V 対応パソコン

NOS

- NetWare3.1J、3.11J、3.12J または 4.XJ
- ESC/P プリンタドライバ

クライアントコンピュータ

NetWare（MS-DOS）版
- エプソン PC シリーズ
- NEC PC-9800 シリーズ（ディスプレイ解像度：ノーマル／ハイレゾモード）

NetWare（DOS/V）版
- 日本 IBM PS/55、PS/V シリーズ
- SONY QuaterL シリーズ
- 日本 DEC DEC PC シリーズ（ディスプレイ解像度：VGA モード）
- 各社 DOS/V 対応パソコン

クライアント OS

NetWare（MS-DOS）版
- MS-DOS3.1 以上

NetWare（DOS/V）版
- IBM DOS J5.02/V 以上
- MS-DOS 5.0/V 以上

クライアントドライバ

- IPX ドライバ
- ODI ドライバ

プリンタ接続状態

- リモート、ローカルの双方の形態に適用

NetWare 版 EPSON Remote! には、MS-DOS 版と DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

- NetWare 用 EPSON Remote! は、サーバへの設定とクライアントへの設定の双方が必要です。インストールする場合は必ずネットワーク管理者にご相談ください。
- NetWare 版 EPSON Remote! を使用する際は、以下の点に注意してください。
  ・プリンタモードは、必ず ESC/P スーパーをオフに設定してください。
  ・コード変換：非変換の環境で使用してください。
- CAPTURE コマンドで CONV オプション（コード変換：変換）を使用しないでください。もし、使用した場合は、必ず CONV オプションで再度 CAPTURE コマンドを実行してください。NetWare コマンドについては、NetWare に付属のプリントサーバマニュアルを参照してください。
- NetWare 版の EPSON Remote! は、クライアント側の操作で、プリンタの設定状態を変更するだけでなく CAPTURE 機能の実行／終了も指定できます。
- CAPTURE 機能の実行を利用することで、CAPTURE コマンドオプションのパラメータを詳しく知らなくても、EPSON Remote! と同じ操作でオプションが指定できるので便利です。
- NetWare 版の EPSON Remote! にはスタートアップユーティリティの機能はありません。プリンタの電源投入時の設定を変更したい場合は DOS 版を使用してください。

  DOS 版の場合

  ① DOS 版の EPSON Remote! をインストールします。

  ② EPSON Remote! のプログラムがあるディレクトリに変更します。

  例：A:¥>CD EPREMOTE（ディレクトリが EPREMOTE の場合）

  ③次の手順でスタートアップユーティリティを起動します。

  A:¥>CASTOFF ALL*

  A:¥>PRNSET

  *CASTOFF ALL を実行した後は、サーバーおよび他のワークステーションからのメッセージはすべて無視されますのでご注意ください。

  ④プリンタの各機能を設定します。

  ⑤設定終了後に次のコマンドを入力します。

  A:¥>CASTON

サーバへのインストール

サーバでは、クライアントの使用に先立って、ネットワークドライブ（ボリューム：SYS）に対して、次のようにインストールしてください。

1. **EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をセットします。**

2. **DOS プロンプト（A:¥> など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP □ /SUPER）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

   セットアップ画面が表示されます
   例：A:¥>B:¥SETUP □ /SUPER
   下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクを B ドライブにセットした場合。
   ドライバ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

この後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

NetWare 版 EPSON Remote! を使用する場合、Printer Reset Buffer と Printer Setup Buffer に十分なメモリを確保するため、NetWare のコンフィグレーションファイルSHELL.CFGまたはNET.CFGに次の2行を追加しておいてください。
PRINT HEADER=255
PRINT TAIL=26 以上*
* EPSON Remote! を使用するには、26 の PRINT TAIL が必要になります。他のシステム条件も合わせて、この値を設定してください。

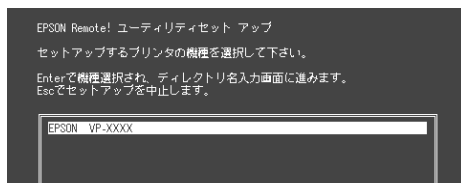
クライアントへのインストール

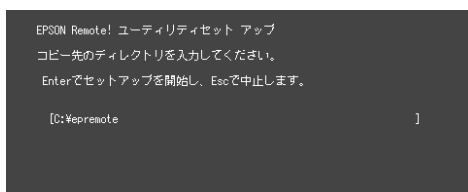
クライアントマシンでは、次のようにインストールしてください。

1. **EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をセットします。**

2. **DOS プロンプト（A:¥> など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP □ /NETWARE）を半角で入力し、リターンキーを押します。**
セットアップ画面が表示されます。

例：A:¥>B:¥SETUP □ /NETWARE
下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクを B ドライブにセットした場合。
ドライバ名はコンピュータにより異なります。コンピュータの取扱説明書で使用するドライブ名を確認してください。

3. **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**
インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。

お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

4. **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**

ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

終了のメッセージが表示されたら何かキーを押してください。DOS プロンプトに戻ります。

インストール先ディレクトリは、初期値では、ルートディレクトリに EPREMOTE ディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。

設定ユーティリティの使い方

設定ユーティリティは、クライアントマシンからCAPTURE 機能を実行したり、プリンタの設定状態を変更できます。設定した内容は、[ENDCAP] または [LOGOUT] が実行されない限り有効です。

- 設定ユーティリティは、印刷の前に設定しておく必要があります。アプリケーションソフトウェアを起動する前に設定ユーティリティを実行し、各設定をしてください。
- NetWare版EPSON Remote!で設定すると、CAPTUREコマンドなどで設定されたプリントジョブ環境が上書きされるため、前の設定は無効になります。

設定ユーティリティの操作手順

1 DOS の画面から NetWare にログインします。

NetWare のファイルサーバにログインした後、画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。

2 ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。

98 系の場合：EPREMOTE 98
　例：A:¥>EPREMOTE □ 98 （下線部のみ入力します。□はスペース）
DOS/V の場合：EPREMOTE DOSV
　例：A:¥>EPREMOTE □ DOSV （下線部のみ入力します。□はスペース）

プリンタの選択画面が表示されます。中止する場合は ESC キーを押してください。

3 プリンタ名を選択します。

矢印キーでカーソルをお使いの機種名に移動し、リターンキーを押して選択します。

4 プリンタモードを選択します。

矢印キーでカーソルを使用するプリンタモードに移動し、リターンキーを押して選択します。機能選択画面が表示されます。

5 機能を選択します。

矢印キーでカーソルを使用する機能に移動し、リターンキーを押すと、機能が実行されます。この画面から、前のプリンタ選択画面に戻るときは ESC キーを、設定を終了するときは f・2 キーを押します。

（表示画面の例）

各機能を実行します。

☞ 本書 254 ページ「CAPTURE 機能の実行」
☞ 本書 254 ページ「CAPTURE 機能の終了」
☞ 本書 255 ページ「プリント環境の設定」

6 設定後、ユーティリティを終了します。

各機能で設定を終了すると、5 の画面に戻ります。ここで、「終了」を選択するか f・2 キーを押すと設定が有効になり、設定ユーティリティを終了します。

CAPTURE 機能の実行

機能選択画面で「CAPTURE 機能の実行」を選択すると、CAPTURE コマンドで指定できる CAPTURE オプションが設定できる画面になります。ここでは、プリントバナーやタイムアウト、オートエンドキャップなどのオプションがまとめて設定できます。

❶ **ファイルサーバ名とプリントキュー名を指定します。**

ファイルサーバー名とプリントキュー名をそれぞれ該当欄に入力します。

❷ **オプションを選択します。**

矢印キーで変更するオプションにカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在指定しているオプションの説明が表示されます。

❸ **設定を変更します。**

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESC キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

❹ **実行項目を選択します。**

f・1、f・3 のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。
f・1： 設定した内容を記憶し、CAPTURE 機能を実行します。
f・3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

CAPTURE 機能の終了

機能選択画面で「CAPTURE 機能の終了」を選択すると、CAPTURE を終了するポートを選択する画面になります。
矢印キーでポートにカーソルを移動してリターンキーを押すと、CAPTURE 機能が終了します。

プリント環境の設定

機能選択画面で「プリント環境の設定」を選択すると、プリンタの設定状態が変更できる画面になります。
ここでは、給紙選択や縮小などの設定がまとめて設定できます。

❶ **項目を選択します。**

矢印キーで変更する項目にカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在カーソルが指定している設定項目の説明が表示されます。（すべてが表示されないときは、画面左下に「UP：前ページ」、「DOWN：次のページ」などの指示がでますので［ROLL UP］／［PAGE UP］、［ROLL DOWN］／［PAGE DOWN］キーでページを切り替えてください。

❷ **設定を変更します。**

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESC キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

❸ **実行項目を選択します。**

f・1〜f・3 のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f・1： 設定した内容を記憶し、プリンタの状態を変更します。

f・2： コンピュータ本体の出力ポートを切り替えます。押すたびに、画面右上の出力の欄が変更します。
出力ポートではファイルも選択できます。ファイルを選択すると、簡易設定ユーティリティで使用する出力ファイルを作成できます。
☞ 本書 246 ページ「簡易設定ユーティリティの使いかた」

f・3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

簡易設定ユーティリティの使いかた

EPSON Remote! には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行する簡易設定ユーティリティ機能があります。

実行ファイルの作成

1. **設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。**

2. **出力先をファイルにします。**
   f・4 キーを押して、画面表示右上の「出力」をファイルにします。

3. **設定を実行します。**
   f・1 キーを押して設定を実行すると、画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されます。

4. **メッセージに従って、「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。**

ファイル名の拡張子は自動的に「_PR」になるので、入力は不要です。
ファイル名は、「A4._PR」や「B5._PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

簡易設定ユーティリティの実行

1 **DOS の画面にします。**

画面にプロンプト（A:¥> など）が表示された状態にします。
ここでは、ドライブ A に EPSON Remote! がインストールされているとします。

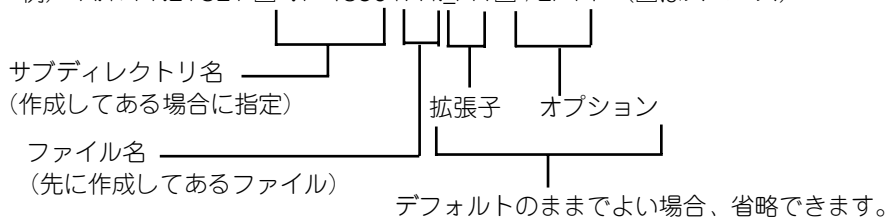
2 **ユーティリティを実行します。**

次のように出力ファイルを指定して、ユーティリティを実行します。

A:¥>PNETSET □［ファイル名］□［オプション］（□はスペース）

［ファイル名］：出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。拡張子が _PR の場合は、拡張子を省略できます。

［オプション］：設定を実行するポートの指定。省略すると P になります。

例） A:¥>PNETSET □ VP-1850¥A4._PR □ /LPT1 （□はスペース）

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*1してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ
「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSONプリンタドライバ・ユーティリティCD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

インターネット

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタドライバも提供されています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましてはスタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

＊改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付日時	午前 9:00 ～午後 5:30 月曜日～金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金 + 修理代）</td></tr>
</table>

フロッピーディスクについて

本機に添付の Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 プリンタドライバは、
CD-ROM で提供しております。フロッピーディスク版をご希望のお客様は、以下の手順で、セットアップディスクを作成してからインストールを行ってください。
セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライブがなくても、お近くに CD-ROM とフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、セットアップディスクを作成できるユーティリティです。

フロッピーディスク版を作成する

1. EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. エクスプローラ（またはファイルマネージャ）を起動して、EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM 内の［Apps］－［Fdtool］フォルダの［Makedisk.exe］をダブルクリックします。

3. 画面の指示に従ってセットアップディスクを作成します。

インストール方法

フロッピーディスク版をご利用の場合、CD-ROM からのインストールとは手順が多少異なります。

フロッピーディスクをご利用の場合、プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM の代わりに「セットアップディスク 1」をセットします。ただし、「セットアップディスク 1」をセットしてもメニュー画面は表示されません。以下の手順に従ってください。

1. **セットアップディスク 1 をコンピュータにセットします。**

2. **画面下の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。**

3. **セットしたドライブ名と実行コマンド「FD_SETUP.EXE」または「SETUP.EXE」を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

セットしたドライブ	入力
A ドライブ	A:¥FD_SETUP.EXE
A ドライブ	A:¥SETUP.EXE
B ドライブ	B:¥FD_SETUP.EXE
B ドライブ	B:¥SETUP.EXE

この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

フロッピーディスクをご利用の場合は、EPSON プリンタウィンドウ !2 はインストールされません。プリンタドライバと同様にセットアップディスクを作成してインストールしてください。

最新のプリンタドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、インターネットを使用して、以下のホームページから入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

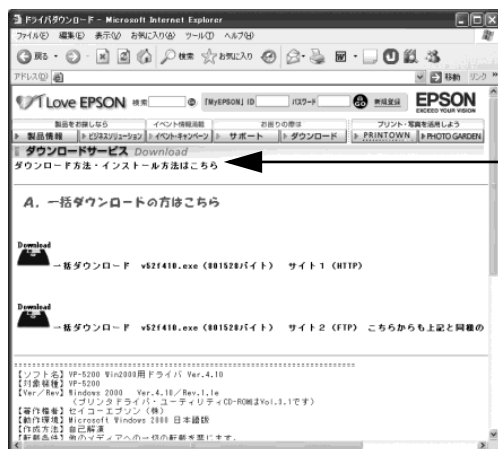
郵送にてCD-ROMをご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。「エプソンディスクサービス」について詳しくは、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

また、ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍してからインストールしてください。

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象機種を選択します。**

ドライバの最新情報については、[Windows 対応情報] を参照してください。

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行してください。**

手順については、ホームページ上の[ダウンロード方法・インストール方法はこちら]をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

索引

記号

数字

A

C

D

E

F

I

J

M

N

P

W

あ

い

う

え

お

か

き

く

れ

ろ